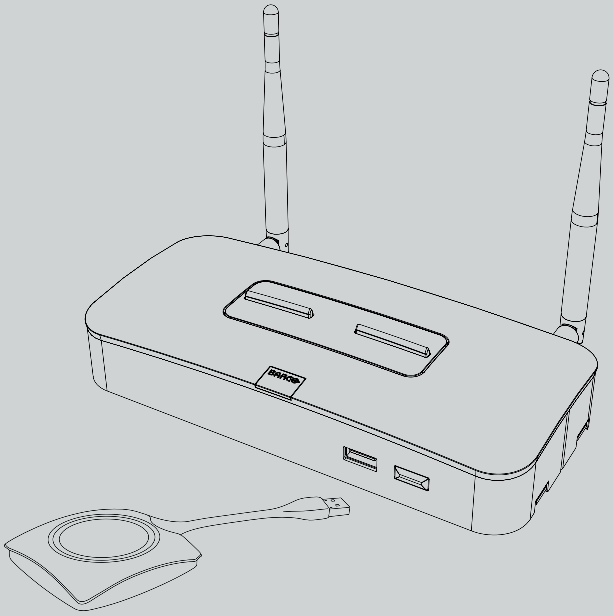
ClickShare



設置マニュアル

R5900014JA/05
17/12/2014

Visibly yours

Barco nv
President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium
Tel: +32 56.23.32.11
Fax: +32 56.26.22.62
サポート: www.barco.com/esupport
Barco Webサイト: www.barco.com

Printed in 中国

変更点

Barco は、このマニュアルを「現状のまま」で提供し、暗黙的保証または特定の目的に対する商業性および適合性を含むがそれに限定されない、明示的または暗黙的に、いかなる保証も適用されません。Barco は、この出版物に記述されている製品やプログラムに対する改良や変更を事前通知なしでいつでも実施できます。

この出版物には、技術的な誤りや誤植が含まれている可能性があります。この出版物への変更は定期的に行われます。このようは変更は新版に組み込まれます。

Barco マニュアルの最新版は、Barco ウェブ サイト www.barco.com または安全な Barco ウェブ サイト https://www.barco.com/en/signin からダウンロードできます。

日本語バージョン Copyright ©著作権 All rights reserved.

無断転載を禁じます。本マニュアル各部の複写、複製、翻訳は一切認められません。Barco(バルコ社)の書面による許可を事前に受けることなく、検索システムに記録、転送、または記憶させることはできません。

Barco ClickShare エンドユーザーライセンス契約 (EULA/ソフトウェアライセンス)

本文書には BARCO の提供するソフトウェアライセンスの条件が記載されていますので、BARCO がお客様へ提供するソフトウェアまたはハードウェアを開いたりダウンロードして使用する前に注意してお読みください。 ソフトウェアパッケージを開くか、本ソフトウェアが組み込まれているハードウェアを使用すると、本契約書の条項に従うことに同意したものと見なされます。

BARCO が提供する本ソフトウェアは、お客様に販売するのではなく、本ライセンスの条件の下での使用のみを非排他的に許可するライセンスを供与するものであり、お客様に明示的に付与されないすべての権利は BARCO が所有するものとします。 お客様は本ソフトウェアが提供されるキャリアを所有できますが、本ソフトウェアおよびその著作権は BARCO または第三者供給業者が所有するものとします。 お客様のライセンスは権原や所有権を授与するものではなく、本ソフトウェアまたはそのドキュメント内の一切の権利を販売するものではありません。

本ソフトウェアの最初のバージョン、または前バージョンのアップグレード、アップデート、パッチ、または改良版をインストール、実行、および/または使用することにより、本ソフトウェアライセンスの内容に関して Barco とお客様との間で以前同意された一切の条件 (書面による、よらないを問わず) に本ソフトウェアライセンスが優先するものとし、かかる以前の条件は、本ライセンスに記載された日より一切の効力を失うものとします。ただし、本ソフトウェアライセンスは、いずれかの当事者が以前同意された一切の条件が定める義務のいずれかを遂行しなかった場合について、以前同意された条件が定める一切の権利または救済手段を放棄、放免、または棄権すると解釈しないものとします。

ソフトウェアの仕様

本ソフトウェアには、以下のソフトウェア製品が含まれます。 ClickShare

ソフトウェアライセンスの条件

1. 本ソフトウェアライセンスは、お客様とベルギー法の下に組織および存在する法人である BARCO NV (Commercial Companies' Register of Kortrijk 登録番号 BE 0473.191.041、登録拠点住所 President Kennedypark, 35 at B-8500 Kortrijk, Belgium、以下「Barco」) との間で、本ソフトウェアの使用について締結されます。
   本ライセンスにより、お客様は、本ソフトウェアが読み込まれた/インストールされたコンピューターデバイスの、お客様により認定されたユーザー (以下「認定ユーザー」) 全員に、本ソフトウェアライセンスの条件を通知すること、および認定ユーザー全員に本ソフトウェアライセンスのかかる条件すべての受諾を必要に応じて義務付けることを約束します。
2. Barco は、制限付き、非排他的、譲渡不可、移転不可のユーザーライセンス (サブライセンスを付与する権利なし) をお客様に付与します。 お客様および Barco 間で別途特に同意されている場合、および本ソフトウェア自体 (またはその DRM 管理) により特に許可されている場合を除き、i) 本ソフトウェアライセンスによるライセンスは、1 台のコンピューターデバイスで使用する本ソフトウェアの 1 コピーに適用され、ii) 複数のユーザーが同時にアクセスできるコンピューターデバイスにインストールされている場合は使用を許可せず、本ソフトウェアが使用されているコンピューターデバイスに接続しているアクティブなユーザーそれぞれに対して別々のライセンスが必要になるものとします。
   お客様および認定ユーザーは、本ソフトウェアライセンス (および説明書) に記載されている目的および方法で本ソフトウェアを使用する資格が与えられますが、お客様も一切の認定ユーザーも (i) いかなる方法でも本ソフトウェアの担保権を他者に販売または付与する、または Barco の明示的な書面による事前の承認なく本ソフトウェアを他者に賃貸したり、賃貸契約を締結したり、サブライセンスを付与する、あるいは (ii) 本ソフトウェアまたはその一切のコンポーネントを、お客様および/または本ソフトウェアの認定ユーザーによる使用以外、商業目的で利用する資格は与えられません。
   法律または本ソフトウェアライセンスで許可されている場合を除き、お客様も一切の認定ユーザーも、Barco の書面による事前の承認なく、その全部または一部に関わらず、本ソフトウェアに基づく二次的著作物を複製、翻訳、リバースエンジニアリング、そのソースコードを抽出、変更、ディスアセンブル、デコンパイル、および作成したり、本ソフトウェア上の一切の所有権通知やラベルを取り除くことはできません。

3. Barco (および必要に応じて Barco のライセンサー) は、本ソフトウェアおよびお客様または一切の認定ユーザーがかかるソフトウェアから作成した一切のコピーのすべての知的財産権の所有権を保持します。 ソフトウエアは、国内著作権法、国際著作権条例および協定、その他の適用法により保護されています。 本ソフトウエアライセンスでお客様に明示的にライセンスが付与されていない権利は、必要に応じて、すべて Barco および Barco のライセンサーが保有します。 本ソフトウエアにはライセンスが付与されたその他のマテリアルが含まれており、本ソフトウエアライセンスに対する違反が発生した場合には、Barco のライセンサーがその権利を保護する場合があります。

4. Barco は、本ソフトウエアライセンスにより許可されている本ソフトウエアをインストールできるライセンスおよび権利により、かかる第三者の一切の特許、商標、または著作権の侵害行為または侵害行為の容疑に起因する直接的な損害、損失、および費用に対してお客様を無害に保ち、弁護および補償し、そこから生じた終局判決または調停で裁定された金額を同社の出費で決済します。ただし、(i) お客様は、お客様に対するクレームが主張された後、または一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きの開始後 (いずれか早い方)、直ちに書面により Barco に通知すること、(ii) Barco は、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きに関する弁護および一切の調停交渉について単独で統制することが許可されていること、および (iii) お客様は、Barco の書面による事前の承認なく、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きの交渉、示談、または和解を行わないこと、および (iv) お客様は、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きに関する弁護および一切の調停交渉について、Barco による合理的な要求に応じて、お客様の出費で、Barco に協力して援助や支援を提供することを条件とします。 Barco は、(i) お客様が提供する仕様、図面、モデル、またはその他のデータに基づく、または (ii) Barco が提供していない、または (iii) 本ソフトウエアの変更が禁止されているにも関わらず変更された、または (iv) その侵害を回避する修正行為が提示されたあと、お客様がその侵害行為を継続する限り、または (v) 本ソフトウエア、または本ソフトウエア以外のソフトウエア、プロセス、またはマテリアルとの組み合わせ、あるいはその分配がその侵害行為の主要原因である場合、一切のソフトウエアまたはその一切の部分に対して、賠償義務を負わないものとします。 Barco がかかる第三者の権利を侵害または悪用したという判決が最終的に下された場合か、それ以前に、Barco は、同社の裁量により、同社の判断および費用負担で、(i) 同社が第三者の権利を侵害または悪用しない方法で本ソフトウエアを変更する、または (ii) お客様のために侵害されたとされる権利を使用するためのライセンスまたはその他権利を入手する、または (iii) 問題のソフトウエアを侵害しないソフトウエアと交換することがあります。 本段落に明記されている救済措置は、第三者の知的財産権のいずれかを本ソフトウエアが侵害または悪用しているという第三者のクレームに対する、お客様の唯一かつ排他的な救済措置および Barco の唯一かつ排他的な法的責任を規定するものとします。

5. 本ソフトウエアライセンスの有効期間は、お客様の本ソフトウエア受諾日 (上記の日付。本ソフトウエアを使用することで受諾することが暗示されることをお客様が承認する) から開始し、別途指定がない限り、終了日は設定されないものとします。 お客様は、お手元の本ソフトウエアのコピーをすべて破壊し、すべての関連資料および説明書をその販売元または供給元である Barco または Barco 指定リセラーに返却することにより、本ソフトウエアライセンスをいつでも終了できます。 お客様および/またはいずれかの認定ユーザーがソフトウエアライセンスの条件のいずれかに違反した場合、Barco は、いつでもお客様に通知することにより、本ソフトウエアライセンスを即刻終了できます。

6. お客様は、ソフトウエアがお客様に「現状のまま」提供されていることを理解します。 BARCO は、明示的または暗示的に関わらず、一切保証や表明したり、それを意図せず、特定目的の市販性と適合性、および知的財産の非侵害について暗示されたすべての保証を特に放棄し、本ソフトウエアにエラーがないことや BARCO がかかるエラーを修正することを保証しません。かかるエラーが原因で発生した調整、修理、または損害に関連するすべての費用および出費については、お客様が一切責任を負担するものとします。
またお客様は以下も承認および同意するものとします:
BARCO は、お客様がソフトウエアを使用したことによりお客様または一切の第三者が被る一切の破損、損失、クレームに対する一切の法的責任を負いません。 BARCO の法的責任を排除できない法管轄区内では、直接的な破損に対する BARCO の法的責任を総額 250 ユーロ (または、それ以上の除外が法的に許可されない場合は法律に違反しない範囲) に制限するものとします。法律に違反しない範囲で、いかなる場合も、BARCO は、ソフトウエア、本ソフトウエアライセンス、あるいは BARCO が本ソフトウエアライセンスに基づく義務を遂行したことまたは遂行したとされることまたは遂行しなかったことから、あるいはそれらに関連して発生するあらゆる種類の間接的、特殊、懲戒的、偶発的、または必然的な損失や損害、もしくは経済的損失、事業、契約、データ、信用、利益、売上、収益、評価の損失または損害、もしくは業務を停止しなければならないこと、コンピューターの不具合、またはソフトウエアの機能不全から生じる損失およびソフトウエアの使用に関連して生じることのある、ありとあらゆるその他の商業的損害や損失に対して、BARCO がその発生の可能性について忠告されていた場合でも、一切法的責任を負いません。
お客様は、ここに、BARCO および BARCO の関連会社および子会社を、お客様による本ソフトウエアライセンスの条項違反により、あるいはそれに関連して生じ BARCO が受けるまたは被る、ありとあらゆる訴訟、訴訟手続き、法的責任、損失、損害、手数料や費用 (弁護士料を含む)、およびその他の出費から、またはそれらに対して保護すること、保護し続けること、および無害に保つことに同意するものとします。

7. 本第 7 段落が本ソフトウエアライセンスに結び付く交渉の開始以前にお客様が正当に所有していて、すでに公知であるか将来的に公知となる (本第 7 段落の違反による場合を除く)、法律により開示することが義務付けられている、あるいは自明または明白な情報に適用されないことを条件として、お客様は、本ソフトウエアライセンスに従う他者から入手する情報のうち、「マル秘」またはそれに類する印が付いているか、秘密にする必要のあるすべての情報を秘密扱いとするものとし、Barco の書面による事前の承認なく、かかる情報をいかなる者にも漏えいしないものとします。 お客様は、本第 7 段落の規定を順守することを認識および保証するものとします。秘密性についての上述の義務は、本ソフトウエアライセンスが終了しても継続するものとします。

8. ハードウエア、オペレーティングシステム、ネットワーク機能のメンテナンス、およびお使いのシステムにウイルスが侵入しないようにすることに対する責任は、引き続きお客様にあります。 お客様には、本ソフトウエアが複雑なコンピューターソフトウエアアプリケーションであること、そのパフォーマンスはハードウエアプラットフォーム、ソフトウエアの相互作用および構成により異なることがあることを承認していただきます。 お客様は、ソフトウエアがお客様の具体的な要件や期待を満たすために特別に設計、制作されたものではなく、お客様がソフトウエアを選択したのは、一切お客様自身の選択および決定であることを承認するものとします。 誤解を避けるため、本ソフトウエアライセンスの内容は、Barco にサポートサービス (ソフトウエアまたはその他のハードウエアやソフトウエア製品について) を提供する義務を一切強要するものではないものとします。

9. 本ソフトウェアライセンスは、お客様および/または認定ユーザーによるソフトウェアの使用に対する、お客様と Barco 間の唯一の了解および合意です。 ソフトウェアライセンスは、本ソフトウェアライセンス以前に交わされたその他あらゆるコミュニケーション、了解、または合意 (継続的な秘密性に関する合意を除く) に優先しますが、本ソフトウェアライセンスの内容は悪意不実表示に対する法的責任の除外を主張するものではありません。 お客様は、あらゆる適用法または規則に違反して、ソフトウェアあるいは一切のコピーや改作版を輸出および再輸出できません。 本ソフトウェアライセンスは、改ざん、修正、変更しないものとします。 本ソフトウェアライセンスのいずれかの条項が、違法、無効、または執行不能であることが判明した場合またはいずれかの管轄裁判所が一切の最終判決においてそのように判断した場合、本ソフトウェアライセンスは、かかる条項が、かかる判決日以降あるいはその日以前に、削除して法律により受諾可能で本ソフトウェアライセンスの意図を可能な限り具体化する条項に置き換えるべきであるとされた場合を除き、引き続き有効であるものとします。
10. お客様は、本ソフトウェアが米国または他国政府の輸入管轄の対象となる場合があることを承認するものとします。 お客様は、米国または他国政府が発布した米国輸出監督規制、エンドユーザー、使用、出荷先規制を含む、本ソフトウェアに適用されるすべての国際法および国内法に順守することに同意します。
11. Barco は、ここに記載された Barco の義務のすべてあるいはいずれかを第三者および/または Barco 関連会社のいずれかと下請け契約する権利を有するものとします。
12. 本ソフトウェアライセンスの解釈、有効性、および履行は、あらゆる点で、ベルギー法により抵触法の原則に頼ることなく統治されるものとします。 本ソフトウェアライセンスから、またはそれに影響を与える手段により発生したすべての論争は、コルトレイク裁判所専属管轄の対象となり、その判決または命令の執行方法はその他一切の管轄区域で害されないものとします。「国際物品売買契約に関する国際連合条約 (以下「条約」) は本ソフトウェアライセンスには適用されませんが、管轄する法廷により条約が本ソフトウェアライセンスに適用されると見なされた場合でも、Barco は、条約の第 35(2) 項に基づく本ソフトウェアの主張された不適合に対する法的責任を一切負わないものとします。

商標ソフトウェアライセンスの条件

本ソフトウェアに関して紹介されているブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標、登録商標、著作権である場合があります。 本ソフトウェアに関して紹介されているかかるブランドや製品名は、すべて説明や例として引用されており、製品やそれぞれのメーカーを宣伝するものとして理解されないものとします。

プライバシーポリシー

お客様は、本ソフトウェアが本ソフトウェア関連製品の機能性に関する技術情報 (以下「機能情報」) を収集すること、および Barco がかかる機能情報 (一切の個人データを除く) を Barco が適切であると判断した一切の理由 (お客様/貴社へのサービス提供、かかる機能情報へのアクセスおよび/またはお客様/貴社へのサービス提供を第三者に許可することを含むがそれに限定されない) により使用する場合があることを承認および同意するものとします。

お客様は、ここに、Barco がお客様から当社に提供された個人データ (機能情報の収集を許可するというお客様の言明に関するデータ、およびその言明に関連する一切のコンテンツ)、さらにソフトウェアの使用により当社がお客様から受け取った個人情報を収集、アクセス、保存、および/または開示することを明示的に承諾するものとします:

- Barco および/またはその関連会社のビジネス目的のため。
- 本ソフトウェアを提供、維持、保護、および/または改良するため、および新しいソフトウェアを開発するため。
- お客様、貴社、Barco および/またはその関連会社間の関係を管理するため。
- その他一切の正当な目的 (i) Barco、その関連会社、または厳選された第三者からのダイレクトマーケティング、および ii) 第三者が本ソフトウェアに関するサービスをお客様に提供する許可を与えることを含む) のため。
- 以下を行うことが法律により義務付けられている場合、またはかかるアクセス、保存、または開示が以下を行うために必要であると誠実に考えられる場合:
  - 一切の適用法、規則、法的手続き、法的強制力のある政府からの要求への応答。
  - 潜在的な違反の調査を含む、本ソフトウェアライセンスの履行。
  - 不正行為、セキュリティーまたは技術上の問題の検知、防止、その他の対処。
  - 法律により義務付けられている、または許可されている場合、Barco、そのユーザー、または公衆の権利、財産、または安全への差し迫った損害に対する保護。

Barco は、医療情報を含むがそれに限定されない「秘密情報」を一切処理しないものとします。

お客様は、お客様のコンテンツを含む本ソフトウェアのまたは本ソフトウェアによる技術的処理および送信には以下が含まれることを理解するものとします:

- さまざまなネットワークを介した送信。
- 接続しているネットワーク、デバイス、および/またはサービスの技術要件に従って適応するための変更。

お客様は、ここに、Barco がお客様の個人データを世界のいずれかの国 (特に、Barco および/またはその関連会社が個人データ処理用インフラストラクチャーを有する国、または第三者が Barco および/またはその関連会社に個人データ処理用インフラストラクチャーを提供している国) に輸出することがあることを明示的に承認するものとします。

Barco は、現地の EU 加盟国で施行されている通り、個人データの処理およびかかるデータの自由な移動における個人保護について EU 指令 95/46/EC に完全準拠します。 これらの規則に従って、お客様にはお客様の個人データにアクセスし、データを訂正する権利があります。 これらの権利の行使をご希望の場合は、Barco までご連絡ください。

オープンソースソフトウェア条項:

本製品には、オープンソースライセンスでリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。 ソースコードのコピーは、Barco カスタマーサポート担当者にリクエストすることで入手可能です。

各オープンソースのソフトウエアコンポーネントおよび関連する説明書のすべては、暗示的な商業上の可能性の保証、特定用途に対する適合性を含む、しかしそれに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切しない「現状のまま」で提供されてします。 いかなる場合も、そのような損失の可能性が忠告されていた場合でも、原因の如何を問わず、またこのオープンソースソフトウェアを使用することにより生じた規約、無過失責任、または不法行為の一切の法理に基づき、著作権所有者またはその他の貢献者は、直接的、偶発的、間接的な損失の責任を負わないものとします。 詳細情報は、それぞれ特定のオープンソースのライセンスを参照してください。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントの著作権は、ドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。 これらの著作権を削除、隠ぺい、いかなる形式でも変更することはできません。

各オープンソースソフトウェアライセンスの条件に従うことを認識しているものとします。

本ソフトウェアの開発時点では、以下のオープンソースソフトウェアがコンポーネントとして使用されています (最新リストは Barco ウェブサイトのお客様セクションまたはその他のオンライン媒体をご覧ください):

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
alsa-lib	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
alsa-utils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
alsa-plugins	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
busybox	http://opensource.org/licenses/GPL-2.0
dropbear	http://opensource.org/licenses/mit-license.php
fakeroot	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
linux	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
gmp	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
iproute2	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
kobs-ng	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
rsync (<3.0.0)	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
rsync (>=3.0.0)	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
uClibc	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
wireless_tools	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
wpa_supplicant	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
imx-bootlets	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
Crypto++	http://www.cryptopp.com/License.txt
libresample	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libjpeg-turbo	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
acpid	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
avahi	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
coreutils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
crda	http://opensource.org/licenses/ISC
cron	http://opensource.org/licenses/ISC
dbus	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
dhcpd	http://opensource.org/licenses/ISC

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
dmidecode	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
e2fsprogs	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
eglibc	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
ethtool	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
gdbserver	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
grub	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
gstreamer	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
hdparm	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
hostapd	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
i2c-tools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iftop	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iperf	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
iptables	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
iw	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
acl	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
attr	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libarchive	http://opensource.org/licenses/bsd-license.php
libav	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libcap2	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libdaemon0	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libdrm2	http://opensource.org/licenses/MIT
libexpat1	http://opensource.org/licenses/MIT
libfontconfig1	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
libfontenc1	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
freetype	http://freetype.sourceforge.net/FTL.TXT http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libgcc1	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libgcrypt11	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html
libglib-2	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libgnutls26	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libgpg-error0	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html http://www.gnu.org/licenses/lgpl. html http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html
libjpeg8	BSD に類似したライセンシー
libnl2	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libnss-mdns	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libpam	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
libpcap	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
libpcre0	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
libpixman-1-0	http://changelogs.ubuntu.com/changelogs/pool/main/p/pixman/pixman_0.10.0-0ubuntu1/libpixman-1-0.copyright
libpng12-0	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt
libpopt0	http://opensource.org/licenses/MIT
libsm6	
libstdc++6	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
libtalloc2	http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html
libusb	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
libxml2	http://opensource.org/licenses/MIT
libz1	ライセンスフリー
lighttpd	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
lmsensors	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
logrotate	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
makedevs	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
memtest86plus	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
mesa	http://opensource.org/licenses/MIT
module-init-tools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
modutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
monit	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
ncurses	http://opensource.org/licenses/MIT
netbase	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
openssh-sftp-server	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
openssl	http://www.openssl.org/source/license.html
opkg	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
pciutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
perl	http://perldoc.perl.org/perlartistic.html http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-1.0.html
php	http://www.php.net/license/3_01.txt
procps	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
qt	http://qt-project.org/doc/qt-5.0/qtdoc/gpl.html
read-edid	ライセンスフリー
rgb	
rockbox-imxtools	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
rsyslog	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
splashutils	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
strace	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
sysfsutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
sysvinit	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
tcpdump	http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause
ttf-arphic-uming	

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
ttf-dejavu-common	
ttf-dejavu-sans-mono	
ttf-dejavu-sans	
ttf-sazanami-gothic	
ttf-sazanami-mincho	
ttf-un-fonts	
udev	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
update-modules	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
update-rc	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
usbutils	http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
util-linux-ng	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html x
server-xorg	http://opensource.org/licenses/MIT
zeroconf	http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
node.js	https://raw.github.com/joyent/node/v0.10.26/LICENSE
express	http://opensource.org/licenses/MIT
passport	http://opensource.org/licenses/MIT
passport-http	http://opensource.org/licenses/MIT

JA version - Guarantee and Compensation

Barco provides a guarantee relating to perfect manufacturing as part of the legally stipulated terms of guarantee. On receipt, the purchaser must immediately inspect all delivered goods for damage incurred during transport, as well as for material and manufacturing faults Barco must be informed immediately in writing of any complaints.

The period of guarantee begins on the date of transfer of risks, in the case of special systems and software on the date of commissioning, at latest 30 days after the transfer of risks. In the event of justified notice of compliant, Barco can repair the fault or provide a replacement at its own discretion within an appropriate period. If this measure proves to be impossible or unsuccessful, the purchaser can demande a reduction in the purchase price or cancellation of the contract (redhibition). All other claims, in particular those relating to compensation for direct or indirect damage, and also damage attributed to the operation of software as well as to other services provided by Barco, being a component of the system or independent service, will be deemed invalid provided the damage is not proven to be attributed to the absence of properties guaranteed in writing or due to the intent or gross negligence or part of Barco.

If the purchaser or a third party carries out modifications or repairs on good delivered by Barco, or if the goods are handled incorrectly, in particular if the systems are commissioned operated incorrectly or if, after the transfer of risks, the goods are subject to influences not agreed upon in the contract, all guarantee claims of the purchaser will be rendered invalid. Not included in the guarantee coverage are system failures which are attributed to programs or special electronic circuitry provided by the purchaser, e.g. interfaces. Normal wear as well as normal maintenance are not subject to the guarantee provided by Barco either.

The environmental conditions as well as the servicing and maintenance regulations specified in the this manual must be complied with by the customer.

EN55022/CISPR22 クラス A ITE (情報技術機器)

クラス A ITE は、クラス A ITE の条件を満たし、クラス B ITE の条件を満たさない他のすべての ITE のカテゴリです。 そのような機器は、販売を制限されませんが、使用説明書に下記の警告を含めなければなりません:

警告：これはクラス A 製品です。 国内で使用する場合、この製品は無線干渉を起こす可能性があり、その場合にはユーザーは適切な措置を講じることを求められます。

アメリカ連邦通信委員会（FCC）の干渉に関する宣言

製品の準拠を管轄する当事者による明示的な承認を受けずに変更または修正を行った場合、ユーザーはこの装置を操作する権利を失う場合があるので注意してください。

この装置は、FCC 規則の第 15 章に準じてテストが行われ、デジタル デバイスのクラス A の制限に準拠することが確認されています。 これらの制限は、機器が商業的環境で使用される際の妨害からの適切な保護を目的として確立されました。 この機器は無線エネルギーを生成、利用し、発散することがあるため、操作マニュアルにしたがって取り付け、使用が行われない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす場合があります。 住宅地での本機器の使用は、有害な干渉を生じる可能性が高く、この場合には、ユーザーが自費で干渉を是正する必要があります。

装置の電源をオフ/オンにしてこの機器によってラジオまたは通信サービスの受信に干渉が生じていると判断された場合、次のいずれかの方法で干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナの配置を変えるか、または移動する。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているサーキットのコンセントと別のコンセントに装置をつなぐ。
- 販売店またはしかるべき経験を有するラジオ/テレビの技術者に相談する。

本装置はテスト済みで、FCC法規のPart 15の制限に準拠します。 操作は次の 2 つの条件に基づきます :

1. この装置は有害な干渉の原因となってはならない、そして
2. この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

FCC RF 被爆についての声明文 : この装置は 802.11a モードで動作可能です。 5.15 - 5.25 GHz の周波数範囲で動作する 802.11a 装置については、アメリカ国内の Mobile Satellite Services (MSS) への有害な干渉を削減するために屋内での動作が制限されます。 802.11a モード (5 .15 - 5.25 GHz バンド) で装置を動作することができる WIFI Access Points は、屋内での使用に限って最適化されます。 WIFI ネットワークがこのモードで動作できる場合は、WIFI の屋内での使用を制限し、連邦規則に違反せず Mobile Satellite Services を保護してください。

Base Unit FFC ID: RYK-WUBR507N or 2AAED-R9861017

Button FCC ID: XF6-RS9110N1103

カナダ産業省 (IC) 通知

この装置はカナダ産業省のライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。 操作は次の 2 つの条件に基づきます : (1) この装置は干渉の原因となってはならない。(2) この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

Radio Frequency (RF) 放射情報

Barco ワイヤレス装置の放射出力電源は、カナダ産業省（IC）ラジオ周波数放射制限以下です。 Barco ワイヤレス装置は、通常の操作中に人が接触する可能性を最小限にする方法で使用する必要があります。

基本ユニット IC ID: IC: 6158A-WUBR507N or 9393B-R9861017

Button IC ID: 8407A-RS9110N1103

IC アンテナについての声明文

カナダ産業省の規則の下、このラジオ送信機は、カナダ産業省によって送信者に対して承認されているタイプおよび最大（または少ない）利得のアンテナを使用した場合に限って操作できます。 他人へのラジオ干渉の可能性を少なくするため、アンテナのタイプとその利得が、等価等方放射電力（e.i.r.p.）が問題のない通信の必要値を超えないように選択する必要があります。

このラジオ送信機 6158A-WUBR507N or 9393B-R9861017 は、最大許容利得および示された各アンテナ タイプで求められるアンテナ インピーダンスで、以下にリストしたアンテナ タイプで操作することがカナダ産業省によって承認されています。 アンテナ タイプはこのリストには含まれず、そのタイプに示された最大利得を超える利得を持つことは、この装置の使用では厳格に禁止されています。

タイプ: ダイポール

最大ピーク利得: 2 dBi

インピーダンス: 50 Ohm

Canada, avis d’Industry Canada (IC)

Le présent appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L’exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l’appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l’utilisateur de l’appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d’en compromettre le fonctionnement.

Informations concernant l’exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par l’appareil de sans fil Barco est inférieure à la limite d’exposition aux fréquences radio d’Industry Canada (IC). Utilisez l’appareil de sans fil Barco de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

IC ID Unité de Base: 6158A-WUBR507N or 9393B-R9861017

IC ID Button : 8407A-RS9110N1103

Déclaration d’antenne d’Industrie Canada (IC)

Conformément à la réglementation d’Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d’un type et d’un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l’émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l’intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d’antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l’intensité nécessaire à l’établissement d’une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio 6158A-WUBR507N or 9393B-R9861017 a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d’antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l’impédance requise pour chaque type d’antenne. Les types d’antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l’exploitation de l’émetteur.

タイプ: ダイポール

Gain maximum: 2 dBi

Impédance: 50 Ohm

目次

1. 「設置ガイド」のイントロダクション ... 3
   1.1 説明書 ... 3
   1.2 記号およびフォント ... 3
2. ClickShare の仕様 ... 5
   2.1 ClickShare 製品について ... 5
   2.2 ClickShare の仕様 ... 6
   2.3 Base Unit について ... 7
   2.4 Button について ... 9
   2.5 モバイル装置のサポート ... 10
3. 紹介 ... 13
   3.1 環境条件の確認 ... 13
   3.2 基本ワークフロー ... 13
4. ClickShare の設置 ... 15
   4.1 Base Unit の設置方法 ... 15
   4.2 テーブルマウント ... 15
   4.3 ウォールマウント ... 15
   4.4 アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項 ... 17
   4.5 Base Unit へのビデオ信号の接続 ... 17
   4.6 音声の接続 ... 18
   4.7 LAN 接続 ... 18
   4.8 電源接続 ... 19
   4.9 ネットワーク統合について ... 19
5. Button の準備 ... 23
   5.1 ペアリング ... 23
   5.2 Launcher サービスの事前インストール ... 24
   5.3 ClickShare Launcher インストーラー ... 25
   5.4 ClickShare for Linux ... 26
6. ClickShare Web インターフェイス ... 29
   6.1 ClickShare の Web インターフェイスにアクセスする ... 29
   6.2 Web インターフェイスの言語設定 ... 31
   6.3 ClickShare のタブについて ... 31
   6.4 基本設定 ... 32
   6.5 壁紙 (背景) の選択 ... 34
   6.6 独自の壁紙 ... 35
   6.7 ディスプレイ設定 ... 37
   6.8 ディスプレイ出力設定 ... 37
   6.9 オンスクリーン テキスト形式 ... 38
   6.10 音声設定 ... 40
   6.11 統合、Polycom ... 41
   6.12 企業ネットワーク、有効化 ... 42
   6.13 EAP-TLS を使用する企業ネットワーク ... 43
   6.14 EAP-TTLS を使用する企業ネットワーク ... 47
   6.15 PEAP を使用する企業ネットワーク ... 49
   6.16 WPA2-PSK を使用する企業ネットワーク ... 51
   6.17 セキュリティ: HTTPS または HTTP アクセス プロトコル ... 53
   6.18 セキュリティ: Web ユーザ インターフェイス ... 55
   6.19 セキュリティ: SSH へのアクセス ... 56
   6.20 セキュリティ: アプリに対する共有のブロック ... 57
   6.21 詳細設定: ホスト名 ... 57
   6.22 詳細設定: LAN ネットワーク設定 ... 58
   6.23 詳細設定: WiFi 設定 ... 59
   6.24 詳細設定: API 構成設定 ... 60
   6.25 詳細設定: NTP 設定 ... 61
   6.26 メンテナンス、ステータスの確認 ClickShare ... 62
   6.27 メンテナンス、Button 情報 ... 63
   6.28 メンテナンス、WiFi を使用した Button のアップデート ... 65
   6.29 Base Unit のソフトウェアアップデート ... 65
   6.30 Base Unit (Launcher サービス) からのダウンロード ... 66
   6.31 システム設定の管理 ... 67
   6.32 デフォルト設定のロード ... 68
   6.33 管理者パスワード ... 70
   6.34 統合者パスワード ... 70
   6.35 ログ設定 ... 71
   6.36 ClickShare ヘルプ、Barco へのお問い合わせ ... 72
   6.37 Barco ClickShare EULA ... 73
7. ソフトウェアアップデート ... 75
   7.1 ソフトウェア アップデート ... 75

8. ClickShare トラブルシューティング 77
8.1 トラブルシューティング一覧 77

A. 環境情報 81
A.1 廃棄に関する情報 81
A.2 Rohs 指令対応 81
A.3 製造拠点 82
A.4 輸入元連絡先情報 82

索引 83

1. 「設置ガイド」のイントロダクション

このセクションでは、入手可能な ClickShare の説明書について簡単に紹介します。
- 説明書
- 記号およびフォント

1.1 説明書

本ガイド

部品番号	説明	レベル
R5900014	設置ガイド	設置エンジニア

この設置ガイドは、会議室に ClickShare を設置する方法について説明しています。また、すべてを動作可能にする方法についても説明します。 ClickShare の設定方法についても詳しく説明します。

入手可能なシステム説明書

本ガイドは、ClickShare 製品について説明した説明書セットの一部です。

ガイド	製品番号
ユーザーガイド	R5900013
設置ガイド	R5900014
安全ガイド	R5900015 または R5900019
サービス ガイド	R5900016
ボタン ガイド	R5900007
リサイクル マニュアル	R5900009
API ガイド	R5900018

印刷された「安全ガイド」および USB スティックに保存された電子版の「ユーザーガイド」および「設置ガイド」は、ご購入時の ClickShare の箱に同梱されています。

常に www.barco.com/clickshare の最新バージョンのマニュアルをチェックしてください。ClickShare 製品ページをクリックして、ダウンロード タブに移動します。

ClickShare のバージョンによって、本マニュアルに記載される図の一部が異なる場合がありますが、 機能には一切影響ありません。

1.2 記号およびフォント

記号の概要

マニュアルでは次のアイコンが使用されます:

	注意
	警告
	情報、用語定義。 用語についての一般情報

	メモ: では記載事項についての追加的な情報を提供します。
	ヒント: では記載事項についての追加的なアドバイスを提供します。

フォントの概要

- ボタンは太字で表記します (例: **OK**)。
- メニュー項目は、*斜体*で表記します。
- ステップに関連する注記、ヒント、警告、注意は、*斜体*で表記します。
- 手順に関連する注記、ヒント、警告、注意は、対応するアイコンに続く 2 行の間に**太字**で表記します。

2. CLICKSHARE の仕様

この章について

この章には、ClickShare セットの仕様およびセットに含まれるさまざまなコンポーネントの仕様の概要が記載されています。

概要

- ClickShare 製品について
- ClickShare の仕様
- Base Unit について
- Button について
- モバイル装置のサポート

2.1 ClickShare 製品について

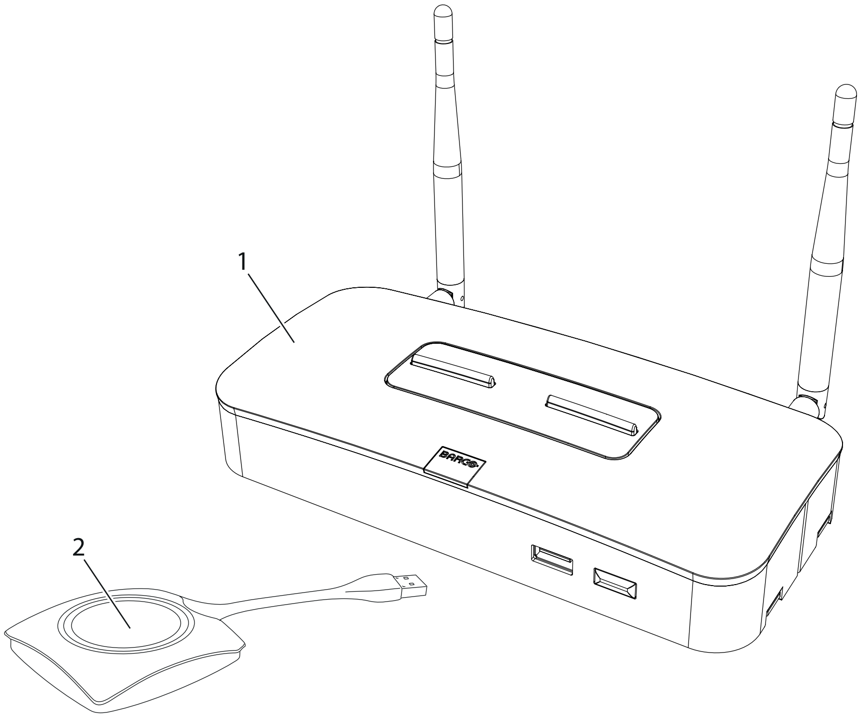
ClickShare セット

ClickShare を使用すると、Button を 1 度クリックするだけで会議室のビデオシステムに接続できます。 このワンクリック操作は、プレゼンターがプレゼンテーションをすぐにスクリーンに表示できるようにするだけでなく、会議の他の出席者もより積極的に参加できるようにします。 その結果、会議の効率性が向上し、より優れた意思決定をすることが可能です。

現在、市場には 4 種類のセットがあります。 各セットは、それぞれ特定の地域で販売されています。

コンポーネント ClickShare セット

スタンダード ClickShare セットには、Base Unit および 2 つの Button が含まれています。 製品の購入場所によって、Base Unit のソフトウェアは異なります。 必要に応じて、追加で Button を購入することもできます。



画像 2-1
ClickShare の主要コンポーネント

1	Base unit
2	Button

同梱アクセサリ

製品を購入する国によって、以下の地域別アクセサリーも ClickShare の箱に同梱されています。

地域版	梱包物	同梱アクセサリ
R9861008xx[1]	• R9861008 • 2x R9861006D01	• AC クリップ タイプ A、C、G、I の DC アダプタ • ユーザー ドキュメント付きの USB スティック • 印刷された安全マニュアル • 壁取り付け金具 • アンテナ 2 つ
R9861017xx[1]	• R9861017 • 2x R9861006D01	• AC クリップ タイプ A、C、G、I の DC アダプタ • ユーザー ドキュメント付きの USB スティック • 印刷された安全マニュアル • 壁取り付け金具 • アンテナ 2 つ

お客様の国で使用できる適切な地域別アクセサリーについては、現地販売代理店にお問い合わせください。

2.2 ClickShare の仕様

概要

寸法 (HxWxD)	Excl. antennas: 37mm x 186mm x 85mm / 1.457” x 7.323” x 3.346” Incl. antennas: 125mm x 186mm x 121mm x / 4.921” x 7.323” x 4.763”
重量	530g / 1.17lbs (アンテナ含む)
ウォールマウント	セットに同梱
湿度	保管:0 ~ 90% 相対湿度、結露なきこと 操作:0 ~ 80% 相対湿度、結露なきこと
適用温度範囲	動作:0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) 保管: -10°C ~ +60°C (+14°F ~ +140°F)
接続	USB Host x 2 RJ-45 LAN Port Audio analog line out on mini jack socket (3.5mm)
電力	外部電源アダプタ DC 5V 入力 2.6A (セットに同梱)
バンド	2.4 GHZ および 5 GHz
接続距離	ClickShare Button および ClickShare Base Unit 間が最大 30m (100 フィート)、環境により変動
データ・ レート・ ワイヤレス	300Mbps 以下
無線伝送プロトコル	IEEE 802.11 a/b/g/n
認証プロトコル	WPA2-PSK
iPad、iPhone、Android との互換性	静的コンテンツは、ClickShare アプリ から利用可能です。
オーディオ	無線品質 16bits 22KHz (非同期) 、音声ジャックまたは HDMI 経由
同時接続数	8
画面上の同時ソース数	1
入力解像度	最大 2048x1536 (QXGA)
出力解像度	HDMI: 1280x720 (720P), 1920x1080 (1080p) VGA: SVGA (800x600) / XGA (1024x768) / WXGA(1280x768) / WXGA+(1280x800) / 1360 * 768 / 1440 * 900

1. xx=EU、CN、NA、WW

フレームレイト	最大 30 fps、環境により変動
ビデオ出力	HDMI (動画および音声) 15 ピン VGA
オペレーティング・システム	Windows XP/Vista/7/8/8.1 32 & 64 ビット Mac OSX 10.6/10.7/10.8/10.9Android 2.2 以降 (ClickShare Presenter アプリ) iOS 5.0 以降 (ClickShare Presenter アプリ)
認証規格	FCC/CE
保証	1 年間が標準

2.3 Base Unit について

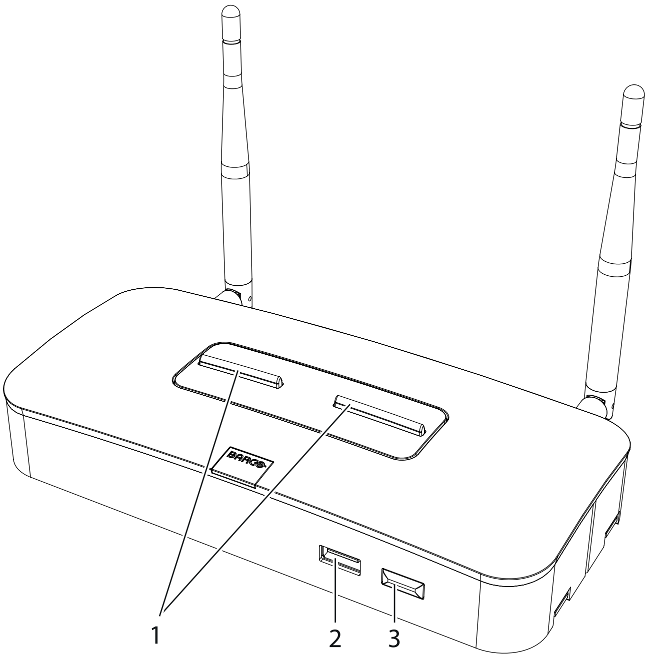
Base Unit

Base Unit は、Button からワイヤレス入力を受信し、会議室のディスプレイのコンテンツおよび会議室のオーディオシステムの音をコントロールします。

Base Unit は 2 つの方法で設置できます。

Base Unit の前面および上面レイアウト

Base Unit の前面には、電源ボタンおよび USB ポートがあります。 ステータス LED ストリップは、Base Unit の上面に取り付けられています。



画像 2-2

1	ステータス LED ストリップ
2	USB ポート
3	電源ボタン

表 2-3

USB ポート

USB ポートは、Base Unit および Button のソフトウェアおよびファームウェアをアップデートする際に使用します。

Button を Base Unit に差し込むと、Button がその Base Unit にペアリングされます。 Base Unit により Button のソフトウェアおよびファームウェアが最新のものであるかどうかが確認されます。 最新のものでない場合は、Base Unit がソフトウェアおよび/またはファームウェアをアップデートします。

Base Unit ソフトウェアをアップデートするには、Barco の Web サイトからソフトウェアの最新バージョンをダウンロードします。 ファイルを USB スティックにコピーし、Base Unit の USB ポートに差し込みます。 ディスプレイに表示される処理状況を確認し、指示に従ってください。

ステータス LED ストリップ

Base Unit の前面にある LED の色は、システムをステータスを示します。

LED の動作	説明
赤色で点灯	• Button からのコンテンツを受信し、ディスプレイにストリーミングしています。 • Button のペアリングとソフトウェアアップデートが完了しました。 Button を Base Unit から取り外すことができます。 • Base Unit の起動プロセスの最初のフェーズが進行中です。
白色で点滅	• システムが起動中 (第 2 フェーズが進行中) です。 • Button のペアリングが進行中です。 • Base Unit ソフトウェアをアップデートしています。
白色で点灯	• 起動状態 (ディスプレイに起動メッセージ表示) です。 • ペアリングが完了しました。
赤色で点滅	• エラーが発生しました。

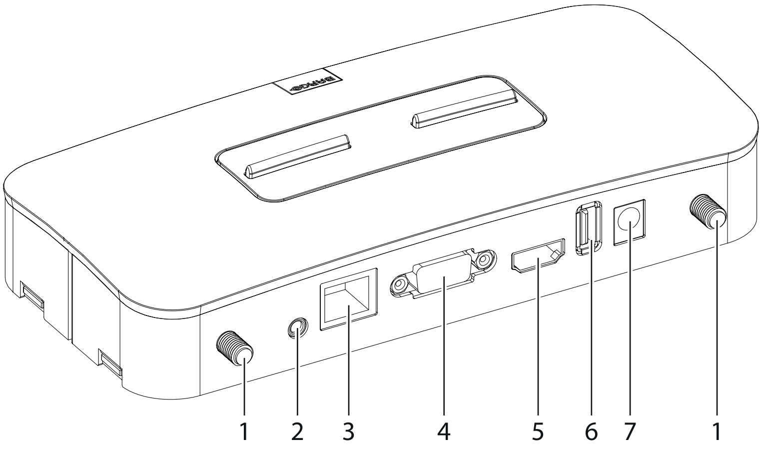
電源ボタン

Base Unit の前面にあるボタンは、Base Unit の電源を供給した後電源スイッチとして機能します。

- システムの電源がオンの場合は、押すとシステムがシャットダウンして電源がオフになります。
- システムがシャットダウンしている場合は、押すとシステムが起動します。

Base Unit の背面レイアウト

接続パネルは、Base Unit の背面にあります。



画像 2-3
Base Unit の背面

1	アンテナの固定ポイント
2	音声出力ポート
3	LAN Ethernet 接続
4	VGA ディスプレイ端子
5	HDMI 端子
6	USB ポート
7	電源接続

機械的固定ポイント

機械的固定ポイントは、Base Unit の底部にあります。

アンテナ

ClickShare の箱にはアンテナが 2 つ同梱されています。 アンテナは、配送中に破損するのを防ぐため、事前に取り付けられていません。

よりよいワイヤレス接続を確立できるよう、アンテナは回転可能です。

地域の規則により定められているその他のアンテナの使用に関する規制に準拠する限り、ユニットに付属しているアンテナ以外のアンテナを使用することもできます。 異なるアンテナを使用することにより、他のデバイスが破損したり障害をきたした場合でも、Barco はその責任を負いません。 アクティブなパワーアンプの使用は許可されていません。

アンテナのタイプ : ダイポール

ゲイン: 2.4GHz および 5Ghz 帯域で最大 2dBi のピークゲイン

Base Unit の底面レイアウト

適用される認可ロゴを含む製造番号ラベルが Base Unit の底面に貼付されています。

製造番号ラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- Barco の部品番号
- 製造番号
- リビジョン番号
- 製造週 (週/年)
- 適用される規格のマーク (CE、CCC、UL など)
- 廃棄規則のマーク
- 製造国

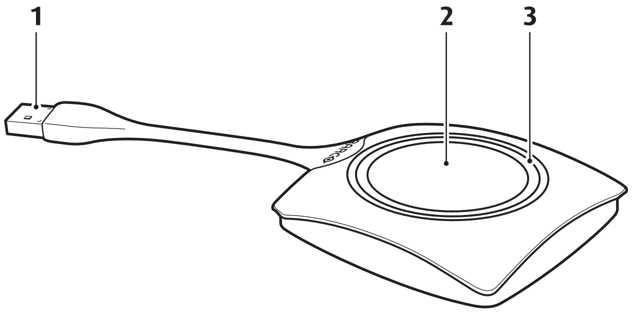
2.4 Button について

Button

Button は、個々の PC または MAC スクリーンを会議室のスクリーンで共有するかどうかを切り替えます。

Button のレイアウト

Button には 3 つの主要コンポーネントがあります。



画像 2-4
Button のレイアウト

1	USB 端子
2	Button
3	LED リング

表 2-6

USB 端子

USB 端子を使って、Button をラップトップ (スクリーンの共有のため) または Base Unit (Button を Base Unit にペアリングするため、またはソフトウエアをアップデートするため) に差し込みます。

Button

ラップトップのスクリーンのコンテンツを会議室のディスプレイに表示するには、Button をクリックします。 会議中 Button をクリックすると、スクリーンの共有状態を切り替えることができます。

LED リング

LED リングは、お使いの ClickShare の現在のステータスを示します。

LED の動作	説明
白色で点滅	• ボタンはラップトップに接続され、初期化中またはユーザーが ClickShare アプリケーションを開始するのを待機中。 • Base Unit にある Button のペアリング/ソフトウェアアップデート進行中。
白色で点灯	• ClickShare 画面共有の開始準備完了。 • ペアリング完了。 Button を Base Unit から取り外すことができます。
赤色で点灯	• ディスプレイで画面の共有中。 • ペアリングおよびソフトウェアアップデートは完了。 Button を Base Unit から取り外すことができます。
赤色で点滅	• エラー発生。
オフ (消灯)	• Button が USB ポートに差し込まれていないか、適切に差し込まれていない。 • Button が故障している。 • USB ポートまたはコンピューターが故障している。

Button のラベル

Button の底面に貼付されたラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- Barco の部品番号
- 製造番号
- リビジョン番号
- 適用される規格のマーク
- 廃棄規則のマーク
- 製造国

Button を取り扱う際には注意してください。 乱雑に扱うと故障の原因となる場合があります。

2.5 モバイル装置のサポート

概要

下の一覧にあるアプリは ClickShare でサポートされていて、Google Play または Apple App Store からお使いのモバイル装置にインストールできます。

ClickShare をモバイルデバイスで使用する前に、モバイルデバイスの Wi-Fi を ClickShare Base Unit の Wi-Fi と接続する必要があります。 お使いのモバイル装置のユーザーガイドに記載されている指示に従ってください。

アプリ	使用デバイス	ロゴ
ClickShare Presenter	iOS Android	
MirrorOp Sender for Galaxy	Galaxy モバイル装置	

3. 紹介

概要

- 環境条件の確認
- 基本ワークフロー

3.1 環境条件の確認

環境条件の確認

装置の周りに大量のホコリがあるような環境で装置を設置する場合には、装置に清潔な空気が届く前にホコリを取り除くことを強くお勧めします。 装置から大量のホコリを避けるまたはブロックする装置または構造が必要です。不可能な場合は、装置を清潔な空気のある環境に再設置することを考慮してください。

装置を害のある環境または汚染された空気から保護するのは、機器の所有者であるお客様の責任です。 製造元は、装置が不注意な方法、誤った方法、マニュアルに従わない使用方法で使用された場合は、修理を拒否する権利を保有しています。

環境温度条

最高動作温度: +40℃ または 40.00℃

最低動作温度: +0℃ または 0.00°C

保管温度: -10℃ ~ 60°C (-10.00℃ ~ 140°F)

湿度条件

保管時: 0 ~ 90% 相対湿度 (結露しないこと)

動作時: 0 ~ 85% 相対湿度 (結露しないこと)

環境

ラジエーターや温風ダクトなど発熱源に近い場所や、直射日光、過剰なホコリや湿度の影響を受ける場所に装置を設置しないでください。 部屋の熱気は天井に向かって上がることに注意してください。設置場所近くの温度がこの範囲を超えていないことを確認します。

3.2 基本ワークフロー

ClickShare を使う前に

1. ClickShare コンポーネントおよびアクセサリーを箱から取り出します。
   ClickShare の箱の梱包物に関する詳細は、
2. 2 つの設置方法のいずれかで Base Unit を会議室に設置します。
   設置手順の詳細は、
3. Base Unit とディスプレイ間のビデオ信号を接続します。
4. Base Unit からの音声を会議室のサウンドシステムに接続します (ジャックを使って音声を出力する場合のみ)。
5. ネットワークを使用して構成する必要がある場合は、Base Unit およびローカルネットワーク間にネットワークケーブルを接続します (Base Unit に電力を供給するために接続していない場合)。
6. Base Unit を主電源に接続します。
   詳しくは、19 ページ、 電源接続 を参照してください。
7. 必要に応じて、Web インターフェイスを使用して ClickShare を構成します。
   ClickShare のさまざまな構成方法に関する詳細は、

ClickShare の使用方法に関する詳細は、「ClickShare ユーザーガイド」(R5900014) を参照してください。 本マニュアルは、Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare にあります。[ClickShare 製品ページ] をクリックして、[ダウンロード] タブに移動します。

4. CLICKSHARE の設置

この章について

設置の章では、ClickShare Base Unit のさまざまな設置および接続方法の概要について説明します。

概要

- Base Unit の設置方法
- テーブルマウント
- ウォールマウント
- アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項
- Base Unit へのビデオ信号の接続
- 音声の接続
- LAN 接続
- 電源接続
- ネットワーク統合について

4.1 Base Unit の設置方法

最適な性能を確保するため、Base Unit はディスプレイの近くに設置し、Base Unit と Button の間に障害物を置かないようにしてください。

設置方法のイントロダクション

Base Unit は、以下の 2 つの方法で会議室に設置できます。

- テーブルマウント
- ウォールマウント

連結されたアンテナは取り外しできます。 よりよいワイヤレス接続を確立できるよう、アンテナは回転可能です。

警告: シーリングマウントは許可されていません。

4.2 テーブルマウント

概要

Base Unit を会議室テーブルの上に直接置きます。

Base Unit の総重量は 530 g です。

4.3 ウォールマウント

ウォールマウントについて

Base Unit を壁に取り付けるには、ClickShare の箱に同梱されている取り付け金具を使います。

Base Unit の総重量は 530 g です。

必要な道具

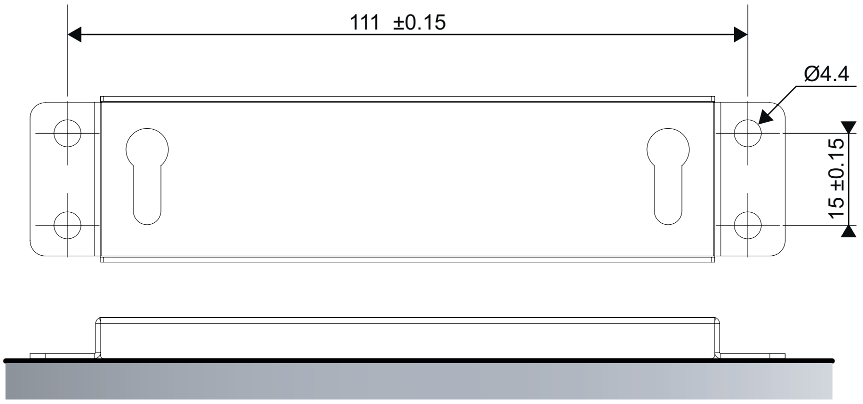
- ドリル (壁の種類によって必要なドリルの種類は異なります)
- マイナス ドライバー
- 取り付けねじに合ったドライバー (提供されていない取り付けネジを使用する場合)

必要な部品

- 取り付けねじ 4 つ
- プラグ 4 つ
- 取り付け金具 (ClickShare の箱に同梱)

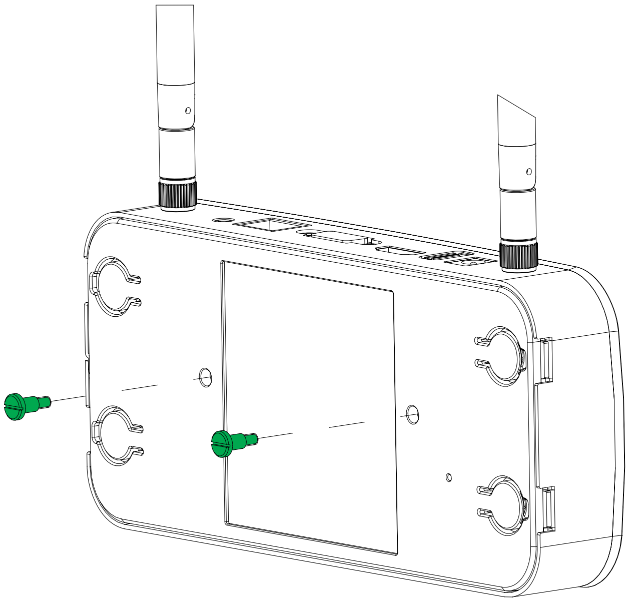
取り付け方法

1. 図に示すように、壁に 4 つの穴をあけます。
   横の間隔: 111 mm、
   縦の間隔: 15 mm



画像 4-1
取り付け金具

2. それぞれの穴にプラグを挿入し (必要に応じて、壁の種類によって)、4 つのねじを締めます。
   注記: *取り付けねじとプラグは ClickShare の箱に同梱されていません。 ねじおよびプラグの種類は、Base Unit を取り付ける壁の種類 (石製、木製、プラスターボード製など) によって異なります。 ねじ頭が金具の穴より大きくないことを確認してください。*
3. 固定フランジにある穴を壁の穴に合わせてフランジが壁に触れるよう、金具を壁に配置します。 また、固定スロットの大きな頭部分が上向きになるようにしてください。
4. 金具を 4 つのねじ (提供されていません) で固定します。
   注記: *プレートの穴より大きなねじ頭を持つねじを使用してください。*
5. Base Unit の底面で、提供されている両方の固定ねじを締めます。



画像 4-2
Base Unit の固定ねじ

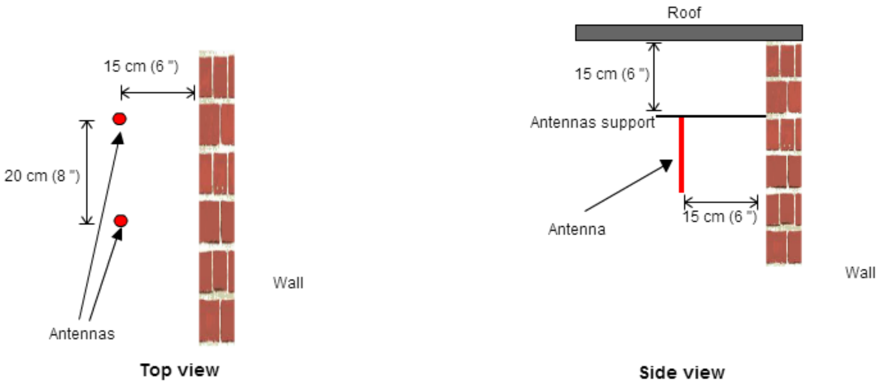
6. Base Unit を取り付け金具に引っ掛け、Base Unit が金具に固定されるまで下方向にスライドします。

ご注意: Base Unit を取り付ける際は、必ず Base Unit の前面を上または下にしてください。 Base Unit の前面を側面にして取り付けないでください。

4.4 アンテナの配置場所と方向に関する推奨事項

アンテナの配置に関するルール

- アンテナは、天井と垂直、壁と水平になるように縦向きに配置します。
- アンテナは、信号送信の妨げとならないよう金属表面から十分離して (最低 50cm)、また同じ周波数で動作するその他の無線機器 (その他の Wi-Fi アクセスポイント、コードレス電話、電子レンジなど) からも十分離して取り付けてください。また、アンテナはコンクリートの壁からも 15cm 以上離して取り付けることを推奨します。
- アンテナと Button を結ぶ直線にあたる場所には障害物が一切ないのが理想的です。 障害物があると、信号が迂回して伝播する原因となり、パフォーマンスの低下につながることがあります。
- 双極子アンテナの無線パターンは特殊であるため、アンテナを ClickShare ユーザーの真上には配置しないでください。つまり、アンテナの推奨配置位置は、会議室の端ということになります。



画像 4-3
会議室に取り付けたアンテナの詳細図

4.5 Base Unit へのビデオ信号の接続

ご注意: 接続する前に、Base Unit が適切に取り付けられていることを確認してください。

ビデオ信号の接続について

Base Unit にはスクリーンを 1 台接続できます。

ディスプレイを接続するには、Base Unit およびディスプレイ間を VGA または HDMI で接続します。

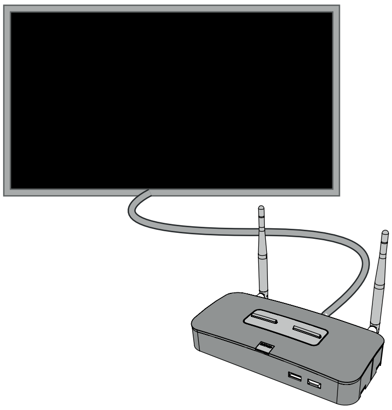
接続するには

1. ディスプレイケーブルを使って、Base Unit をディスプレイに接続します。
   注記: ディスプレイケーブルは、購入時の ClickShare の箱には同梱されていません。

   サポートされているディスプレイの種類:

   - VGA
   - HDMI

   ディスプレイ構成を設定する際、VGA または HDMI ケーブルをディスプレイに接続します。



画像 4-4
ディスプレイの接続

4.6 音声の接続

音声について

ClickShare ボタンは、ユーザーのラップトップの音声出力をキャプチャし、それをビデオ信号とともに Base Unit に送信します。音声は、ミニジャックソケット (3.5mm) からラインレベルで、および HDMI 接続を使用して出力されます。

音声信号をビデオ信号とともに送信するかどうかは、ユーザーが決定できます。このオプションは、ラップトップのスピーカーまたはヘッドフォンをコントロールする際に使用するのと同じツール (オペレーティングシステムの音声コントロール (Windowsの場合: [コントロール パネル] > [サウンドとオーディオ デバイス])、またはラップトップのキーボードにあるボタン (ミュート/ミュート解除、ボリュームを調整するボタンなど)) を使って選択できます。

2 つの画像がキャプチャおよび表示されている場合は、左側の画像の音声信号だけが出力されます。

音声信号とビデオ信号は同期されます。

HDMI を使用した音声

ディスプレイが HDMI を使用して接続されていて、それが音声をサポートしている場合、音声を別接続する必要はありません。音声信号は、ビデオ信号とともにディスプレイに送信されます。

音声を別接続するには、

1. ミニジャックソケット (3.5mm) の付いた音声ケーブルを Base Unit の音声出力に接続します。
2. そのケーブルを会議室のサウンドシステムに接続します。

サウンドが送信されない場合

一部の Windows 環境では、サウンドが送信されません。これを解決するには、以下の手順に従ってください:

1. システムトレイにあるサウンドアイコンを右クリックし、[*再生デバイス*] を選択します。[*サウンド*] ウィンドウが開きます。
2. [スピーカー ClickShare] 、[*規定値に設定*] を選択し、[**適用**] をクリックします。

4.7 LAN 接続

LAN 接続について

Base Unit は、ローカルネットワークまたはラップトップに直接接続できます。通常の操作で LAN 接続は必要ありません。

LAN 接続は以下の場合に使用します:

- ClickShare ユニットを構成する場合
- ソフトウェアをアップデートする場合
- メンテナンス作業を行う場合
- お使いの ClickShare ユニットのネットワーク統合を行う場合

接続方法

1. RJ-45 コネクター付きのネットワークケーブルを LAN ポートに挿入します。
2. そのケーブルを LAN に接続します。

4.8 電源接続

電源について

Base Unit は、外部電源アダプターを使用して給電できます。

Base Unit が給電されると起動します。 その後電源ボタンは、スイッチのオン/オフを切り替えるのに使用できます。

外部電源アダプターを接続するには

1. 電源アダプターのバレル端子を Base Unit の電源入力に差し込みます。
2. ClickShare Link の電源アダプターにある電源入力アダプター部 (米国、中国、欧州、または英国) をスライドします。 お住まいの国に適合するものを使ってください。

画像 4-5
タイプ A

画像 4-6
タイプ C

画像 4-7
タイプ G

画像 4-8
タイプ I

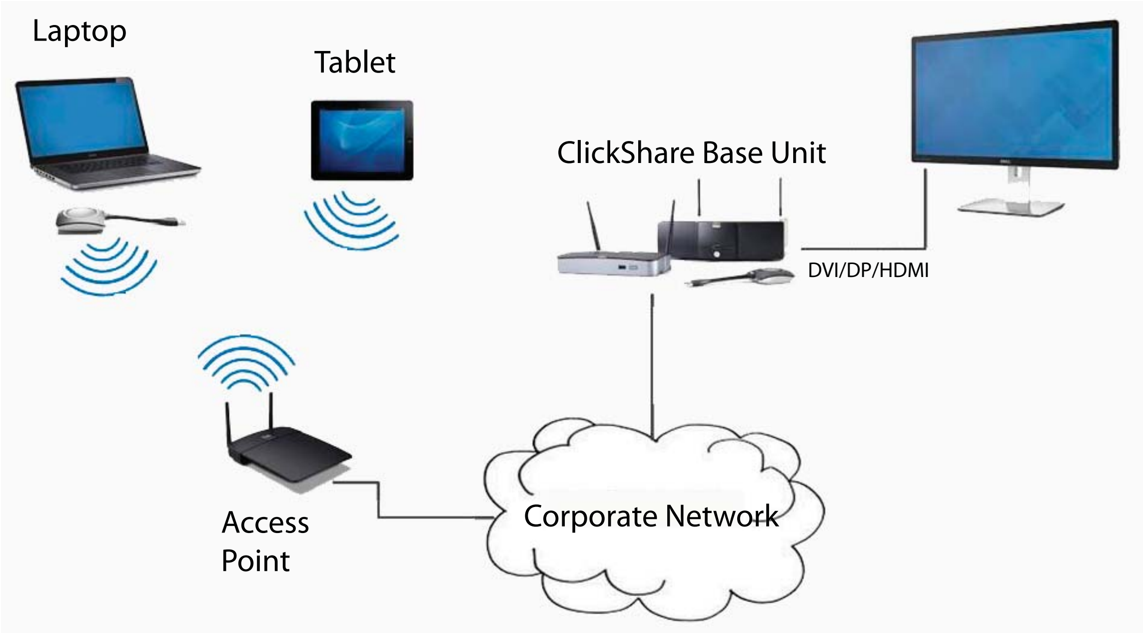
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

4.9 ネットワーク統合について

イントロダクション

ClickShare ネットワーク統合オプションは、既存のワイヤレス ネットワーク インフラストラクチャを妨げずに、ClickShare を大規模な組織に導入するためのオプションです。デフォルト設定のスタンドアロン設定では、ClickShare Base Unit により、ClickShare Buttons が接続する際に使用する独自のワイヤレス アクセス ポイント (AP) を常に作成します。これらのいわゆる「不正」AP は、比較的大規模な接地では面倒なことになる場合があります。次に、モバイルからコンテンツを共有している会議出席者は、ClickShare Base Unit と接続するためにネットワークを切り替える必要があります。

ここで ClickShare ネットワーク統合が役立ちます。完全に設定および有効化されると、Base Unit の付属 AP は無効になり、代わりに Button が企業ネットワークの一部であるワイヤレス アクセス ポイントに接続します。 この時点で、Base Unit は、Button が Base Unit 上のコンテンツを共有できるよう、ワイヤード イーサネット インターフェイスを介して企業ネットワークに接続する必要があります。



画像 4-9

セキュリティ モード

企業ネットワークに接続する Button がサポートするセキュリティは 2 種類あります。

- 一般的な企業ネットワーク設定の場合に使用する最初のセキュリティは「*WPA2-Enterprise with 802.1X*」です。
- 従来の Wi-Fi 設定が採用されている場合のある比較的小規模な組織に対応するため、「*WPA2-Personal*」とも呼ばれる WPA2-PSK もサポートしています。

いずれのモードも Wi-Fi Protected Access (WPA) に基づいています。WPA2 に言及する場合は、WPA2 を、セキュリティを向上するために AES 暗号化を追加した元の WPA 規格の改良バージョンとして説明します。

WPA2-Enterprise with 802.1X について

WPA2-Enterprise は、ネットワーク上の個々のクライアントを認証する際、サーバ (RADIUS を使用) に依存しています。この認証を行うためには 802.1x が使用されます (ポート ベースのネットワーク アクセス制御)。802.1x は、拡張認証プロトコル (EAP) をカプセル化し、ローカル エリアネット ワークで使用します。これは、*「EAP over LAN」*または *EAPoL* とも呼ばれます。これらの EAPoL メッセージは、ネットワーク上のクライアント装置を認証するため、RADIUS を使い、ネットワークを介してルーティングされます。ClickShare の場合、これらは Button です。

802.11i (WPA2) 規格は、複数の必須 EAP メソッドを定義しています。そのすべてが現場で広く使用されているわけではなく、規格にない別のメソッドがはるかに頻繁に使用されている場合があります。 ClickShare システムで最も広く使用されている EAP メソッドは、以下のとおりです。

- EAP-TLS
- PEAP
- EAP-TTLS

詳細については、ClickShare の Web インターフェイス、企業ネットワーク設定を参照してください。

WPA2-Personal について

事前共有キーモード (WPA2-PSK) は、最も多くのコンシューマおよびスモールビジネス Wi-Fi 設定で使用されているデフォルトのセキュリティメソッドで、複雑な 802.1X の機能を必要としません。PSK モードは、「パーソナル」モードとしても知られています。802.1X に比べてセキュリティ レベルは劣りますが、より小規模なビジネスの設定を念頭に置いた PSK モードがサポートされています。

考慮事項

ClickShare システムを企業ネットワークに統合することを決定する際に、まずいくつかのことを考慮する必要があります。

- すべての Base Unit がワイヤード イーサネット インターフェイスを介してネットワークに接続できることを確認してください。
- それぞれの Button がキャプチャした画面コンテンツを Base Unit にストリーミングするのに必要な帯域幅を検討してください。
  一般に、これは 5 ~ 15 Mbps の範囲となります。帯域幅の不足により ClickShare エクスペリエンスが低下しないよう、ネットワークのボトルネックとなるもの (100 Mbps スイッチなど) は使わないようにしてください。

ネットワークの前提条件

企業ネットワークを有効にした後は、ClickShare Base Unit の内部 Wi-Fi アクセスポイントを無効にします。お使いの Base Unit がワイヤード イーサネット インターフェイスを介して企業ネットワークに接続されていることを確認してください。

ファイヤーウォールの前提条件

ClickShare Button、ClickShare iOS アプリ、または Android ClickShare Presenter アプリを介してコンテンツを Base Unit と問題なく共有できるようにするため、ネットワーク上の以下のポートがオープンになっていることを確認してください。

Sender	CSM ベースユニット	CSC ベースユニット
ClickShare Button	TCP : 1688-1689; 3268; 8080; UDP: 1047-1049	TCP: 9876
ClickShare Presenter (iOS)	TCP/UDP: 9870	TCP/UDP: 9870
ClickShare Presenter (Android)	TCP/UDP: 9870	TCP/UDP: 9870
AirPlay	該当なし	TCP: 7000; 47000; 4100-4200; UDP: 4100; 4200

VLAN の前提条件

たとえば BYOD (Bring Your Own Device) トラフィックを「コア」の企業ネットワークから分割するなど、多くの企業ネットワークは複数の VLAN に分割されています。ClickShare をお使いのネットワークに統合する際は、このことを考慮してください。お使いのワイヤレス インフラストラクチャに接続した ClickShare Button は、Base Unit に接続できるはずです。さらに、モバイルアプリを使用する場合は、そのデバイスを Base Unit に接続する必要もあります。

DNS の前提条件

Button がそのコンテンツを Base Unit にストリーミングするには、ネットワーク内の Base Unit のホスト名を解決する必要があります。

NTP の前提条件

EAP-TLS を使用する場合は、Base Unit 上で NTP も設定する必要があります。これは、Base Unit 上で ClickShare の Web インターフェイスを介して行うことができます。EAP-TLS に必要な証明書を処理するには、Base Unit に正しい時刻が設定されていなければなりません。可能な場合は、ローカル企業ネットワーク上にある、高可用性の NTP サーバを使用してください。インターネット上の NTP サーバを使用すると、Base Unit をプロキシ サーバ経由で接続できないことに留意してください。

設定

さまざまなオプションがあり複雑な設定は、ClickShare の Web インターフェイスに用意されたウィザードで行うことができます。このウィザードは、選択したセキュリティ モードに基づいて、設定手順を案内します。設定方法の詳細は、42 ページ、6. ClickShare Web インターフェイス 章、 企業ネットワーク、有効化 をご参照ください。 を参照してください。

5. BUTTON の準備

概要

- ペアリング
- Launcher サービスの事前インストール
- ClickShare Launcher インストーラー
- ClickShare for Linux

5.1 ペアリング

Button と Base Unit のペアリング

Button は、使用する前に、お使いの Base Unit に割り当てる必要があります。 このプロセスをペアリングと呼びます。 デフォルトで、ClickShare セットに同梱されている 2 つの Button は、すでにその Base Unit にペアリングされています。

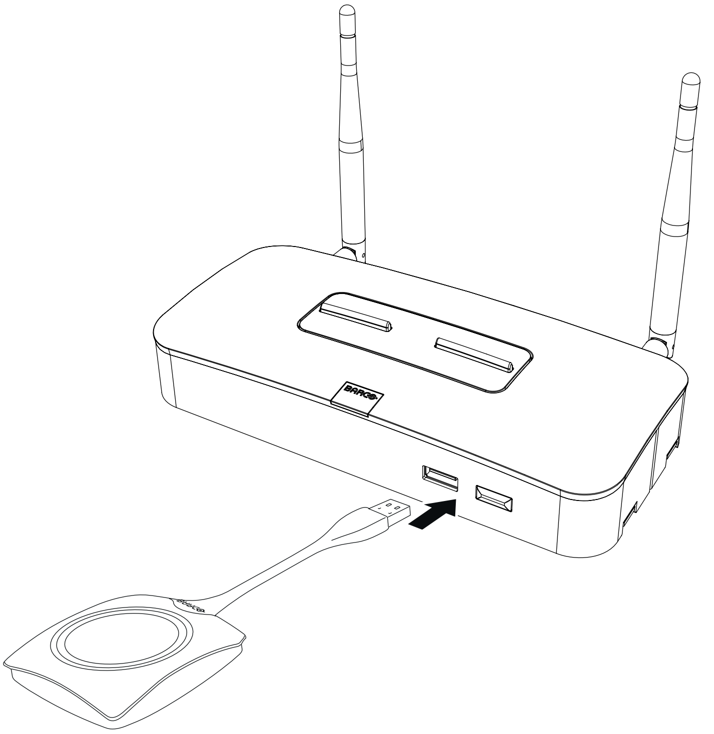
追加で Button を購入したり、Button を別の Base Unit に割り当てる必要がある場合は、Button を (再度) ペアリングする必要があります。 Base Unit ソフトウェアをバージョン 01.03 以上にアップデートすると、Button ソフトウェアは WiFi を使用して自動的にアップデートされるため、手作業によって再度ペアリングする必要はありません。 Button のソフトウェアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。 必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。 Base Unit ソフトウェアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button ソフトウェアをアップデートする必要があります。

Button は、一度に 1 台の Base Unit にのみペアリングできます。

Button は、最後にペアリングした Base Unit に常に接続します。

Button を Base Unit にペアリングするには

1. 使用している Base Unit の前面にある USB ポートに Button を差し込みます。

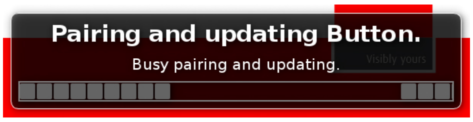


画像 5-1
ペアリングボタン

Button の LED および Base Unit の LED が両方とも白色で点滅します。 これはペアリングが進行中であることを示します。

Base Unitは、Button のソフトウエアが最新のものであるかどうかを自動的に確認します。 Button のソフトウエアが最新のものでない場合は、Base Unit がアップデートします。 これには時間がかかる場合があります。

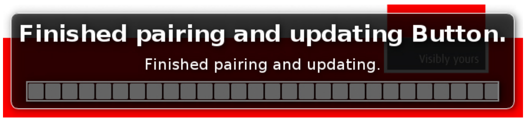
ペアリングおよびアップデートプロセス中は、小さなステータスバーが表示されます。



画像 5-2
ペアリングメッセージ

ペアリングプロセスの結果は、以下のとおり通知されます:

- LED が白色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされましたが、ソフトウエアアップデートは必要なかったことを示します。 Button を Base Unit から取り外すことができます。
- LED が赤色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされ、ソフトウエアアップデートが終了したことを示します。 Button を Base Unit から取り外すことができます。



画像 5-3
ペアリング終了

2. Button を Base Unit から取り外してください。

   これで Button を使用する準備が整いました。

5.2 Launcher サービスの事前インストール

Launcher サービスの事前インストール

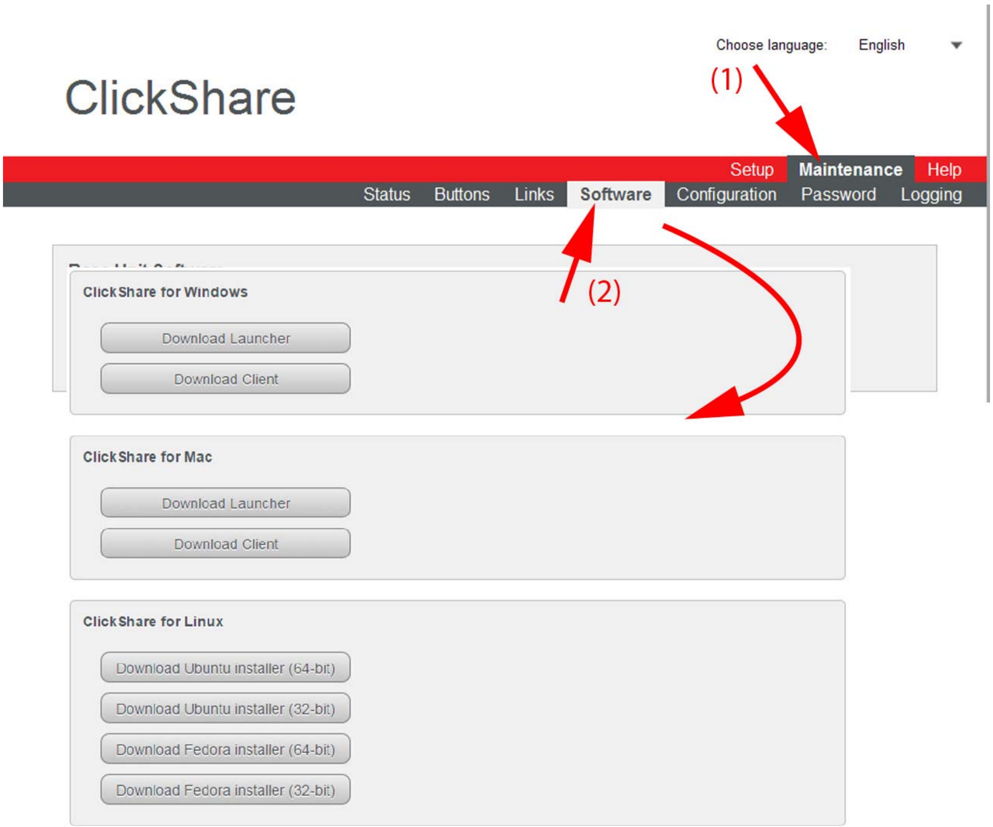
ClickShare の Launcher サービスは、お使いのラップトップまたは会社レベルで事前インストールできます。 どのようにするかは、貴社の IT インフラストラクチャー次第です。

Launcher サービスを事前インストールすると、Launcher アプリケーションがバックグラウンドで実行されます。 Button をラップトップに差し込むと、ClickShare アプリケーションが Button から自動的に実行されます。 Button からファイルを実行する必要はありません。

事前インストール用プログラムは、Base Unit の Web インターフェイスおよび Barco の Web サイトからダウンロードできます。

Launcher インストール用プログラムのダウンロード元

Launcer サービス (インストール用プログラム) は、Base Unit から Web インターフェイスに移動するとダウンロードできます。 [*メンテナンス*] > [*ソフトウエア*] に移動し、Launcher サービスをダウンロードしてください。

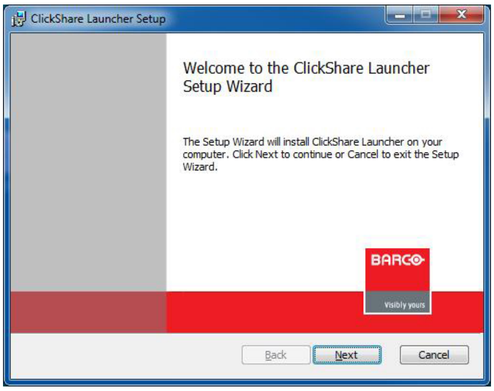


画像 5-4
ソフトウェアのダウンロード

5.3 ClickShare Launcher インストーラー

インタラクティブセットアップ

このセットアップでは、インストーラーを実行し、エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) を受諾してインストール先のディレクトリーを指定した後、ClickShare Launcher をコンピューターにインストールします。 スクリーンに表示される指示に従ってください。



画像 5-5

セットアップが終了すると、ClickShare Launcher が自動的に開始されます。

サイレントセットアップ

このセットアップでは、ユーザーまたは IT 管理者が Windows のコマンドプロンプトを使って ClickShare Launcher をインストールします。 サイレントインストールの例を以下に示します:

```
msiexec.exe /i ClickShare_Launcher_01_06_00_0144_Setup_Win.msi ACCEPT_EULA=YES INSTALLDIR=C:¥ LAUNCH_APP=YES /qn
```

パラメータ	説明
ACCEPT_EULA	このパラメーターは、インストール者が EULA テキストを現状のまま受諾することを示します。 インストールを続行するには、このパラメーターを YES に設定する必要があります。

パラメータ	説明
INSTALLDIR	このパラメーターは、ClickShare Launcher のインストール先ディレクトリーを指定します。 指定しない場合のデフォルトのフォルダーは「Program Files」フォルダーです。
LAUNCH_APP	このパラメーターを YES に設定すると、インストール終了直後に ClickShare Launcher アプリケーションが開始されます。 それ以外の場合、Launcher アプリケーションは開始されません。
/qn	このパラメーターは、インストールがサイレントモードで行われることを示し、インストール中は一切ウィンドウが表示されないことを意味します。

ClickShare Launcher をサイレントモードでアンインストールするには、以下のコマンドラインを使用します:

```
msiexec.exe /x ClickShare_Launcher_01_06_00_0144_Setup_Win.msi /qn
```

5.4 ClickShare for Linux

一般情報

ClickShare Client for Linux は、2 つの部分で構成されます。第 1 の部分は Client 自体です。第 2 の部分は ClickShare-Launcher です。Launcher は、Button が挿入された瞬間から Client を開始するバックグラウンド アプリケーションとしてインストールされます。

ダウンロードしたインストーラは、両方のバイナリーコードをインストールします。

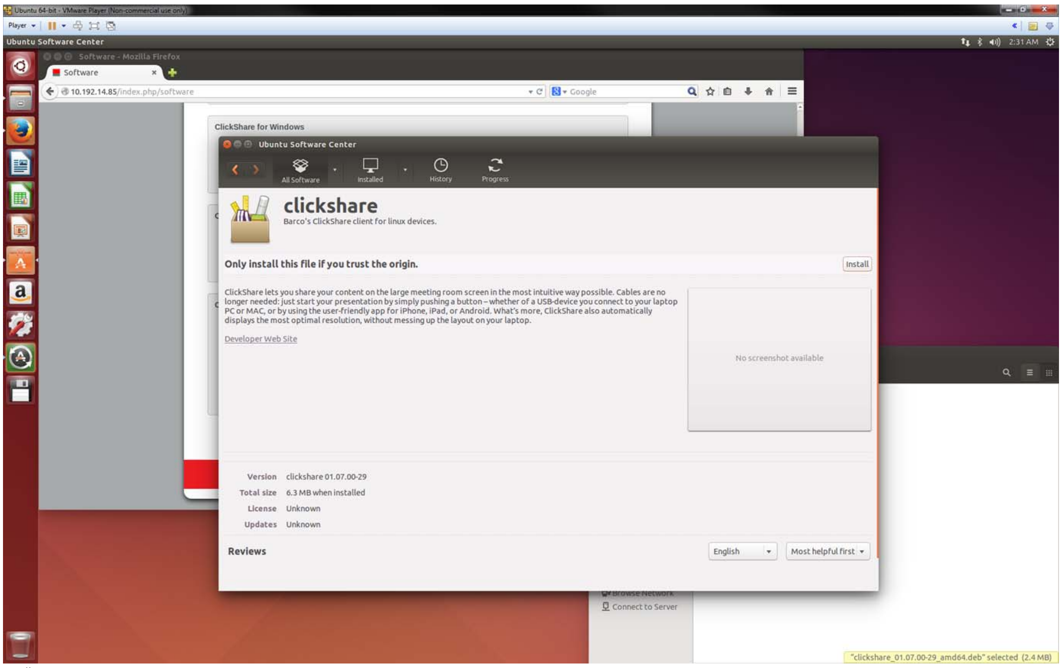
互換性

ClickShare for Linux は、Ubuntu 14.04 および Fedora 20 を公式サポートしています (32 ビットおよび 64 ビットバージョンがサポートされています)。ライブラリのバージョンによって、その他の配信およびバージョンが機能する場合もあります。

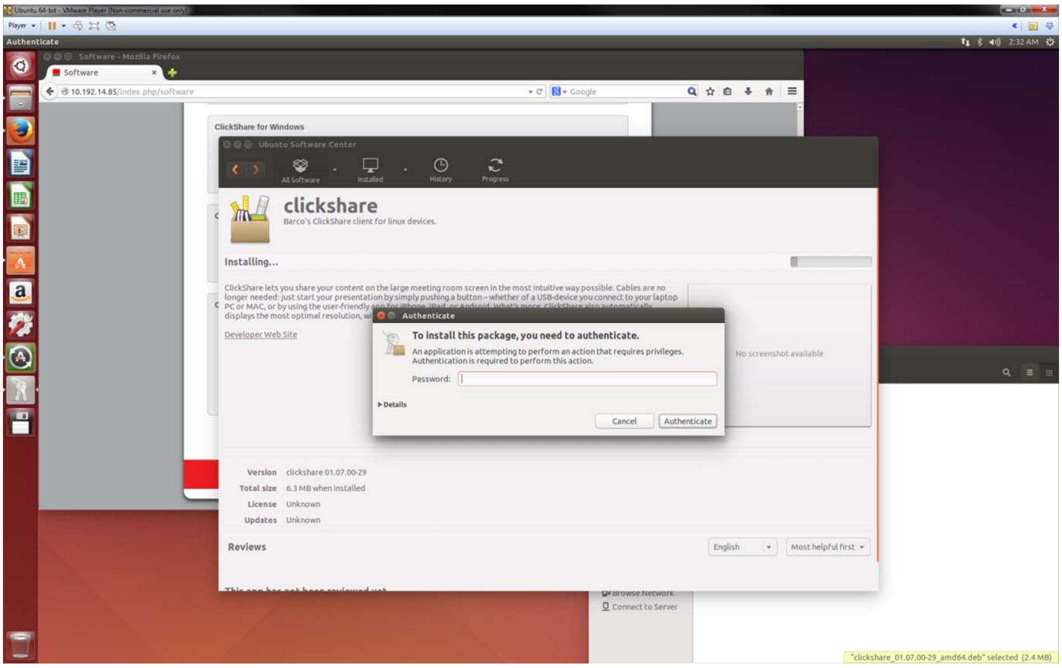
ClickShare を実行するには、管理者権限が必要です。Ubuntu の場合、ユーザーを*「plugdev」*グループに追加する必要があります。Fedora の場合、ユーザーを*「wheel」*グループに追加する必要があります。

Ubuntu でのインストール

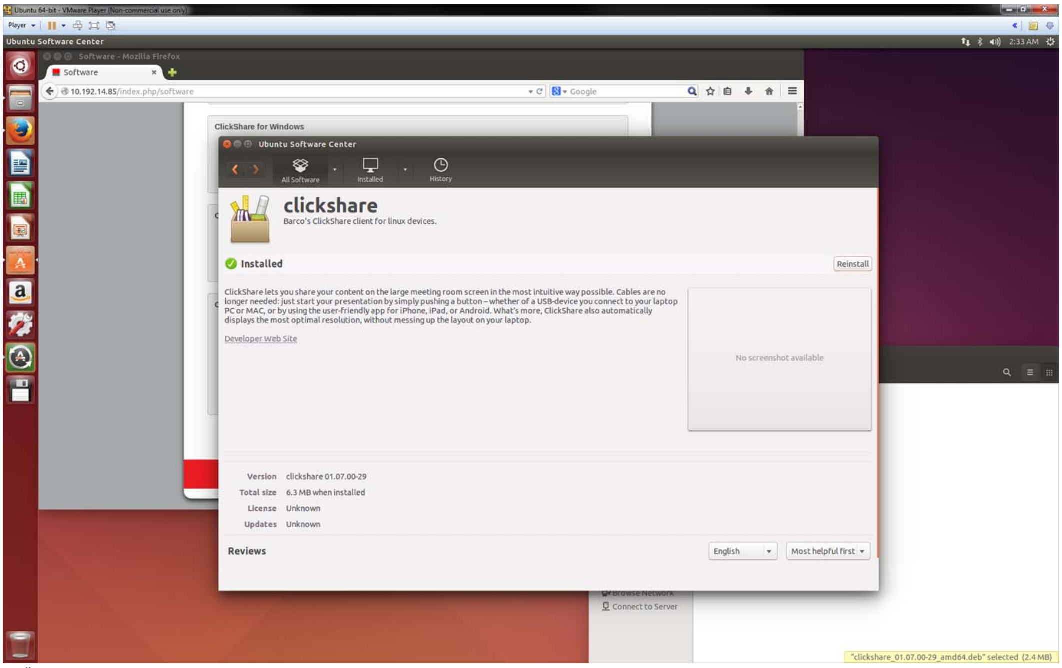
ダウンロードした .deb ファイルを検索し、インストールを開始します。以下の画面でインストーラに表示される指示に従います。



画像 5-6



画像 5-7



画像 5-8

インストール後は、ログアウトして再度ログインし、バックグラウンド プロセスを起動することを推奨します。

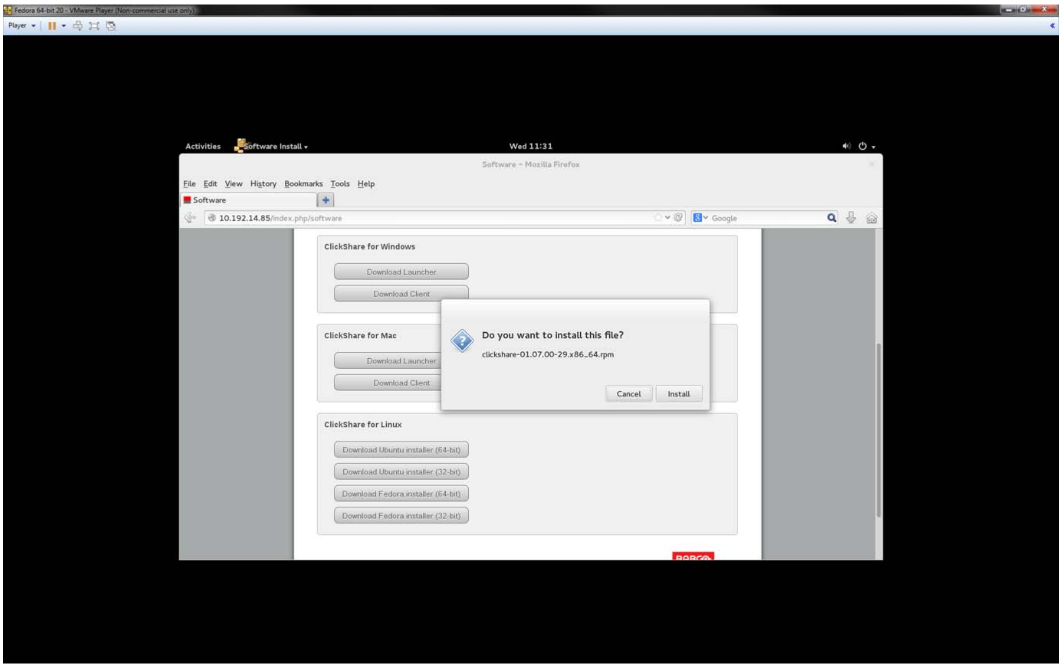
Fedora でのインストール

ffmpeg をインストールするには、以下のコマンドを実行して rpmfusion レポジトリを有効にする必要があります。

```
rpm -Uvh http://download1.rpmfusion.org/free/fedora/rpmfusion-free-release-stable.noarch.rpm http://download1.rpmfu-
sion.org/nonfree/fedora/rpmfusion-nonfree-release-stable.noarch.rpm
```

このコマンドは、インストーラを開始する前に実行する必要があります。

ダウンロードした .rpm ファイルを検索し、インストールを開始します。以下の画面でインストーラに表示される指示に従います。



画像 5-9

[インストール] をクリックします。

6. CLICKSHARE WEB インターフェイス

概要

- ClickShare の Web インターフェイスにアクセスする
- Web インターフェイスの言語設定
- ClickShare のタブについて
- 基本設定
- 壁紙 (背景) の選択
- 独自の壁紙
- ディスプレイ設定
- ディスプレイ出力設定
- オンスクリーン テキスト形式
- 音声設定
- 統合、Polycom
- 企業ネットワーク、有効化
- EAP-TLS を使用する企業ネットワーク
- EAP-TTLS を使用する企業ネットワーク
- PEAP を使用する企業ネットワーク
- WPA2-PSK を使用する企業ネットワーク
- セキュリティ: HTTPS または HTTP アクセス プロトコル
- セキュリティ: Web ユーザ インターフェイス
- セキュリティ: SSH へのアクセス
- セキュリティ: アプリに対する共有のブロック
- 詳細設定: ホスト名
- 詳細設定: LAN ネットワーク設定
- 詳細設定: WiFi 設定
- 詳細設定: API 構成設定
- 詳細設定: NTP 設定
- メンテナンス、ステータスの確認 ClickShare
- メンテナンス、Button 情報
- メンテナンス、WiFi を使用した Button のアップデート
- Base Unit のソフトウェアアップデート
- Base Unit (Launcher サービス) からのダウンロード
- システム設定の管理
- デフォルト設定のロード
- 管理者パスワード
- 統合者パスワード
- ログ設定
- ClickShare ヘルプ、Barco へのお問い合わせ
- Barco ClickShare EULA

6.1 ClickShare の Web インターフェイスにアクセスする

Web インターフェイスへのアクセス

ClickShare の Web インターフェイスにアクセスするには、以下の 3 つの方法があります:

- LAN を使用
- PC および Base Unit 間の直接 Ethernet 接続。
- Base Unit のワイヤレスネットワークを使用

LAN を使用して Web インターフェイスにアクセスするには

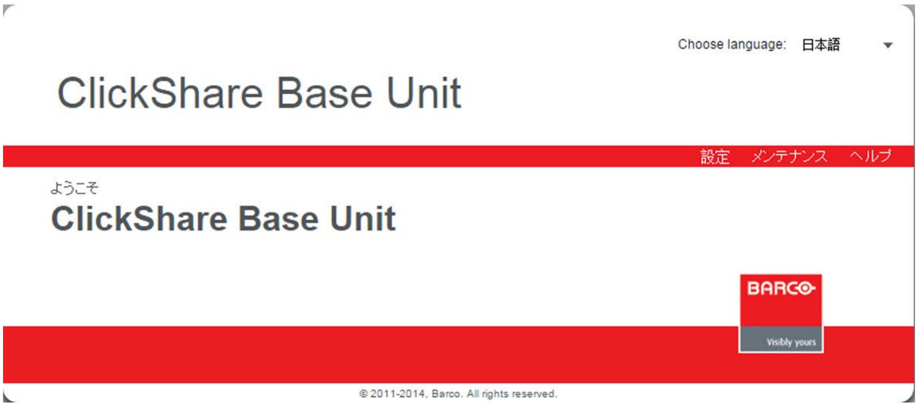
1. ブラウザーを開きます。
   注記: *サポートするブラウザーは、Internet Explorer 8 以上、Firefox、Google Chrome、および Safari です。*
2. ClickShare のようこそスクリーンの左上隅にある IP アドレスに移動します。
   注記: *Base Unit が LAN に接続されている場合は、優先 IP アドレスのみが表示されます。*

ログインスクリーンが表示されます。

3. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力して [OK] をクリックします。

   デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

   Web インターフェイスが開きます。



画像 6-1
Web インターフェイス、起動画面

Web インターフェイスの言語は変更できます。次の 3 つのタブも表示されます:[セットアップ]、[メンテナンス]、および [ヘルプ] タブ。

IP アドレスが見つからない場合 (画面を見ることができない場合など) は、Ethernet クロスオーバーケーブルを介して Base Unit を直接お使いのラップトップに接続し、固定 IP アドレス「192.168.1.23」を使って Web インターフェイスにアクセスしてください。お使いの LAN アダプターが「192.0138.1.」の範囲に設定されていることを確認してください。

直接接続を使用して Web インターフェイスにアクセスするには

1. Ethernet ケーブルを使って、Base Unit をお使いのラップトップに接続します。古いハードウェアでは、クロスオーバーケーブルが必要となる場合があります。
2. ラップトップでブラウザーを開きます。
   注記: サポートするブラウザーは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。
3. 「http://192.168.1.23」に移動します。

   ログインスクリーンが表示されます。
4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力して [OK] をクリックします。
   デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

   Web インターフェイスが開きます。

Base Unit のワイヤレスネットワークを使用して Web インターフェイスにアクセスするには

1. ラップトップで、Base Unit のワイヤレスネットワークに接続します。

   Base Unit に接続するためのデフォルトの SSID およびパスワードは、「ClickShare-<製造ベース番号>」および「clickshare」です。
2. ラップトップでブラウザーを開きます。
   注記: サポートするブラウザーは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。
3. 次の URL に移動します:http://192.168.2.1

   ログインスクリーンが表示されます。
4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力して [OK] をクリックします。
   デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

   Web インターフェイスが開きます。

古いラップトップは 5 GHz 周波数帯域をサポートしません。お使いの Base Unit がその周波数範囲に設定されている場合、それらのラップトップはワイヤレスネットワークを使用して Base Unit に接続できません。

6.2 Web インターフェイスの言語設定

言語について

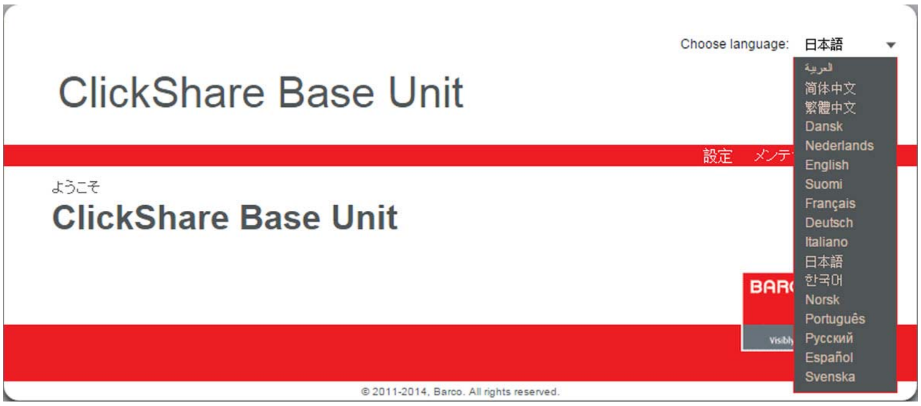
ClickShare の Web インターフェイスを異なる言語で表示できます。

以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

変更方法

1. [*言語の選択*] ドロップダウンボックスをクリックし、目的の言語を選択します。



画像 6-2
言語の選択

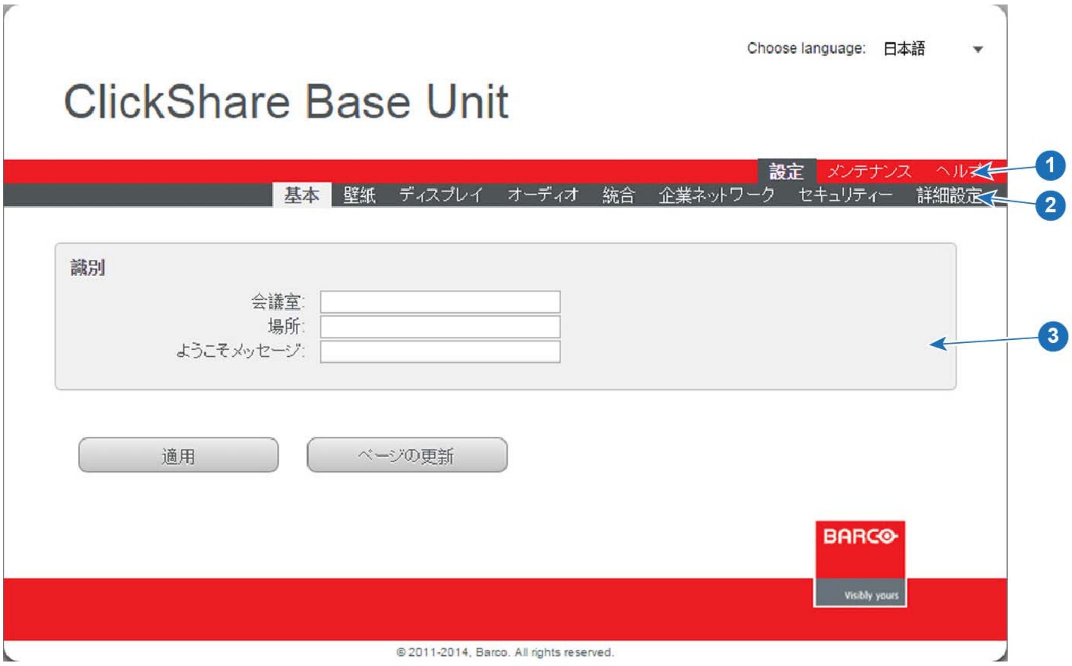
Web インターフェイスの言語が選択した言語に変化します。

Web インターフェイスの言語は、ほとんどどのページでも変更できます。ClickShare の Web インターフェイスに表示される言語は、[ディスプレイ] ページで設定できるオンスクリーンテキスト言語の言語とは独立して設定されます。

6.3 ClickShare のタブについて

概要

ClickShare には、[セットアップ]、[メンテナンス]、[ヘルプ] の 3 つのタブを含むメインタブバー (赤地に白いテキストのバー) があります。 それぞれのメインタブにはサブタブがあります。 サブタブは、メインタブが選択されている場合にのみ表示されます。 これらのサブタブは、グレーのバーに表示されます。 サブタブの機能については、次のトピックで説明します。



画像 6-3
タブページ

1	メインタブバー
2	サブタブバー
3	情報および入力ペイン

6.4 基本設定

基本設定について

基本設定には以下の情報が表示されます:

- 会議室名
- 会議室の場所
- ようこそメッセージ

基本設定を変更するには

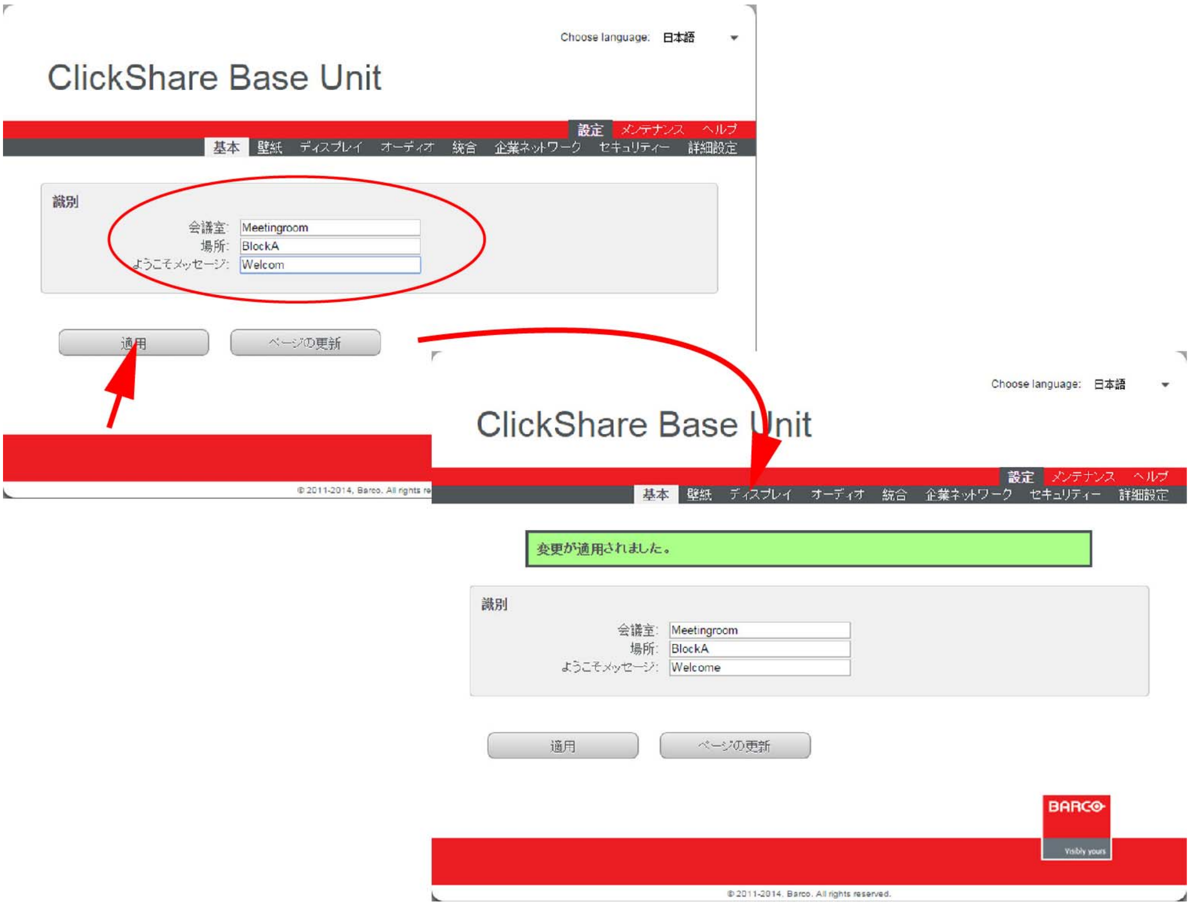
1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. **[セットアップ]** タブをクリックします。

画像 6-4
基本設定のセットアップ

デフォルトで、[**基本**] タブが表示されます。

3. [**識別情報**] セクションの入力フィールド内をクリックし、 以下の情報を入力します:
   - 会議室の名前
   - 会議室の場所
   - 会議室名と会議室の場所の下に表示されるようこそメッセージ

   注記: 会議室の名前は、クライアントソフトウェアが接続している Base Unit を識別するために使用します。
4. [**適用**] をクリックして変更内容を確認します。



画像 6-5

無事変更されたことを示すメッセージが表示されます。

新しい名前、場所、およびようこそメッセージがスクリーンの左上隅に表示されます。

6.5 壁紙 (背景) の選択

壁紙について

ClickShare が起動すると背景 (壁紙) が表示されます。デフォルトでは、一般的な ClickShare およびクイックスタートの壁紙を選択できます。 独自の背景 (壁紙) をアップロードすることも可能です。 適用する前に、選択した壁紙がプレビュー ペインに表示されます。

壁紙の選択

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**壁紙**] タブ (2) をクリックします。

   [**壁紙**] タブのコンテンツが表示されます。

画像 6-6
壁紙の選択

3. 使用可能な壁紙 (3) を 1 つ選択し、[**適用**] をクリックします。
   注記: デフォルトでは、一般的な Barco ClickShare の壁紙および ClickShare クイックスタートガイドの壁紙を選択できます。

   壁紙はスクリーンの縦横比に合わせて自動的にサイズ変更されます。

   選択した壁紙のプレビューが赤色の枠付きで表示されます。適用する前に、選択した壁紙がプレビューペインに表示されます。

   壁紙を選択するウィンドウの上部に以下のメッセージが表示されます。

画像 6-7

   選択した壁紙がすぐに使用されます。

4. 壁紙の表示/非表示を切り替えるには、[*壁紙の表示*] チェックボックス (4) をオンまたはオフにします。

   壁紙を非表示にすると、共有されていない限り表示出力がシャットオフされます。

また、独自の壁紙 (貴社のロゴなど) を追加することもできます。一覧に新しい壁紙を追加する方法の詳細は、「背景の壁紙の管理」を参照してください。

6.6 独自の壁紙

独自の壁紙について

Web インターフェイスでは、独自の背景や壁紙をアップロードできます。壁紙をアップロードするための空き容量は、[*空き容量*] ペインに表示されます。

アップロードするファイルは、JPEG、PNG、BMP、または TIFF 形式で、最大サイズは 2.5MB です。

アップロードできるカスタム壁紙は 1 つです。別の壁紙をアップロードする場合は、まず最初の壁紙を削除する必要があります。

アップロード方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**壁紙**] タブ (2) をクリックします。

画像 6-8
壁紙の追加

[**壁紙**] タブページが表示されます。

3. [*背景の壁紙*] ペインにある [**+**] 記号 (3) をクリックします。

   参照のためのウィンドウが開きます。

4. 該当するファイル (4) を選択し、[**開く**] (5) をクリックします。

   ファイルのコンテンツが確認され、有効 (形式およびサイズ) である場合はファイルがアップロードされます (6)。

   ページの上部に「*変更が適用されました*」というメッセージが表示されます。

5. 独自の壁紙をアクティブ化するには、壁紙の選択手順に従ってください。

6.7 ディスプレイ設定

ディスプレイ設定について

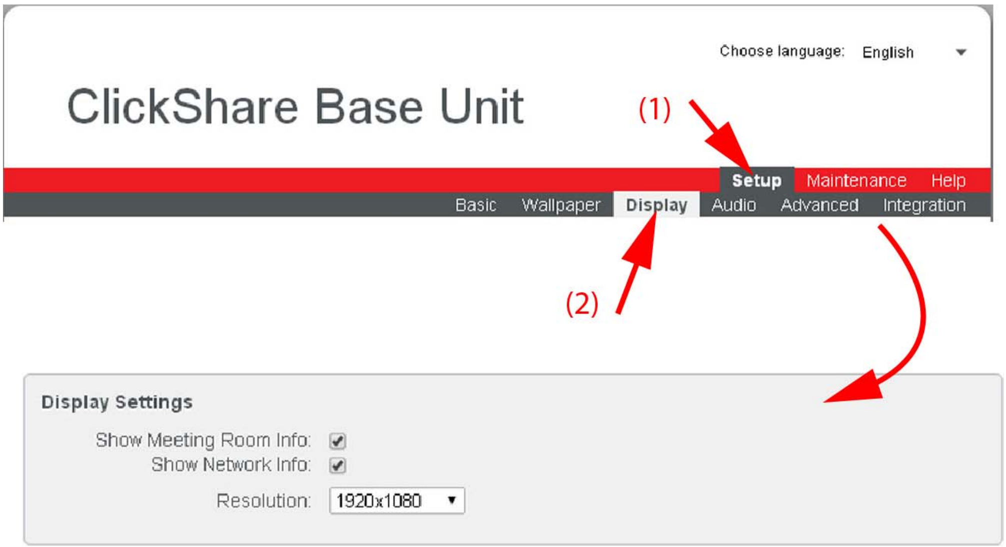
ディスプレイに対しては、以下の設定を指定できます:

- 起動画面に表示される会議室およびネットワーク情報は、表示することも非表示にすることもできます。
- ディスプレイの解像度を設定できます。

変更するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**ディスプレイ**] タブ (2) をクリックします。

   [**ディスプレイ**] タブのコンテンツが表示されます。 最初のペインに [*ディスプレイ設定*] が表示されます。



画像 6-9
ディスプレイ設定

3. 会議室のディスプレイに会議室およびネットワーク情報を表示するには、対応する項目のチェックボックスをオンにします。
4. **解像度**を設定します。 ドロップダウンボックスをクリックし、希望の解像度を選択します。
   注記: ClickShare でサポートされている最大出力解像度は 1920 x 1080 です。これはデフォルトでもあります。
5. [**適用**] をクリックして変更内容を確認します。

6.8 ディスプレイ出力設定

ディスプレイ出力設定について

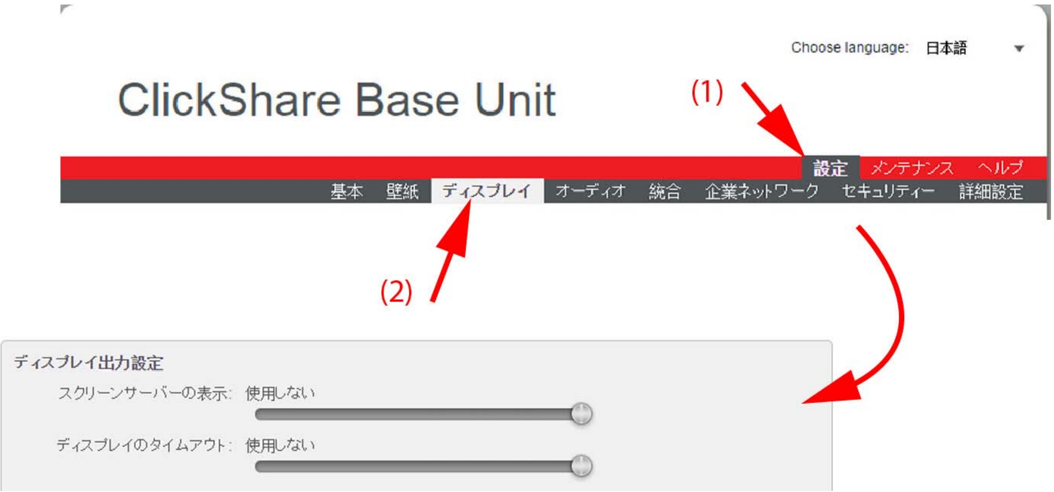
スクリーンセーバーは、特定時間の後にアクティブ化できます。スクリーンセーバーをアクティブ化する遅延時間は、スライドバーを使って設定できます。

スライダーが最も右側に設定されている場合は、スクリーンセーバーはアクティブ化されません。目的の遅延時間になるまで、スライダーを左方向にスライドしてください。この遅延時間に「ディスプレイタイムアウト」より長い時間を設定することはできません。ディスプレイタイムアウトより長い遅延時間が設定された場合は、[**適用**] をクリックしたあと、警告が表示されます。

ディスプレイのタイムアウト:ディスプレイタイムアウト時間中に入力信号が検出されなかった場合は、両方の出力がブランクに設定されます。

変更方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**ディスプレイ**] タブ (2) をクリックします。



画像 6-10
ディスプレイ出力設定

3. スクリーンセーバーをアクティブ化するには、目的の遅延時間になるまで、スライダーを左右にドラッグします。

   スライダーが最も右側に設定されている場合は、スクリーンセーバーはアクティブ化されません。

   遅延時間に「ディスプレイタイムアウト」より長い時間を設定することはできません。ディスプレイタイムアウトより長い遅延時間が設定された場合は、[**適用**] をクリックしたあと、警告が表示されます。

4. ディスプレイタイムアウトを設定するには、目的のディスプレイタイムアウトになるまで、スライダーを左右に移動します。

6.9 オンスクリーン テキスト形式

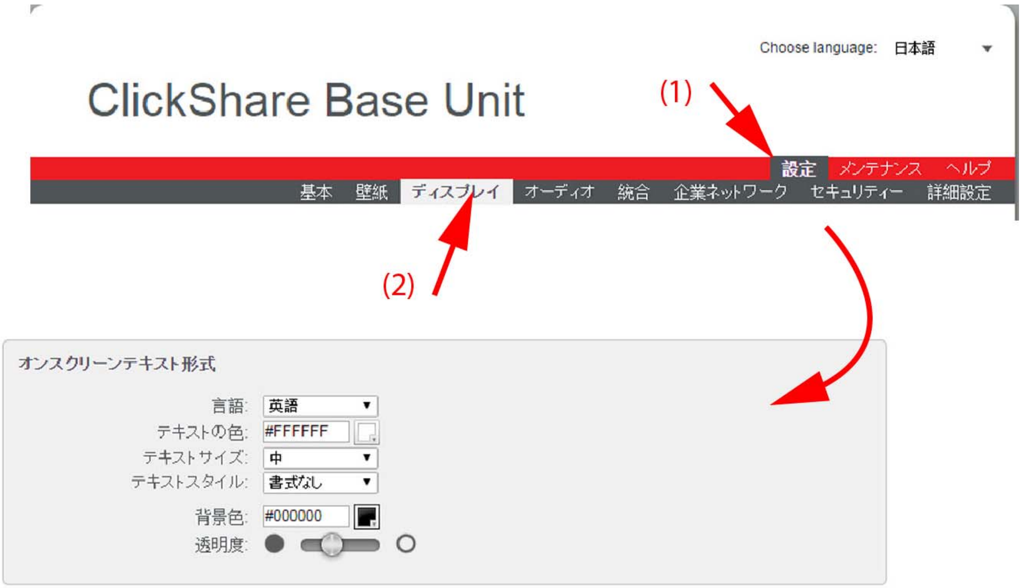
オンスクリーン テキストについて

オンスクリーン メッセージの言語は変更できます。メッセージの色、サイズ、およびスタイルもアップデートできます。背景色および透明度は、テキストのレイアウトに合わせて調整できます。

開始方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**ディスプレイ**] タブ (2) をクリックします。

   [**ディスプレイ**] タブのコンテンツが表示されます。最後のペインに [*オンスクリーン テキスト形式*] が表示されます。

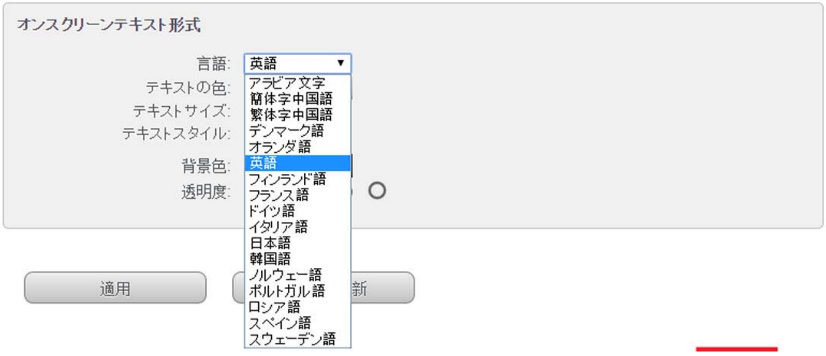


画像 6-11

3. 変更後は [**適用**] をクリックすると新しい設定がアクティブ化されます。
   変更をキャンセルするには、[**ページの更新**] をクリックします。

言語の選択

1. オンスクリーン テキストの言語を選択します。[*言語*] ドロップダウン ボックスをクリックし、目的の言語を選択します。



画像 6-12
言語の選択

以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

テキストの色

1. [*テキストの色*] 入力フィールドをクリックするか、色アイコン (1) をクリックします。

画像 6-13
テキストの色の選択

色を選択するためのウィンドウが開きます。

2. 目的の色が得られるまで、カラーバーにあるマーカーを上下にドラッグします (2)。
3. 選択した色の濃度を変更するには、目的の濃度が得られるまで、スクエアにあるサーキュラー マーカーをドラッグします (3)。

テキストのサイズとスタイル

1. テキストのサイズを変更するには、ドロップダウン ボックスをクリックして目的のサイズを選択します。

以下のサイズを選択できます:
- 小
- 中
- 大

2. テキストのスタイルを変更するには、ドロップダウン ボックスをクリックして目的のスタイルを選択します。

背景色

1. [*背景色*] 入力フィールドをクリックするか、色アイコンをクリックします。

画像 6-14
背景色

2. 目的の色が得られるまで、カラー バーにあるマーカーを上下にドラッグします (2)。
3. 選択した色の濃度を変更するには、目的の濃度が得られるまで、スクエアにあるサーキュラー マーカーをドラッグします (3)。

透明度

1. 目的の透明度が得られるまでスライダーを左右に移動します。

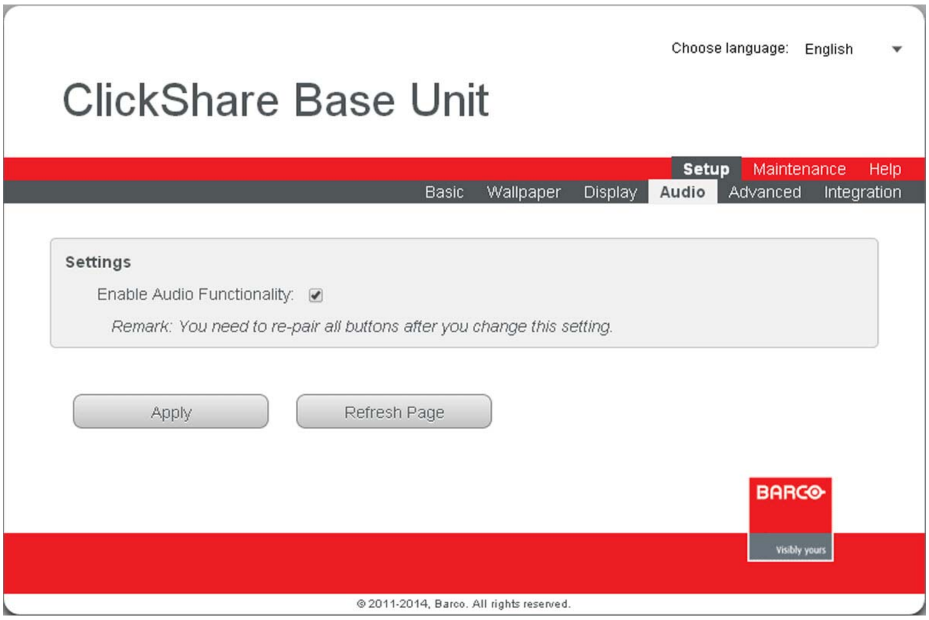
画像 6-15
透明度

- スライダーを右に移動:透明度大
- スライダーを左に移動:透明度小

6.10 音声設定

音声設定について

音声機能は、有効化または無効化できます。 有効化および/または無効化の設定を変更した後アクティブ化するには、Button を再度ペアリングする必要があります。



画像 6-16
音声設定

変更方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブをクリックし、[**音声**] タブをクリックします。
3. Base Unit で音声を有効化するには、[*オーディオ機能の有効化*] チェックボックスをオンにします。
   注記: *音声設定を変更すると、Button を再度ペアリングすることが必要となります。*

6.11 統合、Polycom

統合について

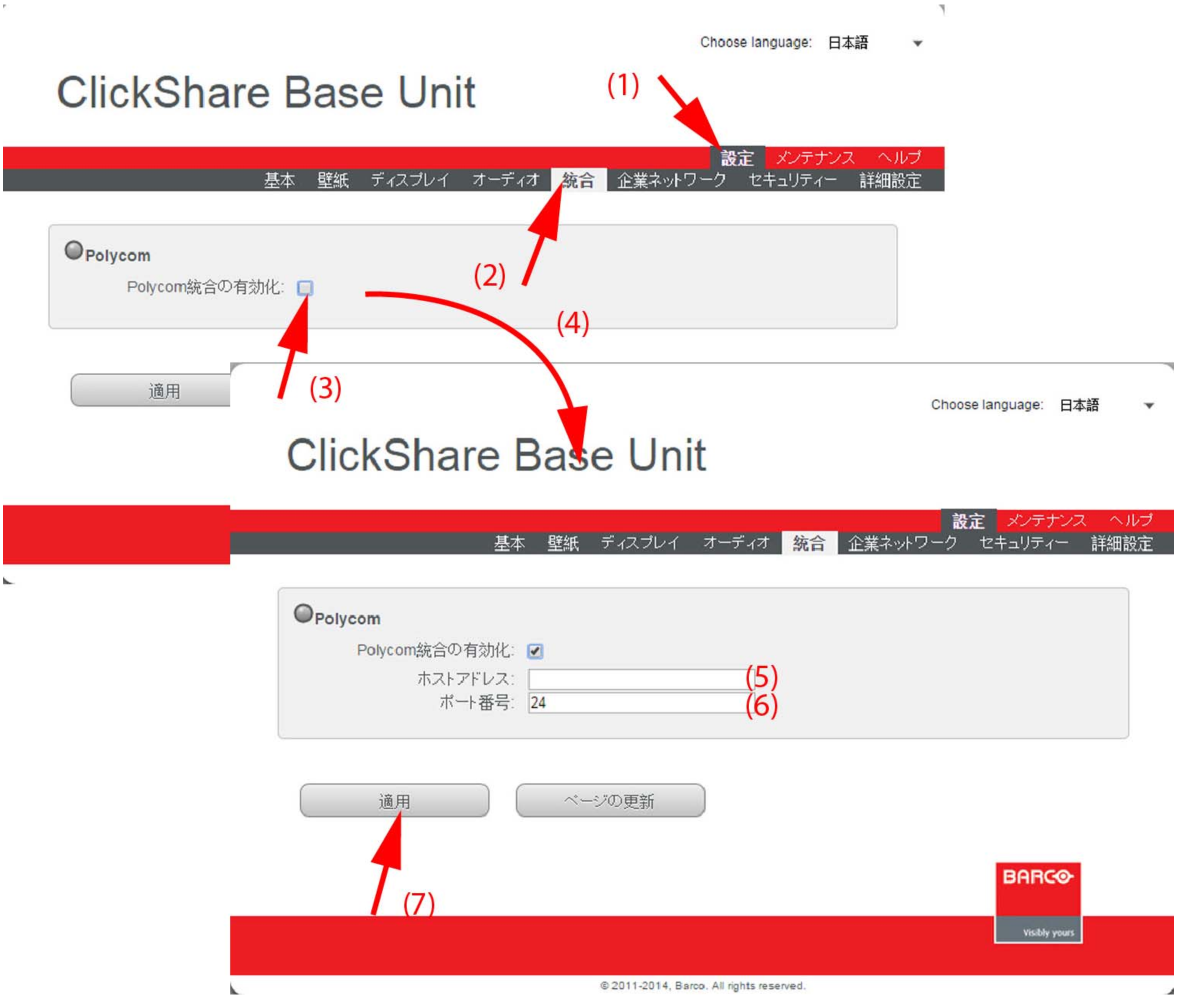
ClickShare および Polycom の両システムが会議室に設置されている場合は、通常、ClickShare Base Unit のビデオ出力が Polycom ユニットにソース入力として接続されています。 この場合、ClickShare を使用するコンテンツを共有して、Polycom システムで表示できます。

Polycom システムのデザインおよび構成によって、Polycom システムで最後に受信されたコンテンツが現在のコンテンツと見なされ、ディスプレイに表示されます。 そのため ClickShare と Polycom の統合では、あるコンテンツが表示されているときに ClickShare Button で共有する別のコンテンツを受信しないようにする必要があります。

統合をセットアップするには、ClickShare Base Unit および Polycom システムを同じネットワークに接続する必要があります。

表示方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**統合**] (2) をクリックします。



画像 6-17
統合、Polycom

3. Polycom 統合を有効化するには、[*Polycom 統合の有効化*] チェックボックス (3) をオンにします。

   対象の Polycom ユニットの IP アドレスまたはホスト名 (5)、および API コマンドを送信できるようにする Telnet ポート[2] (6) を入力するよう求められます。

4. [**適用**] (7) をクリックします。

   統合を有効化すると、共有 ClickShare Button がない場合は、ClickShare Base Unit がスタンバイモードに入ります。

   2 つシステム間で接続が確立されるとすぐに[3]、Base Unit が「notify vidsourcechanges」API コマンドを Polycom ユニットに送信します。 その瞬間から、Polycom ユニットにより ClickShare からのコンテンツがディスプレイから消え、現在コンテンツを共有しているすべての ClickShare Button は「共有準備完了」モードに、ClickShare Base Unit はスタンバイモードになります。 クライアント側から共有を再開するには、それぞれのボタンをクリックします。ディスプレイにコンテンツが表示されます。

   エラーが発生した場合は LED が赤色になり、エラーメッセージが表示されます。

接続の無効化

1. [*Polycom 統合の有効化*] チェックボックスをオフにします。
2. [**適用**] をクリックします。

   ClickShare Base Unit が「nonotify vidsourcechanges」API コマンドを Polycom ユニットに送信し、接続が切断されます。

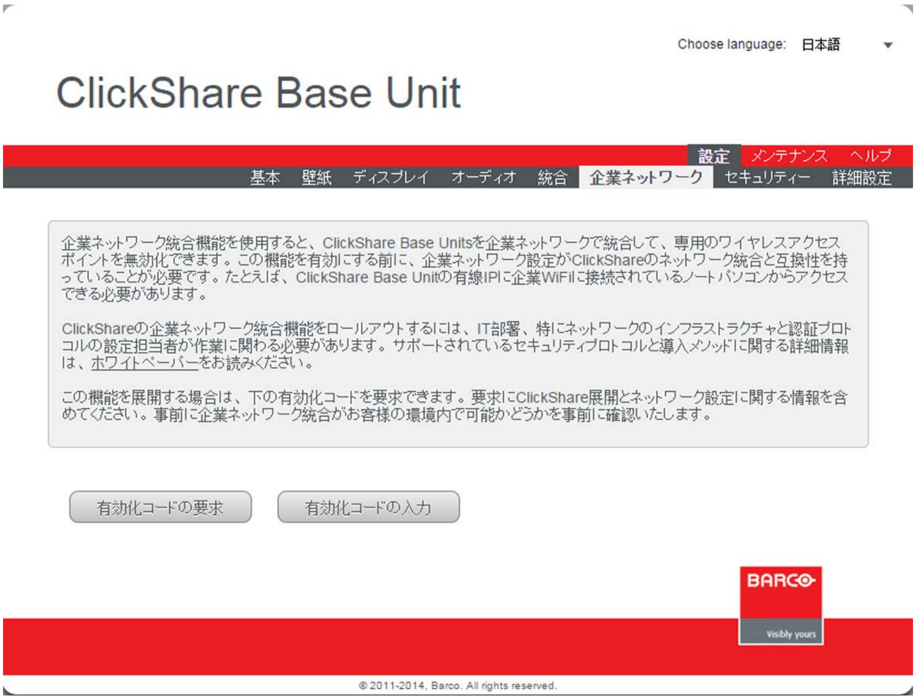
6.12 企業ネットワーク、有効化

起動

ClickShare ネットワーク統合機能は複雑であるため、まずそれを有効化する必要があります。 有効化するには、[企業ネットワーク] タブを表示してボタンをクリックすると、要求ページが表示されます。 ClickShare の導入およびネットワーク設定に

2. デフォルトで、Telnet ポートは 24 に設定されています。
3. 接続を確立するには時間のかかる場合があるため、最新の接続ステータスを確認するには現在のページを更新することが必要となる場合もあります。

関する詳細を入力してください。 要求を受理した後、当社がその機能をお使いの環境で有効にすることが可能かどうかを確認します。 可能な場合は、この機能にアクセスするために Base Unit の Web ユーザー インターフェイスに入力する必要のあるアクティベーション コードをお送りします。



画像 6-18

コードを要求するには、[**アクティベーション コードを要求する**] チェックボックスをオンにします。

[**アクティベーション コードを入力する**] をクリックして、配信されたコードを入力します。

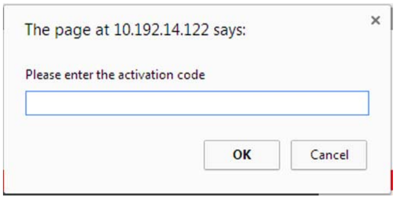
アクティベーション コードを要求する

Barco ウェブ サイトで、ブラウザに静的フォームが表示されます。

フォームに必要事項を入力し、Barco に送信してください。

アクティベーション コードを入力する

入力ウィンドウが開きます。



画像 6-19

入力フィールドをクリックして配信されたコードを入力し、[OK] をクリックします。

コードが確認され、ウィザードの開始画面が表示されます。

6.13 EAP-TLS を使用する企業ネットワーク

EAP-TLS について

EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) は、クライアントおよびサーバ間の相互認証を可能にする証明書に基づく EAP メソッドの 1 つです。 サーバおよびクライアント証明書を配布するための PKI (公開キー インフラストラクチャ) が必要です。一部の企業ではこれが大きな障害物となり、その場合は代わりに EAP-TTLS および PEAP を利用します。 規格では X.509 クライアント証明書が厳格に求められているわけではありませんが、ClickShare を含むほとんどの実装ではそれが必須となっています。 クライアント証明書を使って実装する場合、EAP-TLS は最も安全な EAP メソッドの 1 つであると考えられています。唯一の小さなデメリットは、ユーザ ID が実際の TLS ハンドシェークが行われる前に暗号化されずに送信されることです。

EAP-TLS の使用方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。

2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**企業ネットワーク**] (2) をクリックします。

画像 6-20
企業ネットワーク、EAP-TLS

3. [**ウィザードの開始**] (3) をクリックし、設定手順を開始します。

   [セキュリティ モードの選択] ウィンドウが開きます (4)。

4. [*EAP-TLS*] (5) の横にあるラジオ ボタンを選択し、[**次へ**] (6) をクリックします。

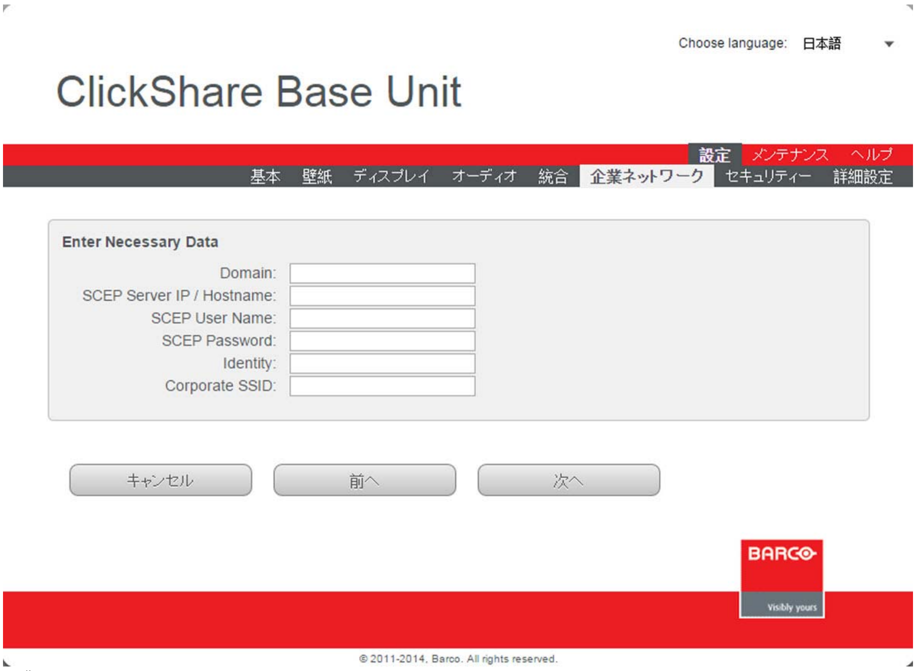
   EAP-TLS モードのウィンドウが開きます。
   以下の 2 つの選択肢があります。
   - SCEP を使用した自動調整
   - クライアントおよび CA 証明書を手動で提供する

SCEP の使用

[*SCEP を使用した自動登録*] の横にあるラジオ ボタンを選択し、[**次へ**] (6) をクリックします。

簡易証明書登録プロトコル (SCEP) は、拡張可能な方法で証明書を発行および無効にすることができるプロトコルです。 SCEP サポートにより、 ClickShare Base Unit および Button の企業ネットワークへの統合がより迅速でスムーズになります。 ほとん

どの企業は Microsoft Windows Server およびそのアクティブ ディレクトリ (AD) を使用してユーザおよび装置を管理しているため、当社の SCEP 実装は、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 の一部であるネットワーク デバイス登録サービス (NDES) で特に対象とされています。 その他の SCEP サーバ実装は一切サポートされていません。



画像 6-21
SCEP プロトコル

NDES について

ネットワーク デバイス登録サービスは、 Microsoft による SCEP プロトコルのサーバ実装です。 SCEP を使って EAP-TLS を有効化する場合は、NDES が有効で、お使いの Windows Server 上で設定および稼働していることを確認してください。 NDES の設定に関する詳細については、Microsoft の Web サイトにある「4」を参照してください。 SCEP はいわゆる *「チャレンジ パスワード」* を使用して、登録要求の認証を行います。 NDES の場合、このチャレンジをお使いのサーバ (http(s)://[お使いのサーバのホスト名]/CertSrv/mscep_admin.) から取得できます。

セットアップ ウィザードに必要な認証情報を入力すると、このチャレンジが Base Unit により自動的にその Web ページから取得され、登録要求で使用されます。これによりプロセスが完全に自動化されます。

続行するために必要なデータ:

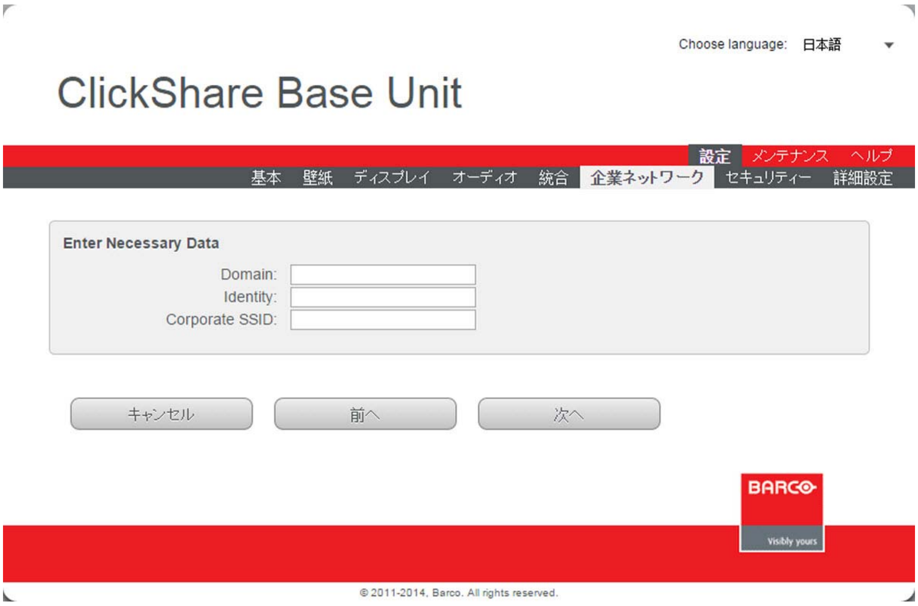
ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
SCEP ServerIP/ホスト名	これは、NDES サービスが稼働しているネットワークにある Windows Server の IP またはホスト名です。 インターネット情報サービス (IIS) は HTTP および HTTPS の両方をサポートしているため、この 2 つのうち使用するいずれかも含めてください。 いずれかを含めない場合は、デフォルトの設定で HTTP が使用されます。
SCEP ユーザ名	これは、NDES にアクセスし、チャレンジ パスワードを要求するために必要な許可が与えられている、お使いの Active Directory のユーザです。 このためにユーザは、CA 管理者グループに属す (スタンドアロン CA の場合) か、所定の証明書テンプレートで登録許可を得る必要があります。
SCEP パスワード	これは、SCEP ユーザ名を使用するユーザ アカウントのパスワードです。 パスワードは Base Unit に一切保存されません。 サーバからチャレンジ パスワードを要求するのに必要な時間のみメモリーに保存され、その後はメモリーからすぐに削除されます。
ID	Active Directory のユーザ アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。 EAP-TLS を使用する場合は、CA により発行されたクライアント証明書とこのユーザ アカウント間に必要なマッピングが存在することを確認してください。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

手動でアップロードされた証明書を使用する

[*証明書を手動で提供する*] の横にあるラジオ ボタンを選択し、[次へ] をクリックします。

現在の設定が SCEP をサポートしていなかったり、SCEP を使わずに EAP-TLS の相互認証のみを使用する場合は、必要な証明書を手動でアップロードすることもできます。

4. NDES ホワイト ペーパー: http://social.technet.microsoft.com/wiki/contents/articles/9063.network-device-enrollment-service-ndes-in-active-directory-certificate-services-ad-cs-en-us.aspx



画像 6-22

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザ アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。 EAP-TLS を使用する場合は、CA により発行されたクライアント証明書とこのユーザ アカウント間に必要なマッピングが存在することを確認してください。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[次へ] をクリックすると、クライアント証明書をアップロードできます。

画像 6-23

[**クライアント証明書のアップロード**] をクリックします。

提供するクライアント証明書は、お使いのドメインの権威あるルート CA が署名し、[ID] フィールドで指定するユーザにリンクすべきです。 また、提供するクライアント証明書に秘密キーが含まれていることも確認してください。これは、TLS 接続を問題なく設定するために必要です。

ClickShare では、 以下の 2 つの形式のクライアント証明書をアプロードできます。

- *PKCS#12 (.pfx)* - 複数の暗号化オブジェクトを保存するためのアーカイブ ファイル形式。
- *プライバシー強化メール (.pem)* – 以下の 2 つのタグの間に保存された、Base64 でコード化された DER 証明書。 "-----BEGIN CERTIFICATE-----" および "-----END CERTIFICATE-----"。

提供する PKCS#12 ファイルに必要な CA 証明書も含まれている場合は、CA 証明書を別途提供しなくてもよいように、Base Unit がそれを抽出して信頼チェーンを確認します。

CA 証明書

CA 証明書はお使いのドメインの権威あるルート CA の証明書で、EAP-TLS 接続の設定時に使用されます。 ウィザードでは、Base Unit が Client および提供する CA 証明書間の信頼チェーンを確実に確認します。

ClickShare は、Base64 でコード化された DER 証明書を含めることができる一般的な .crt ファイル拡張子をサポートしています。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。 このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。 「*EDSUSBDongleConnection::mpParseDongleMessages*」という行を検索します。 エラー コードと問題の短い要約が記録されるはずです。

6.14 EAP-TTLS を使用する企業ネットワーク

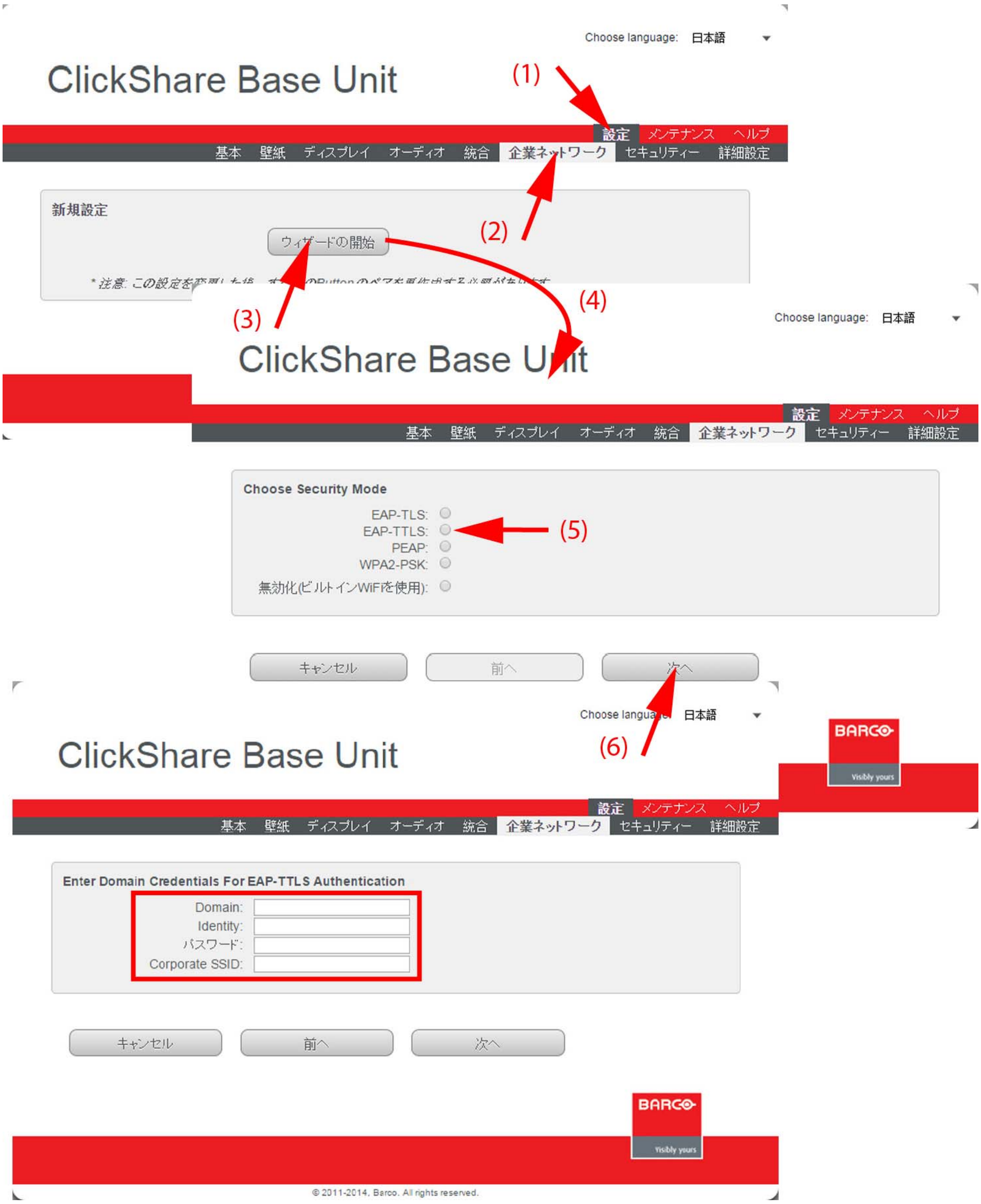
EAP-TTLS について

EAP-TTLS (トンネル化トランスポート層セキュリティ) は、Juniper Networks 社による EAP 実装です。 EAP-TLS と同程度強力な認証を提供しますが、それぞれのユーザに対して証明書を発行する必要はありません。 証明書の発行を受ける代わりに、認証サーバが発行された証明書の役割を果たします。 ユーザ認証はパスワードによって行われますが、そのパスワード資格情報は、サーバ証明書に基づいて確立された安全に暗号化されたトンネル内で送信されます。

ユーザー認証は、既に企業 LAN で使用されているのと同じセキュリティ データベースに対して行われます。 たとえば、SQL または LDAP データベースやトークン システムなどです。 EAP-TTLS は通常クライアント証明書なしで企業環境で実装されるため、クライアント証明書の使用はサポートされていません。 ユーザごとにクライアント証明書を使用する場合は、EAP-TLS を使用することを推奨します。

EAP-TTLS の使用方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**企業ネットワーク**] (2) をクリックします。



画像 6-24
企業ネットワーク、EAP-TTLS

3. [**ウィザードの開始**] (3) をクリックし、設定手順を開始します。

   [セキュリティ モードの選択] ウィンドウが開きます (4)。

4. [*EAP-TTLS*] (5) の横にあるラジオ ボタンを選択し、[**次へ**] (6) をクリックします。

EAP-TTLS モードのウィンドウが開きます。

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザ アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。
パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。 Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[次へ] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。 このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。 「*EDSUSBDongleConnection::mpParseDongleMessages*」という行を検索します。 エラー コードと問題の短い要約が記録されるはずです。

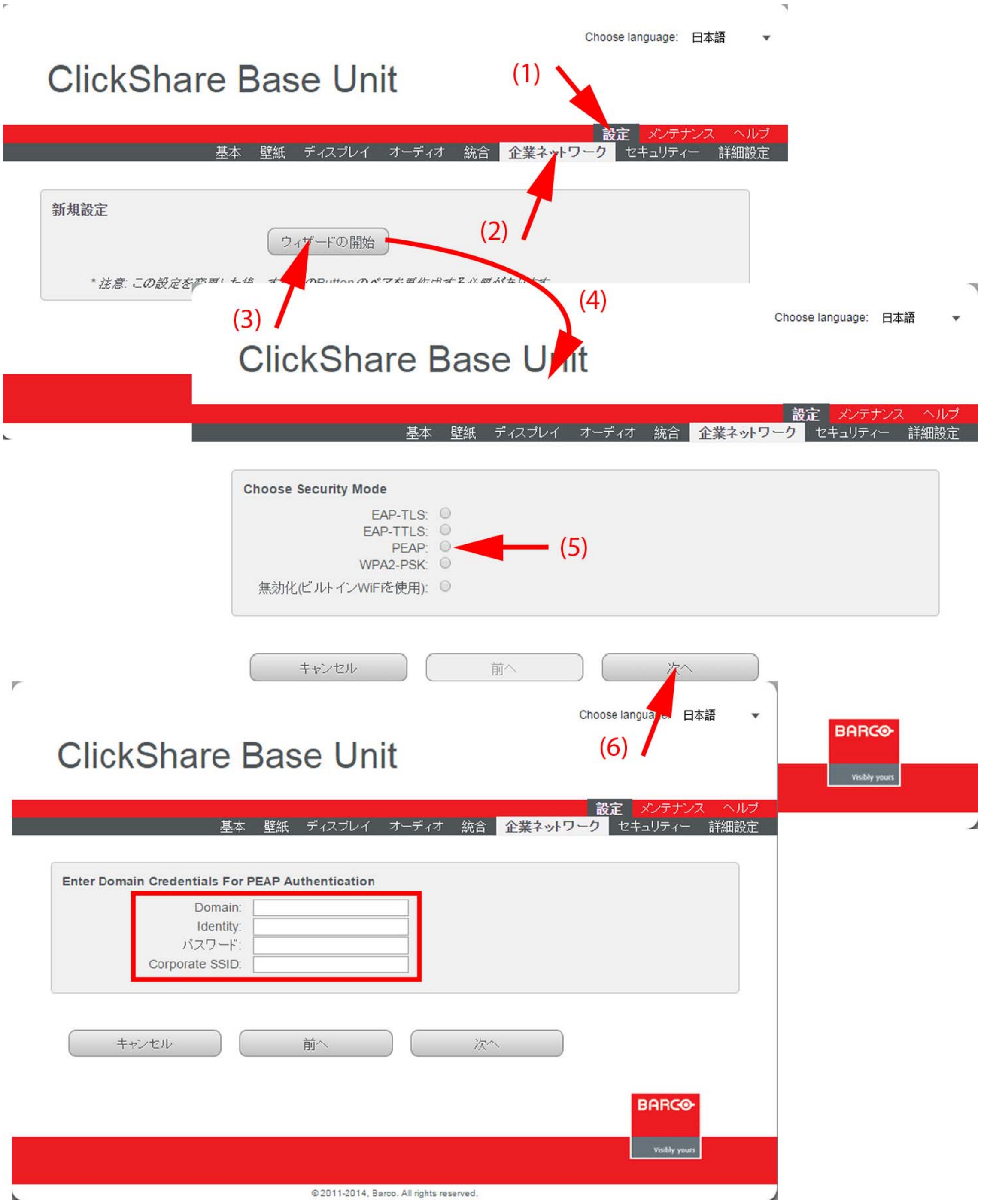
6.15 PEAP を使用する企業ネットワーク

PEAP について

PEAP (保護された拡張認証プロトコル) は EAP 実装の 1 つで、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA Security 社が共同開発しました。 サーバ CA 証明書を使ってセキュリティ保護された TLS トンネルを設定し、その後実際のユーザ認証がトンネル内で行われます。 このように機能するため、ユーザを認証しながら、PKI を使用する必要なく TLS のセキュリティを活用することが可能です。 トンネル内での認証に使用する実際のメソッドは、規格によって指定されていません。 ただし本ドキュメントで PEAP について言及する際は、EAP-MSCHAPv2 を内部認証メソッドとして使用する PEAPv-0 を指します。 これは、WPA および WPA2 規格において認可された 2 つの PEAP 実装の 1 つで、圧倒的に最も一般的で広く使用されている PEAP 実装です。

PEAP の使用方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**企業ネットワーク**] (2) をクリックします。



画像 6-25
企業ネットワーク、PEAP

3. [**ウィザードの開始**] (3) をクリックし、設定手順を開始します。

   [セキュリティ モードの選択] ウィンドウが開きます (4)。

4. [*PEAP*] (5) の横にあるラジオ ボタンを選択し、[**次へ**] (6) をクリックします。

PEAP モードでウィンドウが開きます。

続行するために必要なデータ:

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザ アカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。
パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。 Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。
企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

[次へ] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。 このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。 *「EDSUSBDongleConnection::mpParseDongleMessages」*という行を検索します。 エラー コードと問題の短い要約が記録されるはずです。

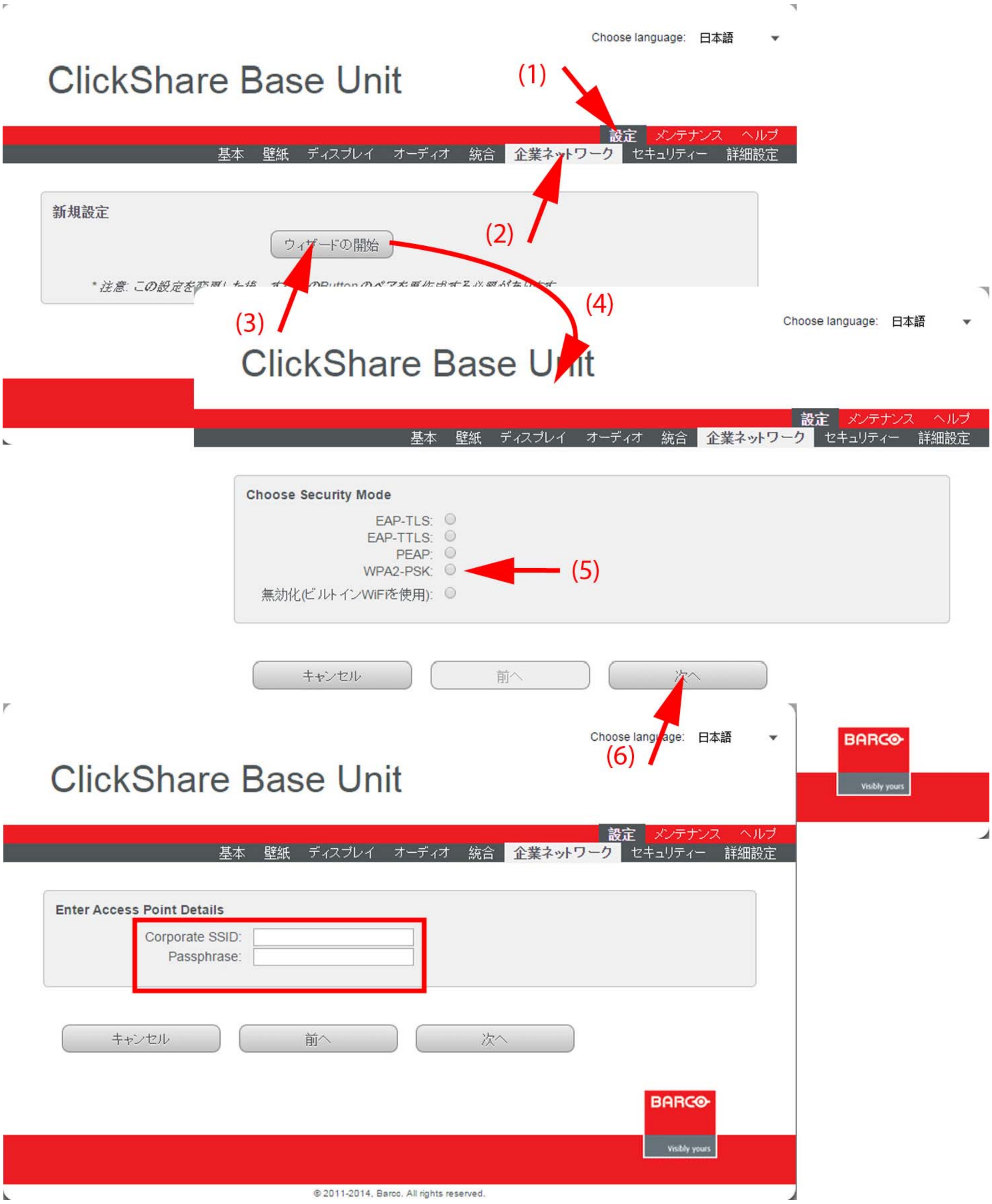
6.16 WPA2-PSK を使用する企業ネットワーク

WPA2-PSK について

WPA2-PSK はここのユーザを区別することなく、ワイヤレス インフラストラクチャに接続するすべてのクライアントに対して 1 つのキーワード (PSK - 事前共有キー) を使用します。 そのため、設定は非常に単純です。 接続後は、クライアントおよび AP (アクセス ポイント) 間で送信されるすべてのデータが 256 ビット キーを使って暗号化されます。

WPA2-PSK の使用方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**企業ネットワーク**] (2) をクリックします。



画像 6-26
企業ネットワーク、WPA2-PSK

3. [**ウィザードの開始**] (3) をクリックし、設定手順を開始します。

   [セキュリティ モードの選択] ウィンドウが開きます (4)。

4. [*WPA2-PSK*] (5) の横にあるラジオ ボタンを選択し、[**次へ**] (6) をクリックします。

WPA2-PSK モードのウィンドウが開きます。

続行するために必要なデータ:

企業 SSID	ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
パスフレーズ (事前共有キー)	WPA2-PSK で使用されるキーにより、ワイヤレス インフラストラクチャへの認証が行われます。 これは、64 桁の 16 進数か、8 ~ 63 字の印刷可能な ASCII 文字のいずれかです。

[次へ] をクリックして、続行します。

Button を企業ネットワークに接続する際に問題が発生した場合は、ClickShare Client ログを確認して Button からのフィードバックを確認します。 このログは、Client 実行可能ファイルを開始する際に [Shift] キーを押したままにすると有効化されます。 「*EDSUSBDongleConnection::mpParseDongleMessages*」という行を検索します。 エラー コードと問題の短い要約が記録されるはずです。

6.17 セキュリティ: HTTPS または HTTP アクセス プロトコル

HTTP または HTTPS について

ハイパーテキスト転送プロトコル セキュア (HTTPS) は、ClickShare Base Unit を使ったネットワーク上でセキュリティ保護された通信に使用される通信プロトコルです セキュリティは、SSL/TLS の基礎となるセキュリティ機能に基づいています。 長期的な公開キーおよび秘密キーを使用して、データ フローを暗号化する短期的なセッションキーをコンピュータと Base Unit 間でやり取りします。

選択方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**セキュリティ**] (2) をクリックします。

画像 6-27
HTTP または HTTPS

HTTPS ペイン内には、[*有効化*] の横にステータスが表示されます。

- 「No」と表示されている場合、HTTPS は使用されていません。
- 「Yes」と表示されている場合は、HTTPS が使用されています。

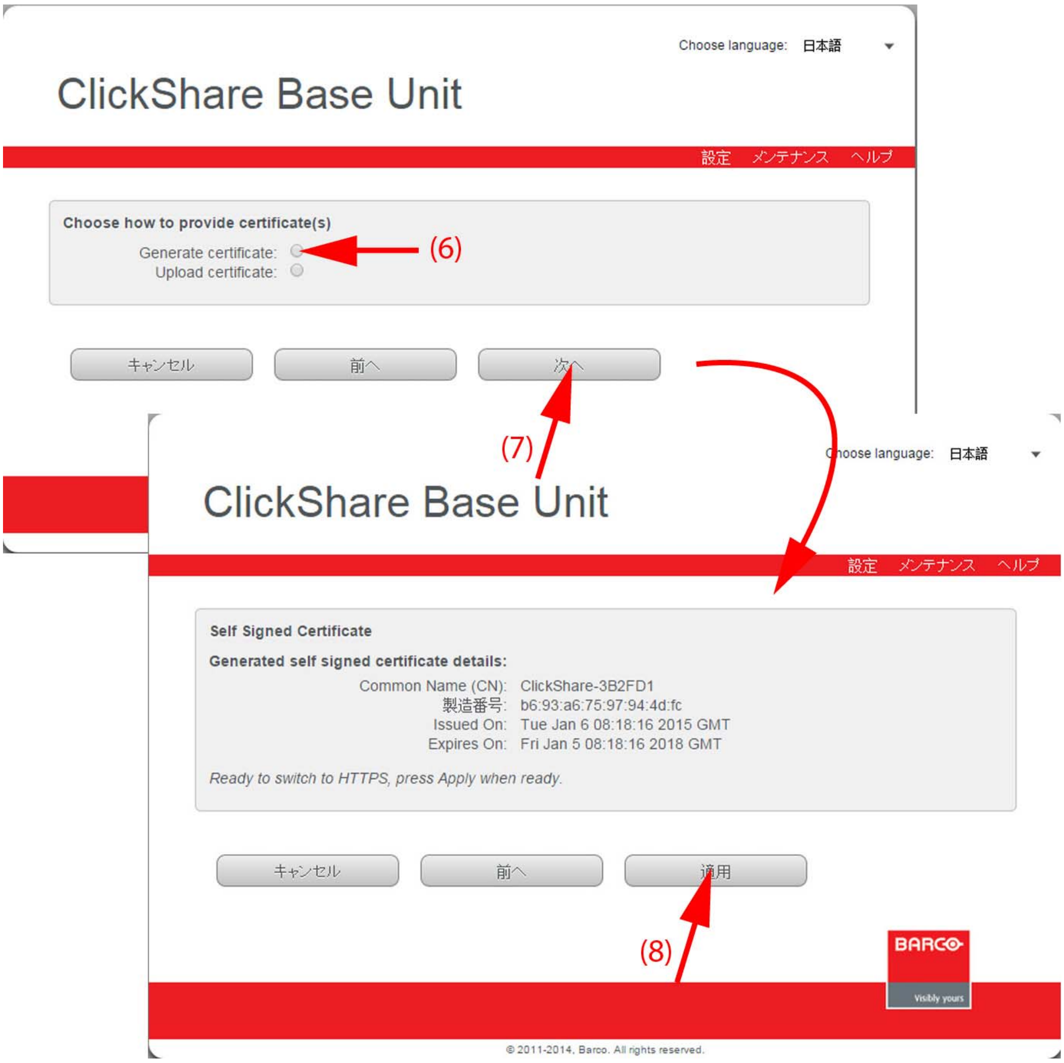
3. 現在のステータス (3) を変更するには、[**ウィザードの起動**] をクリックします。

   [*セキュリティの選択*] ウィンドウが開きます。

4. いずれかのラジオ ボタン (4) を選択し、[次へ] (5) をクリックします。

証明書の作成による HTTPS

[*証明書の作成*] の横にあるラジオ ボタン (6) を選択し、[次へ] をクリックして続行します (7)。



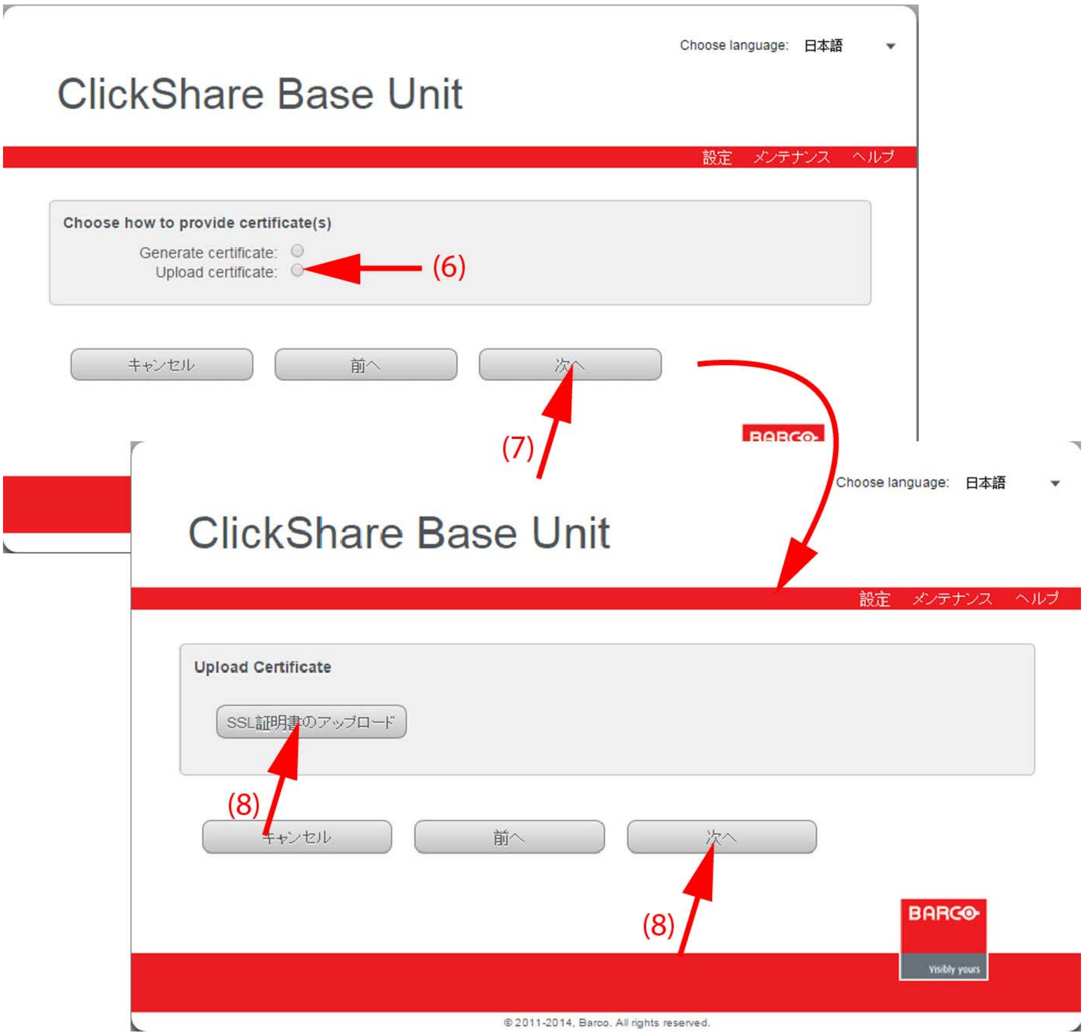
画像 6-28
HTTPS、証明書の作成

自己署名証明書が作成されます。 この証明書は 3 年間有効です。

HTTPS 通信に切り替えるには、[**適用**] をクリックします。

証明書のアップロードによる HTTPS

[*証明書のアップロード*] の横にあるラジオ ボタン (6) を選択し、[次へ] をクリックして続行します (7)。



画像 6-29
HTTPS、SSL 証明書のアップロード

[SSL 証明書のアップロード] (8) をクリックし、ブラウザで証明書を選択します。 **[開く]** をクリックし、**[次へ]** をクリックします。 通信が HTTPS に切り替わります。

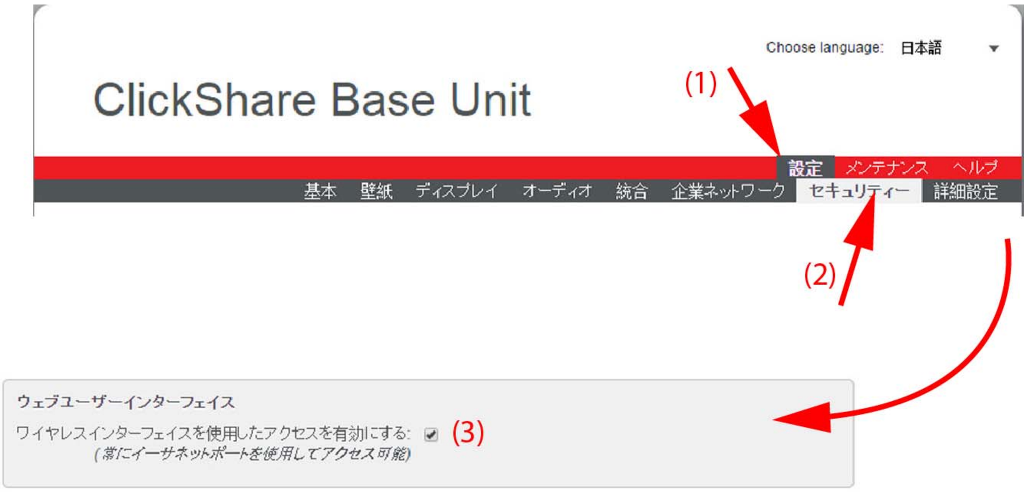
6.18 セキュリティ: Web ユーザ インターフェイス

アクセスについて

Web インターフェイスは、Ethernet ポートを使用していつでもアクセスできます。 ワイヤレスインターフェイスを使用したアクセスは、有効化または無効化できます。

有効化または無効化する方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. **[セットアップ]** タブ (1) をクリックし、**[セキュリティ]** (2) をクリックします。
3. ワイヤレスインターフェイスを使用したアクセスを有効化するには、[*ワイヤレスインターフェイスを使用したアクセスを有効にする*] チェックボックス (3) をオンにします。



画像 6-30
Web インターフェイスへのアクセス

6.19 セキュリティ: SSH へのアクセス

SSH は Barco の修理点検目的でのみ使用します。

SSH へのアクセスについて

SSH (セキュリティ保護されたシェル) は、セキュリティ保護されていないネットワーク上のセキュリティ保護されたチャネルで接続されているネットワークデバイス間で行われる、セキュリティ保護されたデータ通信、コマンドラインによるリモートログイン、リモートコマンド実行のためのネットワークプロトコルです。

セキュリティ保護されたシェルへのアクセスは、ワイヤレスインターフェイスおよび/または Ethernet ポートに対して有効化/無効化できます。

有効化または無効化する方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**セキュリティ**] (2) をクリックします。
3. ワイヤレスインターフェイスを使用したアクセスを有効化するには、[*ワイヤレスインターフェイスを使用した SSH を有効にする*] チェックボックス (3) をオンにします。
   Ethernet ポートを使用したアクセスを有効化するには、[*イーサネットポートを使用した SSH を有効にする*] チェックボックス (3) をオンにします。

画像 6-31
SSHへのアクセス

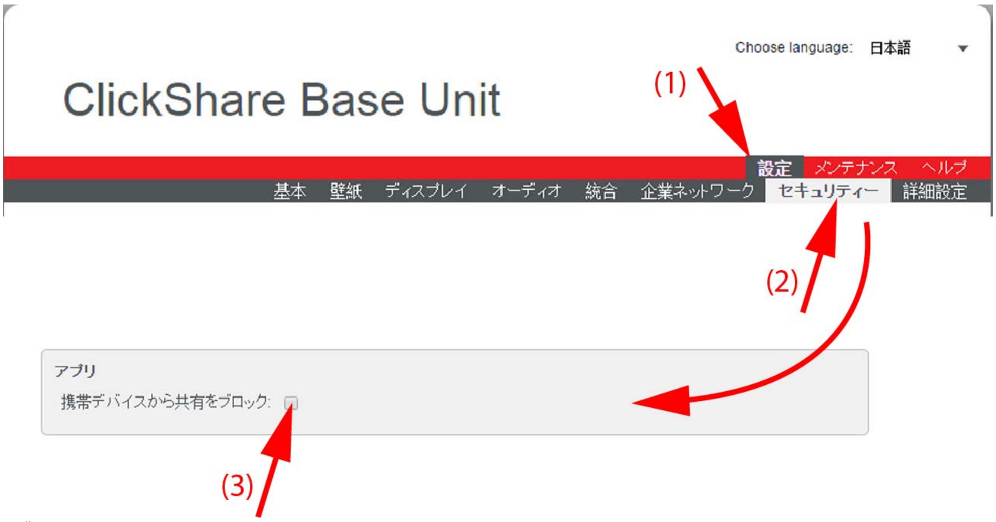
6.20 セキュリティ: アプリに対する共有のブロック

可能な操作

モバイル装置とのコンテンツ共有をブロックできます。

ブロック方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**セキュリティ**] (2) をクリックします。



画像 6-32
コンテンツ共有のブロック

3. コンテンツ共有をブロックするには、[*モバイル装置からの共有をブロックする*] (3) の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. コンテンツの共有を許可するには、[*モバイル装置からの共有をブロックする*] (3) の横にあるチェックボックスをオフにします。

6.21 詳細設定: ホスト名

ホスト名

ホスト名は、ネットワークに接続されたデバイスのアドレスに対応した、人間が判読できるニックネームです。

変更方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。

画像 6-33
ホスト名

3. [*ホスト名*] 入力フィールド (3) をクリックします。
4. 現在の名前を選択し、新しい名前を入力します。
   注記: デフォルトのホスト名は「ClickShare-<製造番号>」です。

6.22 詳細設定: LAN ネットワーク設定

LAN ネットワーク設定について

ネットワーク接続は、DHCP を介して、または固定 IP アドレスを手作業で入力することによって設定できます。

DHCP

動的ホスト構成プロトコル (Dynamic host configuration protocol)。 DHCP とは、ネットワーク管理者が組織のネットワークの IP アドレスの管理と割り当てを集中的に行える通信プロトコルです。 インターネット プロトコルを使用する場合、インターネットに接続可能な各コンピュータに一意の IP アドレスが必要となります。 組織でインターネットに接続可能なコンピュータを設定する際には、各コンピュータに IP アドレスを設定する必要があります。 DHCP を使用しない場合、IP アドレスを各コンピュータに手作業で入力しなければならず、またコンピュータをネットワークの異なる部分の別の場所に移す際には再度 IP アドレスを入力しなければなりません。 DHCP を使用すると、ネットワーク管理者は集中的に IP アドレスの監視と割り当てを行えます。また、コンピュータがネットワークの別の場所に接続されると、新しい IP アドレスが自動的に送信されます。

LAN ネットワークの DHCP セットアップ

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。

画像 6-34
DHCP セットアップ

[**詳細**] タブが表示されます。

3. [*DHCP 割り当て済み*] ラジオボタン (3) をオンにします。
4. [**適用**] をクリックして変更内容を確認します。

固定 IP アドレスセットアップ

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。

画像 6-35
固定 IP アドレス

[**詳細**] タブが表示されます。

3. [*固定アドレス*] ラジオボタン (3) をオンにします。

   IP アドレス、サブネット、ゲートウエイ入力が開きます。

4. [*IP アドレス*] 入力フィールドをクリックし、4 つのフィールドに値を入力します。
   注記: *1 つのアドレスは、255 以下の値の 4 つの数値で構成されます。*

   固定 IP アドレスを割り当てる場合は、0.0.0.0 以外を指定する必要があります。

5. [*サブネットマスク*] 入力フィールドをクリックし、ローカルサブネットとして 4 つのフィールドに値を入力します。

6. [*デフォルトゲートウエイ*] 入力フィールドをクリックし、4 つのフィールドに値を入力します。 このデフォルトゲートウエイは、ルーターの IP アドレスに設定します (ローカル サブネット上にある必要があります)。
   注記: *0.0.0.0 以外である必要があります。*

   ローカル サブネット上にルーターが存在しない場合は、このフィールドをサブネット上の任意の IP アドレスに設定します。

7. [**適用**] をクリックして変更内容を確認します。

サブネットマスク 255.255.255.0 には IP アドレス 192.168.2.x、サブネットマスク 255.255.0.0 には IP アドレス 192.168.x.x を使用しないでください。

6.23 詳細設定: WiFi 設定

警告: Base Unit を対象地域外で操作することは許可されていません。

WiFi について

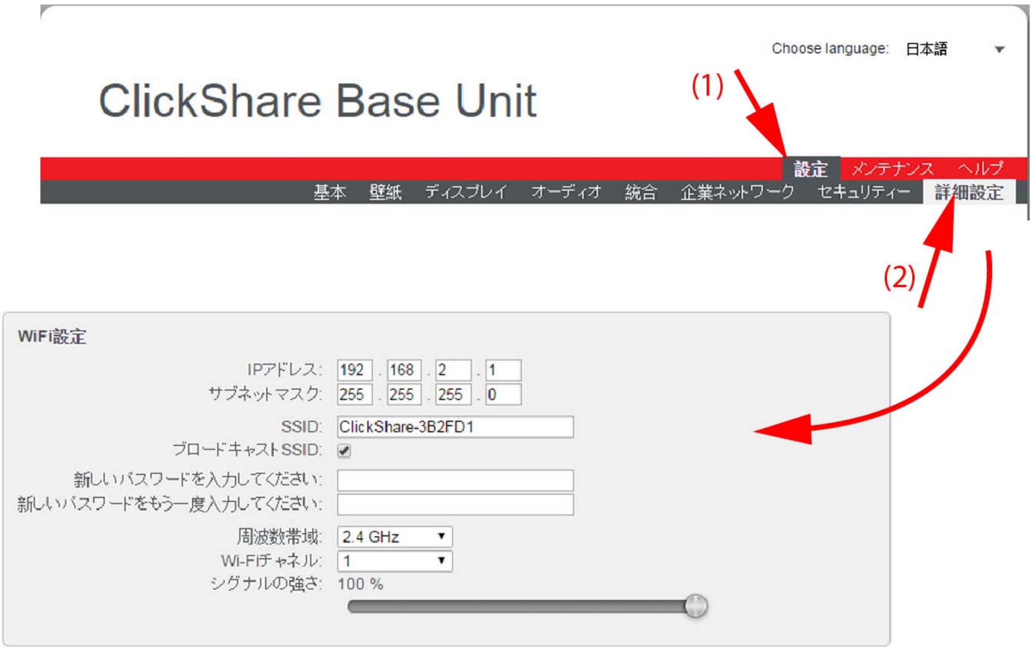
Base Unit にはワイヤレス接続を使用して接続できます。 接続は、固定ワイヤレス IP アドレスを使って確立します。

ブロードキャストされたワイヤレスは信号の強さが弱くなっている場合があります。

設定方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。

2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。



画像 6-36
WiFi 設定

3. ワイヤレスネットワークのパブリック名 (SSID) を入力します。

   デフォルトの SSID は「*ClickShare-<製造ベース番号>*」です。

4. この SSID をブロードキャストするには、[*ブロードキャスト SSID*] チェックボックスをオンにします。

5. 新しいパスワードを入力し、そのパスワードを確認します。

6. ワイヤレス接続の周波数帯域 (「2.4 GHz」または「5 GHz」のいずれか) を選択するには、ドロップダウンボックスをクリックして適切な設定を選択します。
   注記: Base Unit で 5 GHz を選択する前に、お使いの PC のワイヤレスインターフェイスがその周波数帯域をサポートしていることを確認してください。

7. ワイヤレス接続チャネルを選択するには、ドロップダウンボックスをクリックして目的のチャネルを選択します。

   一覧で選択できるチャネルは、Base Unit の地域版によって異なります。 周波数帯域やワイヤレス接続チャネルの変更する場合、Button を再度ペアリングする必要はありません。

8. 信号の強さを選択します。 スライダをクリックし、ブロードキャスト能力 (信号の強さ) を目的の強さになるまで低下させます。
   注記: ブロードキャスト能力が低すぎると、他の信号による干渉により、接続問題の原因となる場合があります。 その場合は、問題が解決するまで、信号の強さを再度増大します。

   デフォルトで、信号の強さは 100% に設定されています。

9. [**適用**] をクリックして変更内容を確認します。
   注記: WiFi 設定への変更を適用した後は、デバイスを再起動する必要があります。

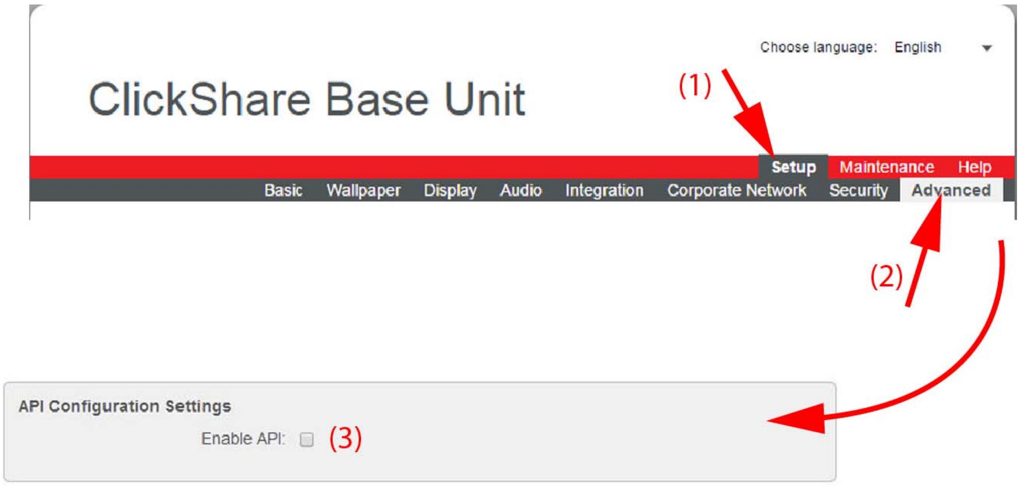
6.24 詳細設定: API 構成設定

API 設定について

API は有効化または無効化できます。つまり、外部デバイスからユニットにアクセスしたり、そのアクセスをブロックしたりすることが可能です。

有効化または無効化する方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。
3. API を使用したアクセスを有効化するには、[*API の有効化*] チェックボックス (3) をオンにします。



画像 6-37
API の有効化

6.25 詳細設定: NTP 設定

NTP について

NTP (ネットワーク タイム プロトコル) を使用すると、ネットワーク上の時計を同期できます。 NTP を使用すると、Base Unit の内部時計をネットワーク上の NTP サーバと同期できます。 この同期は、HTTPS と企業ネットワークの統合を使用する際に必要です。

設定方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**セットアップ**] タブ (1) をクリックし、[**詳細**] (2) をクリックします。

画像 6-38

3. NTP を有効化するには、[*有効化*] チェックボックス (3) をオンにします。
4. ネットワーク上の NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
5. バックアップとして、ネットワーク上の第 2 の NTP サーバのアドレスを入力できます。
6. [**適用**] をクリックして、同期を開始します。

   同期すると、ステータスに「*同期済み*」と表示されます。

6.26 メンテナンス、ステータスの確認 ClickShare

ステータスの確認について

[メンテナンス] 内の [ステータス] タブには、以下の項目の概要が表示されます。

- LAN インターフェイス設定
- WiFi 設定
- システム識別子
- 適用されたアップデート
- サブシステムのステータス
- システム管理

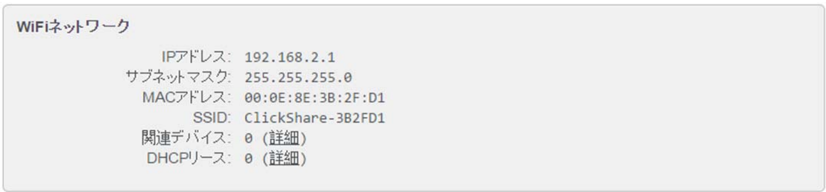
システムのステータスを確認するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. **[メンテナンス]** タブをクリックし、**[ステータス]** をクリックします。
   [ステータス] タブページが表示されます。

画像 6-39
ステータスの概要

WiFi ネットワークの詳細情報

関連デバイスの MAC アドレスを確認するには、該当する [詳細] ボタンをクリックすると概要が表示されます。

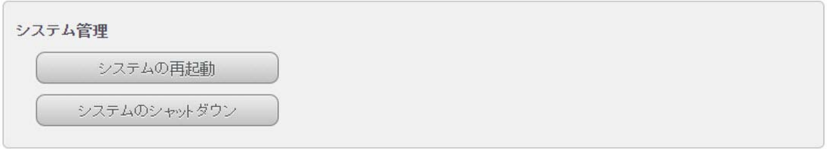


画像 6-40
関連デバイスの詳細

システム管理

再起動するには、[**システムの再起動**] ボタンを使用します。

シャットダウンするには、[**システムのシャットダウン**] ボタンを使用します。



画像 6-41
システム管理

6.27 メンテナンス、Button 情報

Button について

[**Button**] タブには、Base Unit とペアリングされた Button に関する情報が表示されます。

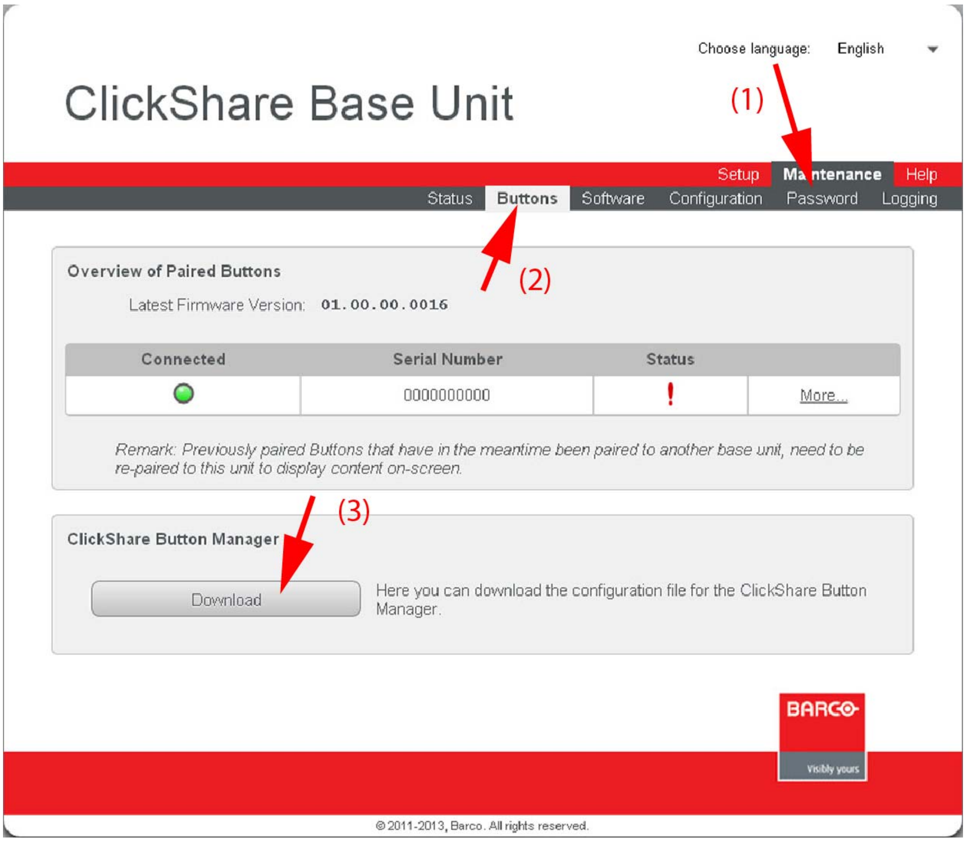
表示される情報は以下のとおりです:

- 接続されているかどうか
- 製造番号
- 最終接続日時
- ステータス

情報の取得方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**Button**] (2) をクリックします。

   [**Button**] タブのコンテンツが表示されます。



画像 6-42
ペアリングされた Button、概要

過去にこの Base Unit とペアリングされた Button の一覧が表示されます。 この一覧には、同時に別の Base Unit にペアリングされた Button も表示されます。 一覧から Button を削除するには、タブページの右側にある **[詳細]** をクリックして **[一覧から削除]** を選択します。

ペアリングされた Button の一覧には、この Base Unit とペアリングされたそれぞれの Button について、以下の情報が表示されます:
一覧には以下の項目が表示されます:

- 接続済み: 現時点で Button が接続されているかどうかを示します。
- 製造番号: Button 固有の製造番号。
- ステータス: Button のファームウェアおよびソフトウェアのステータス

ステータス表示	アイコン	説明
OK	✓	Button ファームウェアおよびソフトウェアは最新です。 Button は Base Unit とペアリングされました。
エラー	!	Button を使用する前に Base Unit と再度ペアリングする必要があります。 Button のファームウェアバージョンは、Base Unit のファームウェアバージョンと互換性がありません。

3. Button のファームウエア、接続数、および MAC アドレスに関する詳細は、**[詳細...]** をクリックしてください。

画像 6-43

一覧から Button を削除するには、**[一覧から削除]** をクリックします。

4. Button マネージャーが Button をペアリングする際に使用する構成ファイルをダウンロードするには、**[ダウンロード]** (3) をクリックします

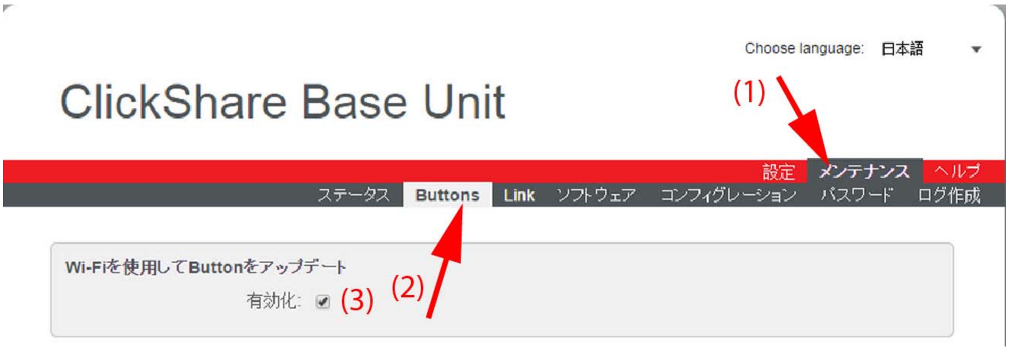
6.28 メンテナンス、WiFi を使用した Button のアップデート

WiFi を使用した Button のアップデートについて

Base Unit ソフトウエアがバージョン 01.03 以上の場合、Button ソフトウエアは WiFi を使用して自動的にアップデートされるため、手作業によって再度ペアリングする必要はありません。 Button のソフトウエアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。 必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。 Base Unit ソフトウエアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button ソフトウエアをアップデートする必要があります。

有効化または無効化する方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**Button**] (2) をクリックします。



画像 6-44

3. WiFi を使用したアップデートを有効化するには、[*WiFi を使用した Button のアップデート*] ペインにある [*有効化*] チェックボックス (3) をオンにします。

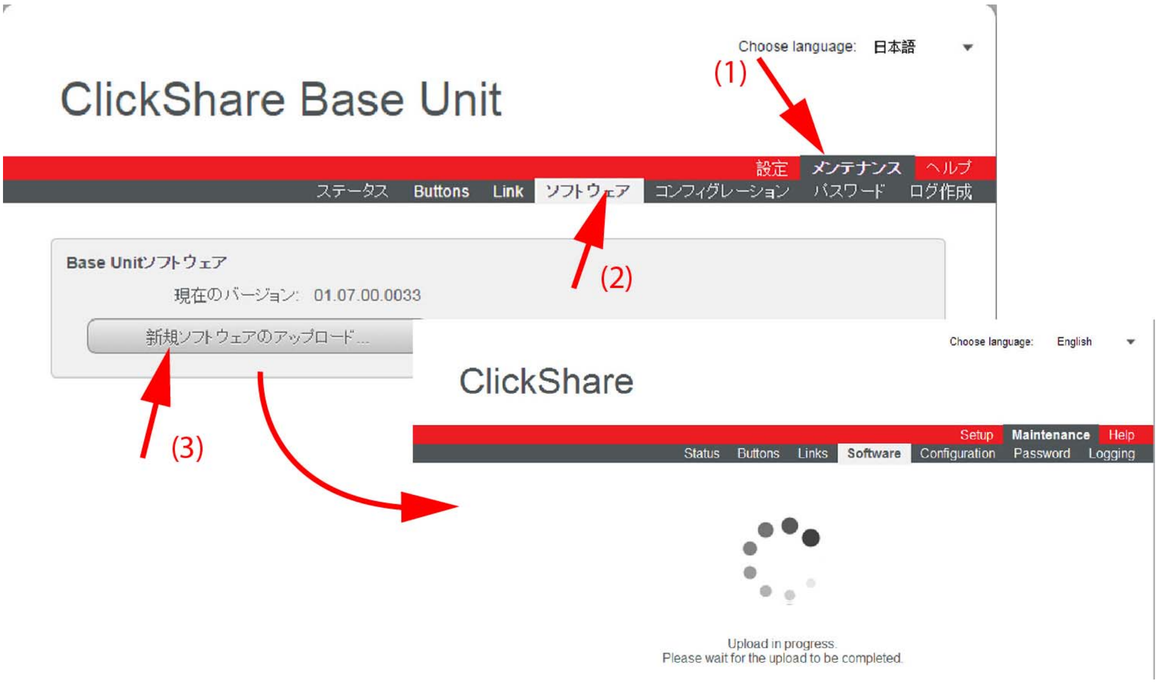
6.29 Base Unit のソフトウエアアップデート

ソフトウエアアップデートについて

Base Unit ソフトウエアは、Web インターフェイスを使ってアップデートできます。ソフトウエアの最新バージョンは Barco の Web サイトで入手できます。

アップデート方法

1. ソフトウエアの最新バージョンを Barco の Web サイトからダウンロードします。
2. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
3. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**ソフトウエア**] (2) をクリックします。



画像 6-45
ソフトウェアアップデート

[**ソフトウェア**] タブのコンテンツが表示されます。

Base Unit のソフトウェアの最新バージョンが [Base Unit ソフトウェア] ペインに表示されます。

4. Base Unit ソフトウェアの新しいバージョンをアップロードするには、[**新規ソフトウェアのアップロード...**] (3) をクリックします。

   参照のためのウィンドウが開きます。

5. 新しいソフトウェアが格納されたファイルを参照し、[**開く**] をクリックするとアップロードが開始されます。

   注記: *このファイルは nad ファイルです。Barco の Web サイトからダウンロードしたファイルを解凍しなければならない場合もあります。*

   注記: *Base Unit ソフトウェアをアップデートするには、数分かかります。処理状況は会議室のディスプレイに表示されます。*

   Base Unit ソフトウェアがアップデートされます。

Base Unit ソフトウェアをバージョン 01.03 以上にアップデートすると、Button ソフトウェアは WiFi を使用して自動的にアップデートされるため、手作業によって再度ペアリングする必要はありません。Button のソフトウェアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。Base Unit ソフトウェアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button ソフトウェアをアップデートする必要があります。

6.30 Base Unit (Launcher サービス) からのダウンロード

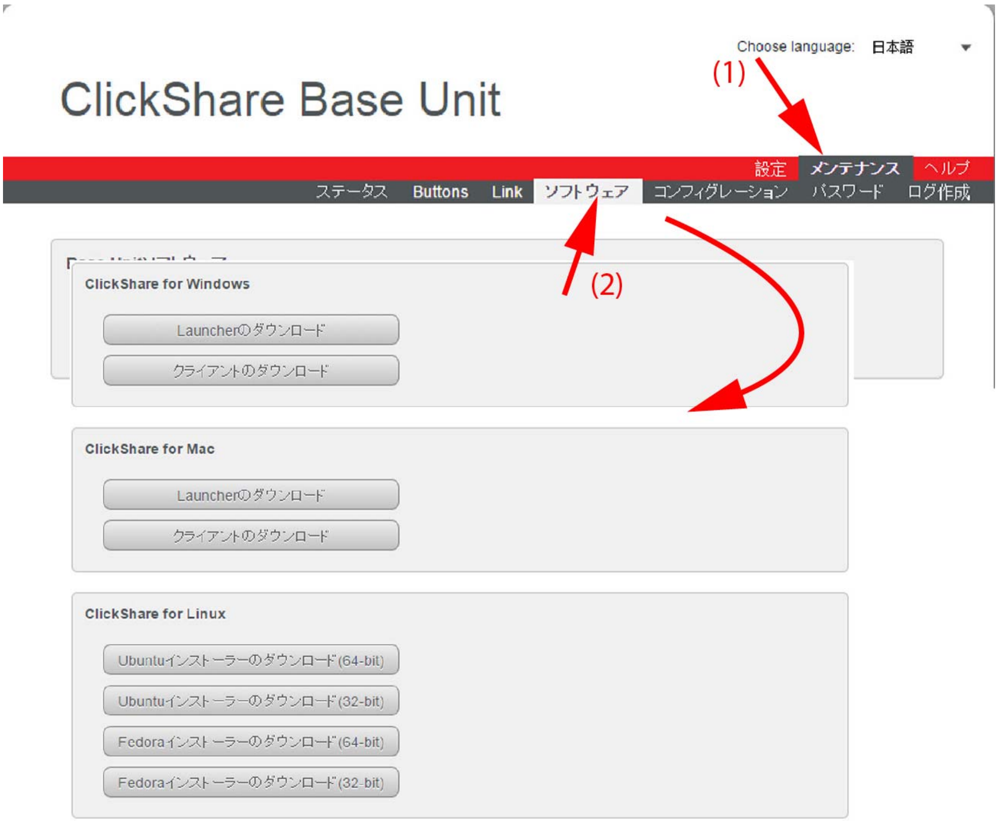
ダウンロードについて

PC または MAC 用 Launcher サービスおよび ClickShare クライアントソフトウェアは、Base Unit に保存されていて、ユーザーの PC にダウンロードしてインストールできます。

詳しくは、24 ページ、 Launcher サービスの事前インストール をご参照ください。 を参照してください。

ダウンロード方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**ソフトウェア**] (2) をクリックします。



画像 6-46
ソフトウェアのダウンロード

[**ソフトウェア**] タブのコンテンツが表示されます。

3. Launcher サービスをダウンロードするには、Windows の場合 [**Windows Launcher のダウンロード**]、Mac の場合 [**Mac Launcher のダウンロード**] をクリックします。
4. ClickShare クライアントをダウンロードするには、Windows の場合 [**Windows クライアントのダウンロード**]、Mac の場合 [**Mac クライアントのダウンロード**] をクリックします。
5. Ubuntu 32 ビットまたは 64 ビットあるいは Fedora 32 ビットまたは 64 ビット用 Linux インストーラをダウンロードするには。

6.31 システム設定の管理

システム設定の管理について

完全バックアップはダウンロードできますが、構成設定を別の Base Unit に複製するために使用することはできません。そのため、Portable Version をダウンロードすることが可能です。この Portable Version は、別の Base Unit にある [設定のアップロード] ボタンを使用してアップロードできます。 同じボタンを使用して、元の Base Unit で完全バックアップをアップロードできます。

Portable バックアップには以下が含まれています:

- 壁紙
- 壁紙の設定
- ログの設定
- すべてのディスプレイ設定
- OSD 言語
- 場所
- ようこそメッセージ
- WiFi チャネル
- WiFi 周波数

システム設定を管理するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**構成**] (2) をクリックします。

画像 6-47
システム設定の管理

[**構成**] タブのコンテンツが表示されます。

3. 完全バックアップをダウンロードするには、[**完全バックアップのダウンロード**] (3) をクリックします。

   すべての情報および履歴を含む xml ファイルがダウンロードされます。このファイルは、同じ Base Unit でのみ再使用可能です。

4. Portable Version をダウンロードするには、[**Portable Version のダウンロード**] (4) をクリックします。

   別の Base Unit で設定を複製するためのポータブル情報を含む xml ファイルがダウンロードされます。

5. 設定をアップロードするには、[**設定のアップロード**] (5) をクリックします。

   参照のためのウィンドウが開きます。アップロードするファイル (xml ファイル) に移動し、[**開く**] をクリックするとアップロードされます。

設定ファイルをアップロードすると、ソフトウェアアップデータの履歴およびペアリングされたドングルは失われます。ただし、Base Unit の SSID またはワイヤレスパスワードが変更されていない場合、ペアリングされたドングルはそのまま機能します。

6.32 デフォルト設定のロード

デフォルト設定について

ClickShare Base Unit は工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

以下の設定がデフォルトです:

- 会議室の識別情報はクリアされています。
- 言語は英語に設定されています。
- カスタム壁紙は削除され、デフォルトの壁紙が復元されます。
- スタンバイタイマーは無限にリセットされます。
- ホスト名および SSID は「*clickshare-製造番号*」に設定されます。
- SSID はブロードキャストされます。
- WiFi パスワードは「*clickshare*」にリセットされます。
- デフォルトの WiFi チャネルは周波数 2.4 GHz、チャネル 6 の設定に戻ります。
- アップデート履歴はクリアされます。
- 関連 Button の表はクリアされます。
- 管理者パスワードは「*admin*」にリセットされます。
- デバッグのログ作成およびリモートログ作成は無効になります。

工場出荷時のデフォルト設定を復元するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. **[メンテナンス]** タブ (1) をクリックし、**[構成]** (2) をクリックします。

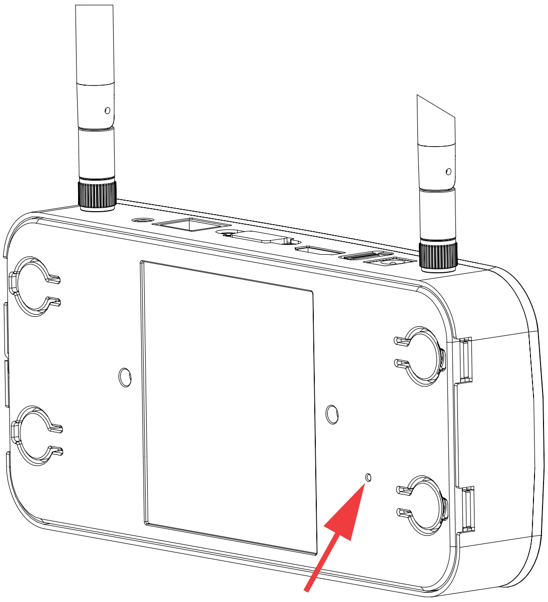
画像 6-48
工場出荷時のデフォルト

3. 工場出荷時のデフォルト設定 (3) に戻すには、**[デフォルト設定のロード]** をクリックします。

   確認のメッセージがポップアップ ウィンドウに表示されます。
4. 再起動することを確認すると、ユニットが再起動します。

リセットボタンを使用してデフォルトに復元

1. Base Unit を起動します。
2. Barco のロゴが表示されたら、リセットボタン (Base Unit の底面) を押します。Barco のロゴが消えるまでこのボタンを押すと、LED が赤色/白色で 10 秒以上点滅します。



画像 6-49
リセットボタン

3. ボタンを放します。

   Base Unit がデフォルトの構成で再起動します。

6.33 管理者パスワード

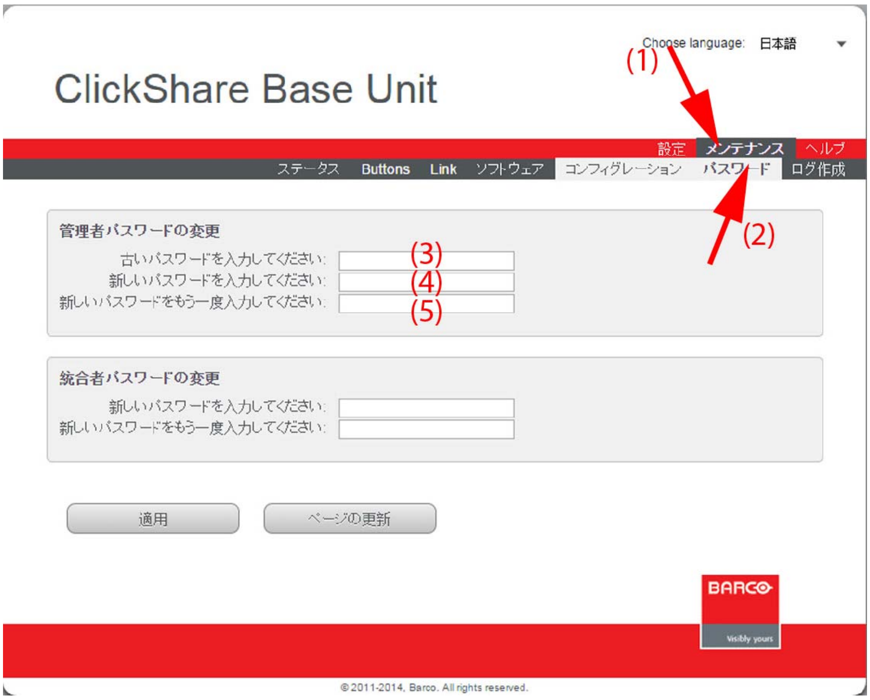
管理者パスワードについて

Web インターフェイスにログインする際に使用する管理者パスワードはいつでも変更できます。

管理者パスワードを変更するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**パスワード**] (2) をクリックします。

   [**パスワード**] タブのコンテンツが表示されます。



画像 6-50
パスワード

3. 古いパスワードを入力します (3)。
4. 新しいパスワードを入力します (4)。
5. 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します (5)。
6. [**適用**] をクリックします。

   管理者パスワードが変更されます。

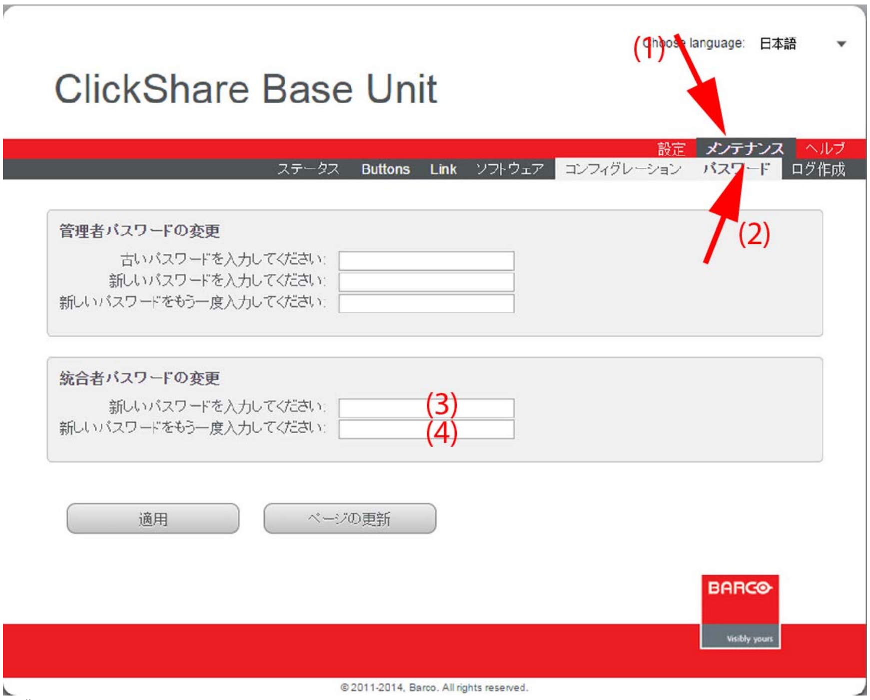
6.34 統合者パスワード

統合者パスワードについて

統合者が API コマンドを使用して ClickShare Base Unit にアクセスする場合には、一般的なパスワードを要求できます。このパスワードは、ClickShare Base Unit の管理者がいつでも変更できます。

統合者パスワードを変更するには

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**パスワード**] (2) をクリックします。



画像 6-51
統合者パスワード

3. 新しいパスワードを入力します (3)。
4. 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します (4)。
5. [**適用**] をクリックします。

   統合者パスワードが変更されます。

6.35 ログ設定

ログ作成について

Button および Base Unit のログデータは、Base Unit のログファイルに保存されています。これらのログファイルには、デバッグ情報が含まれていることがあります。また、ローカルコンピューターにダウンロードして、Base Unit でクリアすることができます。デバッグのログが網羅するのは、上書きされるまでの数時間です。そのため、作成されたログは、すぐにダウンロードしてシステムの問題を発見することが重要です。

使用方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**メンテナンス**] タブ (1) をクリックし、[**ログ作成**] (2) をクリックします。

   [**ログ作成**] タブのコンテンツが表示されます。

画像 6-52
ログ作成

3. デバッグのログを作成するには、[*デバッグのログ作成*] チェックボックス (3) をオンにします。

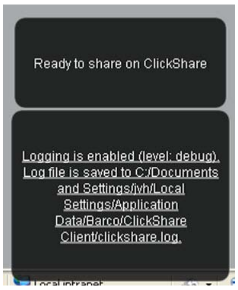
4. 報告する問題を再現します。

5. 現在のログファイルをダウンロードするには、[**ログのダウンロード**] (4) をクリックします。

6. 現在のログファイルをクリアするには、[**ログの消去**] (5) をクリックします。

7. • ClickShare クライアント (6) によるログ作成を有効化するには:
   - Launcher サービスが実行されている場合は、ドングルを PC に接続している間、ログ作成が開始されるまで Shift キーを押したままにします。
   - Launcher サービスが実行されていない場合:Shift キーを押しながら ClickShare アプリケーションをダブルクリックします。

   システムトレイに以下のメッセージが表示されます:



画像 6-53
クライアントログ作成

8. [**適用**] をクリックします。

6.36 ClickShare ヘルプ、Barco へのお問い合わせ

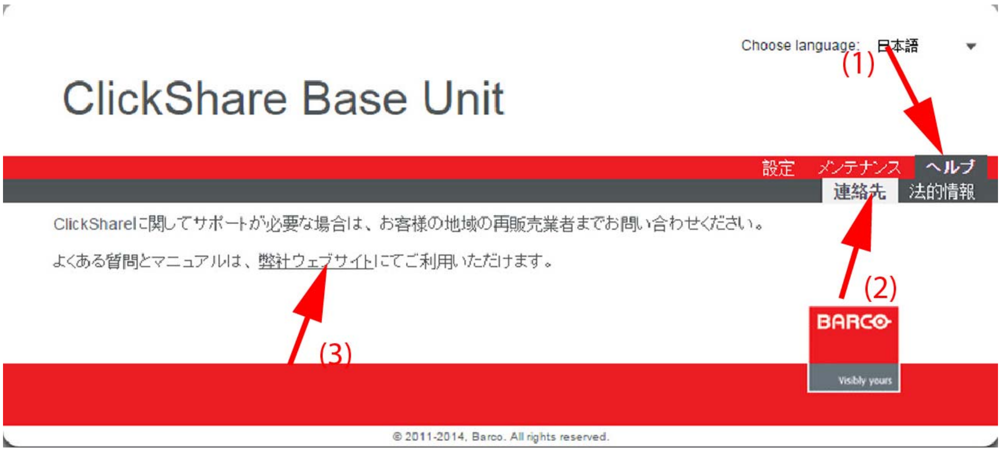
ClickShare のヘルプについて

あらゆる種類のマニュアル、ファームウエア、ソフトウェアアップデートは、Barco の Web サイトに用意されています。技術的な支援については、販売店にご連絡ください。

閲覧方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。

2. [**ヘルプ**] タブ (1) をクリックし、[**連絡先**] (2) をクリックします。



画像 6-54

[**連絡先**] タブのコンテンツが表示されます。

[**連絡先**] ページには、Barco の Web サイトにある ClickShare ホームページ (3) へのリンクが記載されています。

3. 「**ClickShare 製品ページ**」リンクをクリックします。
4. [**ダウンロード**] をクリックします。

   あらゆる種類のマニュアル、カタログ、ソフトウェアアップデートは、そのページに用意されています。

6.37 Barco ClickShare EULA

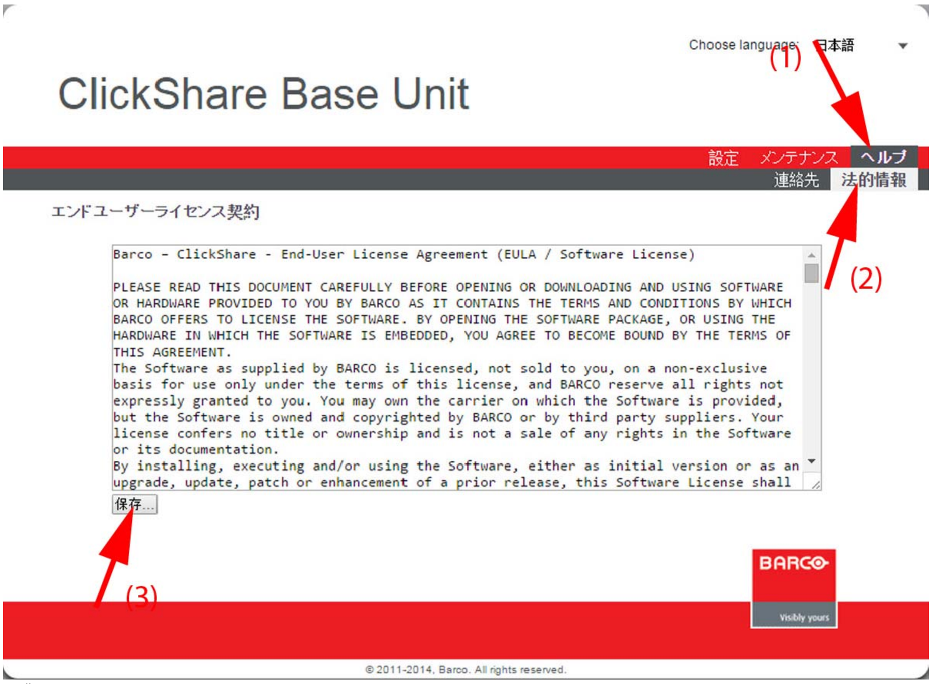
Barco ClickShare EULA について

「Barco ClickShare エンドユーザーライセンス契約 (EULA)」は、[**法的情報**] タブページで閲覧できます。

閲覧方法

1. ClickShare の Web インターフェイスにログインします。
2. [**ヘルプ**] タブ (1) をクリックし、[**法的情報**] (2) をクリックします。

   「エンドユーザーライセンス契約」が表示されます。



画像 6-55
EULA

3. お使いのラップトップに契約のコピーを保存するには、[**保存...**] をクリックします。
4. [**ファイルのダウンロード**] ウィンドウの [**保存**] をクリックします。

[新規保存] ウィンドウが開きます。

5. EULA ファイルを保存する場所に移動し、**[保存]** をクリックします。

   「Barco ClickShare EULA」のコピーがお使いのラップトップに保存されます。

7. ソフトウェアアップデート

7.1 ソフトウェア アップデート

ソフトウェア アップデートについて

Base Unit ソフトウェアをアップデートするには、以下の 2 つの方法があります。

- Web インターフェイスを使用する (詳しくは、29 ページ を参照)。
- ソフトウェアを USB スティックにコピーする

Base Unit ソフトウェアを USB スティックにコピーしてアップデートするには

1. ソフトウェアの最新バージョンを Barco の Web サイト「www.barco.com/clickshare」からダウンロードします。**[ClickShare 製品ページ]** をクリックし、**[ダウンロード]** タブに移動します。
2. NAD ファイルを USB スティックにコピーします。
3. ファイル名を「`clickshare_firmware.nad`」に変更します。

   ソフトウェアはデバイスにある特定のファイル名を要求するため、ファイル名を変更する必要があります。
4. USB スティックを Base Unit の前面にある USB ポートに挿入します。
5. 会議室のスクリーンに表示される指示に従ってください。
6. プロセスが終了したというメッセージがスクリーンに表示されたら、USB スティックを取り外します。

   Base Unit がシャットダウンします。

Base Unit ソフトウェアをバージョン 01.03 以上にアップデートすると、Button ソフトウェアは WiFi を使用して自動的にアップデートされるため、手作業によって再度ペアリングする必要はありません。Button のソフトウェアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。Base Unit ソフトウェアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button ソフトウェアをアップデートする必要があります。

8. CLICKSHARE トラブルシューティング

8.1 トラブルシューティング一覧

問題解決

発生している問題を下表で検索し、解決策を実行してください。

問題	原因	解決策
会議室のディスプレイに表示される画像の質がよくない	Base Unit およびディスプレイ間のケーブルの品質または長さ、あるいはその接続	• ケーブルを交換してください。 • 別のケーブルを使用してください。
	ディスプレイの解像度が適切でない システムは平均的なラップトップの解像度 (3 メガピクセル) を処理できます。 ただし、会議室のディスプレイで拡大または縮小が行われると、アーチファクトが発生する原因となる場合があります。	Web インターフェイスで解像度を変更し、会議室のディスプレイのネイティブ解像度と一致させてください。
ワイヤレス接続状態がよくない。 Button から Base Unit への接続が頻繁に切断される。	ワイヤレスの輻輳状態	• WiFi スキャナーを使って空きワイヤレスチャネルを探し、Web インターフェイスでそれを選択してください。 この作業には、市販されているツールおよび inSSIDer や Xirrus などの無料オンラインツールを使用できます。 「ClickShare 詳細設定の変更」を参照してください。
	信号の届く距離が短い	• Base Unit を会議室テーブルの近くに置いてください。 • Base Unit の背面にあるアンテナの向きを変えてください。 • Button および Base Unit 間にある障害物をできるだけ取り除くか、制限してください。
Web インターフェイスにアクセスできない	ブラウザー	• 別のブラウザー (バージョン) を使用してください。 • ブラウザーの設定を確認してください。
	接続できない	• Web インターフェイスにアクセスするには 3 つの方法があります。 説明書の該当する章を参照してください。 • プロキシー設定を確認してください。
Button をラップトップに挿入しても ClickShare ドライブが認識されない。	• ドライブが自動更新されていない • Windows がすでに予約済みのドライブ文字に ClickShare ドライブを割り当てようとする	• ラップトップの表示を更新してください。 • Microsoft Windows の「ディスクの管理」を使用して、空きドライブに割り当ててください。
	ラップトップの USB ポートの接続がよくない	• USB ポートに再度接続してください。 • 別の USB ポートを使ってみてください。 • ラップトップを再起動してください。

問題	原因	解決策
	• 一部の USB デバイスが、会社のポリシーによりブロックされている。 • ラップトップの USB ポートの設定により、バッテリー使用時に使える USB デバイスがハイパワー USB デバイスに限定されている。	可能な場合は、ラップトップの USB ポートポリシーを変更してください。
ビデオパフォーマンスがよくない	ラップトップのパフォーマンス	• ラップトップのスクリーン解像度を下げてください。 • ビデオのハードウェアアクセラレーターを無効にしてください。 • ビデオを表示する際、ディスプレイの一部のみを使用してください。 • システムトレイの ClickShare アイコンを右クリックし、[キャプチャモード] をクリックして現在の設定を切り替えます。
	ワイヤレスの接続状態	「ワイヤレス接続状態がよくない」を参照してください。
ビデオがスクリーンに表示されない	プレイヤーがオーバーレイを使用している	ビデオプレイヤーの基本設定でオーバーレイの使用を無効にしてください。
	コンテンツで HDCP が使用されている	ClickShare は HDCP コンテンツの表示をサポートしていません (黒く表示されます)
Windows の一部プログラムがディスプレイに表示されない	GPU におけるオーバーレイ、3D、またはハードウェアアクセラレーションの使用	• GPU でオーバーレイまたはハードウェアアクセラレーションを無効にしてください。 • Windows 7 では Aero グラスを無効にしてください。 • Base Unit ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
Windows 7 を使用していると、Windows Aero の配色に関する以下のメッセージが表示される: 「コンピュータのパフォーマンスが低下していることが検出されました。 Windows Aero の画面の配色を実行する十分なリソースがないことが原因である可能性があります。 パフォーマンスを上げるには...」	ClickShare は GPU からのリソースを使用します。 Windows 7 では、他にも GPU からのリソースを使用する他のプログラムが実行されている場合、このメッセージが表示され、ラップトップのパフォーマンスを向上するために Aero を無効にするよう提案することがあります。	このメッセージを無視して [現在の画面の配色を使います] を選択しても問題ありません。
Button を押してもディスプレイにスクリーンが表示されない	コンテンツを共有する 2 人目の人であるということです。 同時に表示できるスクリーン数は最大 1 つです。	全画面表示機能を使用するには、Button をクリックして 2 秒間押したままにしてください。
	ClickShare ソフトウェアが稼働していない。	ClickShare ドライブに移動してソフトウェアを実行します。
コンテンツがディスプレイから非表示になり、Button の LED が白色で点滅している	Base Unit への接続が失われています。	ClickShare が自動的に接続の復元を試みます。 復元できない場合、Button の LED が赤色で点滅し始めます。 ラップトップから Button を取り外し、新しい Button を使用してみてください。
ディスプレイにまったく何も表示されない。	ディスプレイの電源がオフになっている。	ディスプレイの電源をオンにします。
	ディスプレイケーブルが適切に接続されていない。	ディスプレイケーブルをディスプレイおよび Base Unit に挿入します。
	ディスプレイが Base Unit の出力解像度を認識しないか、表示できない。	Web インターフェイスを使用して該当する設定を変更します。
	Base Unit がスタンバイモードになっている	Base Unit のスタンバイボタンを短く押すか、Button を挿入して ClickShare ソフトウェアを実行します。

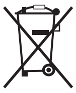
問題	原因	解決策
WiFi 接続状態がよくない	ワイヤレスチャネルが輻輳状態である	ワイヤレスネットワークスキャンツールを使って、空きチャネルまたは最も輻輳状態でないチャネルを探してください。
	金属製キャビネット、壁、建築材などが、ワイヤレス信号の反射する原因となり、接続状態を悪化させることがあります。 Button および Base Unit 間に障害物があると、ワイヤレス信号の強度および質が低下する原因となります。	Base Unit を部屋の別の場所に移動してください。
		キャビネットの中、吊天井、テーブルの下、壁の後ろ、別の部屋などには置かないでください。
		Base Unit のアンテナの向きを変えてください
		WiFi に関する ClickShare のホワイトペーパーを www.barco.com/clickshare で参照してください。
Windows XP で、[マイコンピューター] ウィンドウに ClickShare ドライブが表示されない。	この問題は、Windows XP の既知の問題により発生している可能性があります。	詳細および適切な解決策については、以下のリンクを参照してください: http://support.microsoft.com/kb/297694
Web インターフェイスに、「WiFi アクセスポイントデーモン」および/または「DHCP サーバー」プロセスでエラーが発生したと表示される	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
ClickShare Base Unit が適切に起動しない	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
Base Unit で LAN 接続できない	IP アドレスが間違っている	IP アドレスがお使いの LAN 範囲内ではない。
		DHCP が有効になっていない。
Base Unit で WiFi 接続を使用できない	SSID が正しくない	正しい SSID を入力してください

A. 環境情報

A.1 廃棄に関する情報

廃棄に関する情報

廃電気電子機器

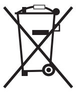


製品上のこのアイコンは、廃電気電子機器を統制する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品がその他の一般廃棄物と共に廃棄できないことを示しています。廃棄機器を廃電気電子機器のリサイクルの指定収集場所に持ち込んで処理してください。.無制御の廃棄物処理から環境または人体への危険の可能性を防止するために、その他の廃棄物からこれらのものを分離し、物的資源の持続可能な再利用を促進するために責任を持ってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細情報は、地域の役所または地方自治体の廃棄物処理サービスにお問い合わせください。

詳細については、Barco ウェブ サイトを参照してください。 http://www.barco.com/en/AboutBarco/weee

製品の電池の破棄



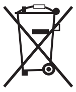
本製品では、一般廃棄物から分別して収集および処理する必要がある 2006/66/EC 指定の対象となる電池を使用しています。

指定した値を超える鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、またはカドミウム (Cd) が電池に含まれる場合は、これらの化学物質のアイコンがバツ印付き車輪容器アイコンの下に表示されます。

電池の分別収集に参加することにより、適切な廃棄を行って、環境および人体に悪影響を及ぼす可能性を回避できます。

A.2 Rohs 指令対応

トルコ Rohs 指令対応



Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

[トルコ共和国:WEEE 規格準拠]

中国大陆 RoHS – Chinese Mainland RoHS

根据中国大陆《电子信息产品污染控制管理办法》（也称为中国大陆RoHS），以下部分列出了Barco产品中可能包含的有毒和/或有害物质的名称和含量。中国大陆RoHS指令包含在中国信息产业部MCV标准：“电子信息产品中有毒物质的限量要求”中。

「中国政府発布の電子情報製品の有毒有害物質の検査方法」(別名、中国本土のRoHS)に従い、Barco社製品に含まれている可能性がある有毒/有害性物質の名称と成分を以下の表に示します。 中国本土のRoHSは、中国信息産業部のMCV基準、「電子情報製品の有毒物質の適用要件」の項に含まれています。

零件项目(名称) 成分名	有毒有害物质或元素 有害物質または要素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印制电路配件 プリント回路実装品	x	0	x	0	0	0
外接电(线)缆 ケーブル	x	0	x	0	0	0
底架 筐体	x	0	x	0	0	0

电源供应器 電源装置	x	0	x	0	0	0
文件说明书 印刷版の取扱説明書	0	0	0	0	0	0

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求以下.

O: この部品のすべての同質の素材に含まれるこの危険または有害物質が、SJ/T11363-2006 要件で定められる上限よりも低いことを示します。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求.

X: この部品のすべての同質の素材に含まれるこの危険または有害物質の少なくても 1 つが、SJ/T113632006 要件で定められる上限よりも高いことを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品（EIP）都必须遵照中国大陆《电子信息产品污染控制标识要求》标准贴上环保使用期限（EFUP）标签。Barco产品所采用的EFUP标签（请参阅实例，徽标内部的编号使用于制定产品）基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国本土で販売されている全ての電子情報製品(EIP)は、中国政府発布の「電子情報製品の有毒有害物質の検査ラベル基準」に準拠している必要があります。基準を満たしている製品には、環境に優しい使用の期限(EFUP)のロゴマークがあります。Barcoが使用するEFUPロゴ内の番号は(写真を参照)、中国政府が発布する「電子情報製品の環境に優しい使用の期限」を基にしています。

画像 A-1

A.3 製造拠点

工場

Barco N.V.

12F, Citychamp Building, No. 12, Tai Yang Gong Zhong Lu, Chaoyang District, Beijing, P.R.C

製造国情報

製造国は製品自体の製品 ID ラベルに表記されています。

製造年月

製造年月は製品自体の製品 ID ラベルに表記されています。

A.4 輸入元連絡先情報

連絡先

お住まいの地域の輸入元については、Barco に直接お問い合わせいただくか、各地にある Barco のオフィスのいずれかにご連絡ください。各オフィスの連絡先情報は、Barco のウェブ サイト www.barco.com に記載されています。

索引

数字/記号

輸入元　82

ENGLISH TERMS

API 設定　60
Barco へのお問い合わせ　72
Base unit　15
　ウォールマウント　15
　テーブルマウント　15
Base Unit　7, 15, 17–19
　Ethernet　18
　　接続　18
　LAN　18
　　接続　18
　一般情報　7
　音声　18
　　接続　18
　設置　15
　　方法　15
　電源　19
　　接続　19
　ディスプレイ　17
　　接続　17
Button　9, 23, 65
　WiFi を使用したアップデート　65
　一般情報　9
　準備　23
　ペアリング　23
Button のペアリング　23
EULA　73
HTTPS アクセス　53
LAN ネットワーク　58
　設定　58
Launcher インストーラ　26
　Linux　26
Launcher インストーラー　25
Launcher サービス　24
　事前インストール　24
NTP 設定　61
SSH へのアクセス　56
Web インターフェイス　29, 31–32, 34–35, 37–38, 40–43, 47, 49, 51, 53, 55–63, 65–68, 70–73
　API 設定　60
　HTTP　53
　HTTPS　53
　LAN ネットワーク　58
　　設定　58
　NTP 設定　61
　SSH へのアクセス　56
　Web インターフェイスへのアクセス　55
　WiFi 設定　59
　アクセス　29
　アプリのブロック　57
　音声設定　40
　オンスクリーン テキスト形式　38
　壁紙　34–35
　　選択　34
　　独自　35
　基本設定　32
　言語設定　31
　構成　67–68
　　システムの管理　67
　　デフォルト設定　68
　設定　42–43, 47, 49, 51
　　ネットワーク、有効化　42
　　ネットワーク、EAP-TLS　43
　　ネットワーク、EAP-TTLS　47
　　ネットワーク、PEAP　49
　　ネットワーク、WPA2-PSK　51
　セットアップ　41
　　統合　41
　タブ　31
　ディスプレイ設定　37
　背景　34–35
　　選択　34
　　独自　35
　パスワード　70
　　変更　70
　パスワード管理者　70
　　変更　70
　ヘルプ　72–73
　　Barco へのお問い合わせ　72
　　EULA　73
　ホスト名　57
　メンテナンス　62–63, 65–66
　　Button　63
　　ステータス　62
　　ソフトウェア　65–66
　ログ作成　71
Web インターフェイスへのアクセス　55
WiFi 設定　59

あ

安全　13
　環境条件の確認　13
アップデート　75
　ソフトウェア　75
アプリのブロック　57
アンテナの配置場所　17
　推奨事項　17

い

一般情報　3, 5, 7, 9
　Base Unit　7
　Button　9
　ClickShare 製品　5
　ガイド　3
イントロダクション　3
　設置ガイド　3

う

ウォールマウント　15
　Base unit　15

お

オンスクリーン テキスト形式　38

か

環境情報　81
　Rohs 指令対応　81
環境に関する情報　81
　廃棄に関する情報　81
環境条件の確認　13

き

記号　3
企業ネットワーク　42–43, 47, 49, 51
　EAP-TLS　43
　EAP-TTLS　47
　PEAP　49
　WPA2-PSK　51
　有効化　42
基本ワークフロー　13

こ

構成　67–68
　システムの管理　67
　デフォルト設定　68

し

仕様　5–6
　ClickShare　6
準備　23
　Button　23
紹介　13
事前インストール　24
　Launcher サービス　24

せ

製品仕様　5
製造拠点　82
説明書　3
接続　17–19
　Base Unit　17–19
　　Ethernet　18
　　LAN　18
　　音声　18
　　電源　19
　　ディスプレイ　17
設定　42–43, 47, 49, 51
　ネットワーク　42–43, 47, 49, 51
　　EAP-TLS　43
　　EAP-TTLS　47
　　PEAP　49
　　WPA2-PSK　51
　　有効化　42
設置　15, 17, 19
　Base Unit　15
　　方法　15
　アンテナの配置場所　17
　　推奨事項　17
　ウォールマウント　15
　　Base Unit　15
　テーブルマウント　15
　　Base Unit　15
　ネットワーク統合　19
セットアップ　41
　統合　41

そ

ソフトウェア　75
　アップデート　75
ソフトウェアアップデート　75

て

ディスプレイ設定　37
テーブルマウント　15
　Base unit　15

と

導入　3
　記号　3
　フォント　3
トラブルシューティング　77
トラブルシューティング一覧　77

は

パスワード管理者　70
　変更　70
パスワード統合者　70
　変更　70

へ

ヘルプ　72–73
　Barco へのお問い合わせ　72
　EULA　73

ほ

ホスト名　57

め

メンテナンス　62–63, 65–66
　Button　63, 65
　　WiFi を使用したアップデート　65
　ステータス　62
　ソフトウェア　65–66

も

モバイル装置　10
　サポート　10

ろ

ログ作成　71